

東京都立新宿高等学校

# 創立百周年

## 記念事業報告書



## はじめに

創立百周年記念事業が全て終わってほっとした2023年度末、改めて思い返してみても、今回の百周年記念事業は創立以来10年ごとに実施した周年行事に比べて、はるかに規模が大きく、しかも多数の事業を完遂させたことに、感慨を新たにしました。

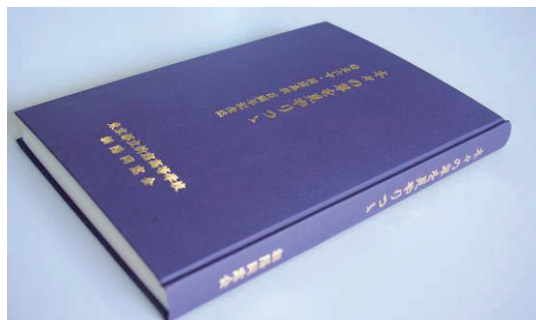
そして、それは朝陽同窓会総員の支援によって叶ったもので、記念事業の内容は新宿高校卒業生の雰囲気を保った独特の香りがするものでした。その成果は日本一の同窓会になったと豪語しても良いのではないかと思います。個別の事業については、今まで同窓会HPなどで、紹介させていただいておりましたが、ご支援いただいた同窓会の皆様に、記念事業の全貌をひとまとめにした報告書としてご覧いただくべきとの思いを強くいたしました。

この冊子は、そのような思いで、記念事業のそれぞれが、どのような経緯で企画立案されて、どのような議論を経て、どのように実施されたのかを年代順に記述いたしました。同窓会員、ならびに、記念事業にご協力いただきました母校教職員、保護者の皆様にも記念事業を思い返す参考としていただければ、ありがたく存じます。

また、普段皆様の目には触れない事務局についても、本冊子末尾でまとめてご紹介させていただいております。これまた、お目通しいただければありがたく存じます。



## 創立100周年記念事業アルバム



100周年記念誌  
「木々の翠を見やりつゝ」

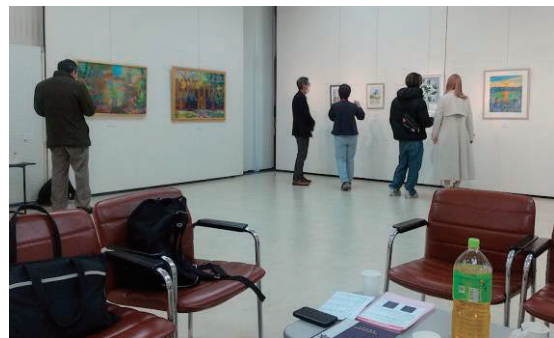
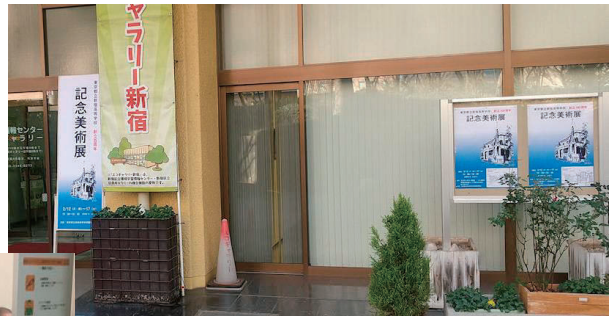


記念音楽祭  
2023年9月24日  
なかのZERO大ホール





記念美術展  
2024年2月12～17日  
エコギャラリー新宿



ホームカミングデー  
2024年10月19日 新宿高校構内









## 再建され全室エアコンも完備した館山寮



## 同窓会総会 2023年7月1日 母校視聴覚室 新宿ベニーレベニーレ



# 百周年記念事業報告書

## 目次

朝陽同窓会長ご挨拶	9	4、母校への支援	63
1、概要	11	朝陽奨学金	64
沿革	12	館山寮	68
2、募金活動	23	合唱コンクール課題曲	77
百周年記念募金	24	業間体操DVD	78
館山寮再建募金	31	記念ロゴマーク	79
3、親睦の向上	35	記念庭園	80
記念音楽祭	36	5、基盤の強化確立	85
ホームカミングデー	39	組織の強化	86
朝陽秋川荘	41	財政の確立	88
集いの場	43	6、同窓会事務局	91
記念誌	46	業務内容	92
記念名簿	50	局員紹介	102
記念祝賀会	53		
記念美術展	58		
O B O Gのための			
キャリアガイダンス	62		

本書では

- お名前に敬称は略させていただいております。
- お名前の直後の数字は卒回を示します。六中卒業生は数字の前にRをつけております。
- 数字は、成語／慣用句に使用される数字以外全て算用数字を用いて表記しております。
- 年の表記は、年度でなく、暦年（1月に始まり12月に終わる）です。



東京都立新宿高等学校

# 創立百周年

## 記念事業報告書



同窓会会長ご挨拶

次の時代の道しるべに！

朝陽同窓会会長 三上彩子 18



百周年記念事業にかかわるすべての報告書ができました。2013年の決起集会からの詳細な記録です。

この報告書はとても面白いです。報告書にありがちな無機質なものではありません。読み物に近い面白さなのです。記録のみならず折々のエピソードが随所にあらわれ、次々と楽しく読むことができます。

「事実は小説より奇なり」と言いますが、記念事業期間の10年間だけでもさまざまな予期せぬことに見舞われました。何と言ってもコロナウイルスによるパンデミック。会議ひとつ開くことができませんでした。百周年記念祝賀会は中止。その準備の周到さと中

止に至るまでの経緯も詳細に記述されています。

また2019年の台風15号による館山寮の被害と再建、資金問題など、当時かわった方々の大変さなどひしひしと伝わってきます。

執筆者は事業のスタート当時、幹事長だった吉村悟さん。長年事務局の重鎮として活躍、ミスター事務局ともいえる存在です。そんな吉村さんですから、同窓生の目に触れることが少ない事務局の仕事の紹介も目に浮かぶようです。

少人数で百周年記念事業を乗り越えた事務局の皆様に感謝しきりです。

おかげさまで百周年記念誌や記念名簿の発行、記念音楽祭や記念美術展、記念庭園や記念碑の完成と除幕式などの行事を終えることができました。

私はそれらの行事を経験し、その結果、朝陽同窓会のパワーに直接触れることができました。会長冥利に尽きるとはこのことです。

そして百周年記念事業により、会員同士の親睦の度がますます深まったように思います。母校支援もいっそう進み、在校生にとっても大きな刺激になったのではないのでしょうか。

この報告書が、次の世代の人たちにとって、新たな道しるべとなることを心から願っています。





# 第1章 概 要

沿  
革

2013年

## 1 百周年記念事業の開始

百周年記念事業がスタートするきっかけは7月に開催された第35回の代表幹事会でした。会は午後0時半から東京ガス四谷クラブの4階で開催され、参加者は菊地光興副会長 14 以下 41 名でした。



会の冒頭に吉村幹事長 07 から、次の様な開催目的の説明がありました。

『母校創立百周年を2022年に迎えるに当たり、朝陽同窓会はこれから何をなすべきか？本日は代表幹事の皆様のお知恵を拝借してアイデアを出していただき、事業計画として取りまとめたいと思います』

ます』

朝陽同窓会の使命は、以下の3点です。

- ・会員同士の親睦の輪の更なる拡大
- ・府立六中以来の伝統の継承
- ・組織の強化と財政基盤の確立

これらの使命を達成し、100周年を迎える2022年には「日本一の同窓会」との評価を受けたいと思います。目標を達成できたかどうか判定するためには、具体的な数値目標の設定が必要です。数値目標とは例えば以下のようなものです。

## ▼親睦

- ・総会の参加人数を今年の163名から戸山高校城北会を超越す700名に
- ・代表幹事会への参加者数が昨年の平均40名から120名に
- ・支部朝陽会への参加人数を、昨年の3倍に
- ・戸山新宿交流戦への参加人数が昨年の3倍に
- ・朝陽クラブの出席者が現在の4倍

に

## ▼伝統

- ・母校新宿高校が進学推進校から進学重点校へ
- ・臨海教室を2022年以降も継続

## ▼組織財政基盤

- ・支部朝陽会を現在の7から14支部に
- ・会費収入を現在の年間500万円から3倍増の1、500万円に
- ・新卒業生の入会人数を現在の245名から300名に

以上のような幹事長の説明を受け、当日の出席者からは20件の提案がありました。また、代表幹事会に出席できなかった方からも12件の提案があり、更に事務局からも16件の提案がありました。

## 2 百周年記念事業実行委員会の設立

第35回代表幹事会の結果を受け、11月の第36回代表幹事会において実行委員会の設立が承認されました。

## ▼メンバー



- ・委員長 宮崎直道 24
- ・委員 吉村悟 07 (幹事長)

西出紀久 15 (事務局長)

#### ▼役割

- ・提案された各事業の企画書の審議と取捨選択
- ・事業ごとの推進
- ・委員会メンバーの決定
- ・推進委員会への助言と進捗管理
- ・各事業予算の承認と結果の評価、及び代表幹事会への報告

#### ▼事業の進め方

- ・できる事業から始め、100周年を迎えるまでに少しでも成果が上るよう推進
- ・事務局中心に事業の展開を図り、代表幹事にも積極参加を要請
- ・HPや「朝陽」で広報し、一般同窓会員にも参加を呼びかける

### 2014年

#### 1 記念事業の取捨選択

百周年記念事業実行委員会は前年7月の代表幹事会に提案された個別事業の内容を吟味し、今後取り上げて展開すべき事業を2月の第37回代表幹事

会に提案しました。内訳は下記の通りです。

・完了したもの	1件
・すでに展開中のもの	7件
・企画書作成中のもの	7件
・他案件と併合したもの	1件
・不採用決定	7件
・検討未着手	25件
計	48件

また、百周年記念事業をさらに盛り上げるため、以下の施策を実施することも代表幹事会で承認を受けました。

- ・委員会事務局への人材の補強
- ・「朝陽」に記事を載せ、更に同窓会員からの提案を募る

#### 2 実行委員会事務局長の選任

当初百周年記念事業実行委員会は委員長以下2名で発足しました。しかし、多岐に渡る記念事業の展開をより確実なものにするために、6月に宮崎委員長の推薦により大池克幸 24を百周年記念事業実行委員会の事務局長に選任しました。

#### 3 進捗状況の確認と今後の進め方の決定

状況確認と今後の方針決定のため、7月の第39回代表幹事会を東京ガス四谷クラブで開催しました。参加者は垂水会長 15以下49名でした。

既にスタートした記念事業が紹介され、また、募金については目標額などが提案されました。

#### ▼事業紹介

- ・高遠高校同窓会との交流

・クラブハウスの創設	滝沢孝之 08
・朝陽合唱団の設立	梅澤博 23
・興国の鐘の復元	宮坂雅子 27
菊池光興 14	鈴木仁志 38

#### ▼募金

- ・募金の目的 記念事業実現のための原資
- ・開始の時期 2015年4月から
- ・推進母体 募金委員会の設立
- ・目標額 1億円
- ・寄付金控除 資格取得することの可否

#### 4 朝陽合唱団の発足

9月に15名が参加して朝陽合唱団が正式に発足しました。団長は鈴木陽子05です。以降の朝陽合唱団の活動については、第3章「記念音楽祭」をご覧ください。

### 2015年

#### 1 記念募金の開始

2月に開催された第41回代表幹事会において、以下の概要にて百周年記念募金を開始することが決定しました。なお、この1億円という目標金額は河合明博05の提言によるもので、「新宿高校の朝陽同窓会なら、これ位の金額は必ず集められる」とのご信念によるものでした。

そんな金額をと当時は思いましたが、結果として目標の1億円に近い募金を集めることができ、河合先輩には本当に感謝申し上げます。

#### ▼目標金額

1億円

#### ▼募金の使途

- ・奨学金の充実 4,000万円
  - ・集いの場の確保 3,000万円
  - ・館山寮の機能増進 3,000万円
- ▼期間 2015～2017年度  
▼一口 10,000円

#### ▼芳名の顕彰

長く残る形で

#### ▼広報

「朝陽」に「募金趣意書」を同封

#### ▼発起人

卒業生各界代表者に交渉

#### 記念募金対象外の事業については、

朝陽同窓会の積立金から総額2,000万円を限度として年度ごとに予算化して支出する。

記念募金活動の詳細については、第2章「百周年記念募金」をご覧ください。

#### 2 募金対象事業の概要

同じ代表幹事会で、募金の利用対象となる事業が以下の通り決定しました。

#### ▼朝陽奨学金

- ・基金を充実させ、都立高校トップクラスの奨学金制度を創設
- ・今までの卒業生への祝い金から、在校生対象の奨学金に変換
- ・年10万円を10名／学年の年間300万円を給付

#### ▼集いの場

- ・旧朝陽会館のように気軽に使える場所を確保

#### ・休日・夜間の利用も可能

- ・小会議から100名超の同窓会会合まで可能なスペースを確保
- ・学校近傍の飲食店等との優待利用提携

#### ▼館山寮

- ・寮の機能増進
- ・臨海教室への支援と春・秋・冬への利用拡大

なお、前記3事業の活動詳細については、第4章「朝陽奨学金」、第3章「集いの場」、第4章「館山寮」をご覧ください。

#### 3 募金発起人の指名

4月の第42回代表幹事会において、百周年記念募金発起人が以下の通り指名されました。主な役割は朝陽記念募金活動の活性化です。

- |          |         |
|----------|---------|
| 松本雄吉 R21 | 佐藤喜一 01 |
| 河合明博 05  | 村上光一 10 |
| 菊池光興 14  | 垂水尚志 15 |
| 池辺晋一郎 15 | 青柳正規 15 |
| 北村敬子 16  | 塩崎恭久 22 |
| 宮崎直道 24  | 西尾信子 24 |

鈴木裕太 25 鎌田邦広 35  
寺村仁美 37 関嶋政和 44

#### 4 クルーズ・クルーズとの契約

同じ代表幹事会において集いの場の確保の一環として、レストランクルーズ・クルーズとの契約も承認されました。

#### ▼朝陽同窓会向け優待プラン

- ・金額  
4、300円～6、000円（税別）

#### ・特典

利用者一人当たり1000円が募金に還元

〔注〕現在は閉店の為、この優待プランは終了し、リストランテ ベニレ・ベニレと類似の優待プランを契約しております。

#### 5 百周年記念事業実行委員の追加

7月に開催された第43回代表幹事会において、林慶治郎 18、草川衛 18が新委員として承認されました。

#### 6 奨学金制度の設計

11月に開催された第44回代表幹

事会において、新奨学金制度を検討するメンバーとして、

秋山小南 15、太田正行 23、  
西尾信子 24

が選出されました。

#### 7 集いの場の確保

同じく集いの場の確保の一環として、以下の場所を選定しました。

#### ▼サラ文会議室

- ・ミヤコビル5階／新宿駅西口より徒歩3分
- ・10名程度の会合可能、事前予約要、使用料300円／人

集い場の確保活動については、後にレイフラットの賃借に繋がって行きます。

#### 2016年

#### 1 百周年記念事業実行委員長の交代

2月の第45回代表幹事会において宮崎直道 24が辞任し、田中俊郎同窓会長 17に交代しました。

#### 2 百周年記念募金の概要決定

同じ代表幹事会において募金について以下の決定がなされました。

#### ▼募金結果

代表幹事会やホームページに各回毎の募金応募人数と金額を発表

#### ▼募金者の顕彰

「朝陽」66号に同封の趣意書に募金者の氏名と卒業回を発表

#### ▼募金の使途

募金を満額達成した時点での使途は以下の通り。

奨学金給付	4、000万円
集いの場設定	3、000万円
館山寮補修	3、000万円

しかし、代表幹事会の承認があれば、事業経費確定の時点で見直すことができる。

#### ▼募金の使途指定

少なくとも2017年3月末までは使途を指定しない。



### 3 趣意書の発行

「朝陽」66号に「募金趣意書」を初めて同封し、各記念事業の進捗状況を会員に報告し、募金への協力を要請することになりました。

### 4 集いの場の確保

7月の第47回代表幹事会において、昔の朝陽会館のような自前の施設が持てるか、或いは外部利用により類似のことが出来るか、スタディすることを目的として検討チームが結成されました。チームのメンバーは以下の方々です。

梅澤博 23、太田正行 23、  
山本展也 27、宮坂雅子 27

### 5 館山寮の厨房・食堂の改修

7月に総工費2、500万円をかけた館山寮の厨房・食堂の改修工事が終了しました。その内の750万円が百周年記念募金からの寄付で賄われました。詳細は第4章「館山寮」をご覧ください。

また、8月には見学会も開催され、22名の同窓会会員が参加しました。

### 6 業間体操のDVD化

9月に、よき伝統の継承を目的として業間体操のDVD化が遂行されました。推進リーダーは鈴木裕太25で、現役生がモデルになって実演しました。詳細は第4章「業間体操DVD」をご覧ください。

### 7 合唱コンクール課題曲母校へ寄贈

10月に母校の合唱コンクールで歌われる課題曲を池辺晋一郎15に依頼して作曲してもらいました。作詞は在校生から公募して選定しました。詳細は第4章「合唱コンクール課題曲」をご覧ください。

### 8 ホームカミングデー

11月に卒業生が母校を懐かしみ、また、旧友と交流できるようにとホームカミングデーが初めて開催されました。イベントとしては校内ツアーや朝陽合唱団の演奏、さらには田中同窓会会長17の講演が行われました。参加者は145名でした。詳細は第3章「ホームカミングデー」をご覧ください。

## 2017年

### 1 記念音楽祭に関するプロジェクトチーム発足

2月の第49回代表幹事会においてリーダーを横田堯15とし、音楽部OB・OG、管弦楽部OB・OG、朝陽合唱団などが参加する記念音楽祭の開催を検討するチームが発足しました。

### 2 記念募金からの支出

4月の第50回代表幹事会の決算報告で、募金からの支出の限定化に関し、監事から以下のような提案が行われました。

- ・朝陽奨学金給付、館山寮改修、集いの場の3事業に限定
- ・人件費や事務費などは含まない
- ・募金からの支出は予め予算化し、代表幹事会の承認を得る
- ・財産目録に百周年記念募金勘定繰越金として残高を明記

#### 2015年度募金

1、734万円

#### 2016年度募金

1、185万円

#### 奨学金給付

#### 館山寮改修

#### 繰越金

△110万円  
△750万円  
2、059万円

### 3 記念ロゴの公募

7月の第51回代表幹事会において、百周年を象徴する記念ロゴを在校生や現教職員、及び卒業生から公募することが決まりました。詳細は第4章「記念ロゴマーク」をご覧ください。

### 4 館山寮の船倉改装と竹藪伐採

6月に船倉改装が250万円、竹藪伐採が170万円をかけて終了しました。いずれも百周年記念募金からの支出となります。詳細は第4章「館山寮」をご覧ください。

### 5 百周年記念事業実行委員会

7月に小山春美25が委員として追加任命されました。

## 2018年

### 1 記念事業の見直し

10月に開催された第56回代表幹事会において、記念事業案件の見直しを行いました。百周年記念事業を開始した2013年には案件の総計は64件でしたが、その後、案件は増え、現在は72件となります。

なお、今後、案件の推進については、下記の通りとすることにしました。

- ・案件の推進は提案者と実行委員会の事務局との共同作業

- ・案件を中止する場合は提案者と話し合った上で、実行委員会が決定
- ・代表幹事会には進捗状況を適宜報告

- ・案件実施に係わる費用は年度予算の範囲内で

### 2 記念祝賀会の開催

同じ代表幹事会において記念祝賀会の方針が以下のように決定されました。

- ・開催日時

- ・2022年春、または秋
- ・参加人数 1,000名
- ・会費 1万円

- ・イベント

- ・池辺晋一郎15、坂本龍一22、塩崎恭久22の対談等

- ・準備委員会

- ・阿比留みどり17、金杉一朗26、戸城幸夫29、高橋寛32、小野正浩36

- ・事務局

- ・吉村悟07、大池克幸24

詳細は第3章「記念祝賀会」をご覧ください

ください。

## 2019年

### 1 百周年記念誌

2月に開催された第57回代表幹事会において、百周年記念誌編集委員会の結成が発表されました。

- ・委員長 西出紀久15
- ・委員 秋山小南15、奥武則17、林慶治郎18、太田正行23

- ・事務局 大池克幸24

詳細は第3章「記念誌」をご覧ください。

### 2 朝陽秋川荘

2月に開催された第57回代表幹事会において、共に同窓生のNご夫妻からご自身が所有する西多摩郡檜原村の秋川溪谷にある土地建物を「朝陽同窓会に寄付したい」との申し出を受けました。

本件に対し事務局でさっそく現地を視察したところ、「大変良い物件であり、水上寮の代替にもなりうる」との報告が代表幹事会になされました。それを受けて以下のメンバーによる準備委員会を結成し検討に入ることになりました。

た。

- ・準備委員長 秋山小南 15
- ・委員

柴田真樹 18、宮崎雅弘 35、  
門司（高橋）牧子 38

- ・事務局 大池克幸 24

詳細は第3章「朝陽秋川荘」をご覧ください。

### 3 館山寮男子棟の損壊

10月に開催された第60回代表幹事会において、9月に発生した台風15号により、男子棟屋根などが吹き飛ば被害を受けたとの報告がありました。その結果、被害は甚大であり、翌年の臨海教室実施のため早急な男子棟の修復が必要であることが確認されました。

代表幹事会では「館山寮は卒業生にとって貴重な思い出の場であり、臨海教室は100年続く伝統行事である。従って朝陽同窓会は全力で館山寮男子棟を修復したい」との決議を行いました。

そして、その修復の為の資金は百周

年記念募金から支出することとし、更なる募金の要請を全ての同窓会員に呼びかけることとしました。  
詳細は第4章「館山寮」をご覧ください。

## 2020年

### 1 幹事長の交代

1月の第61回代表幹事会において、健康上の理由により幹事長を吉村悟07から西出紀久15に引き継ぐことが承認されました。なお吉村悟07は引き続き顧問として事務局を手伝うこととなりました。

### 2 記念名簿の発行

2月に開催された第62回代表幹事会において、2022年秋を目標に記念名簿を発行することを決定しました。詳細は第3章「記念名簿」をご覧ください。

### 3 同窓会活動の停滞

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため緊急事態宣言が発令され、新宿高校は春休みに続き5月末まで休校となり、これに併せて朝陽同窓会も5月末まで事務局を閉鎖することとなりました。こ

の影響を受け同窓会行事日程などにも変更や遅延が生まれました

しかし、母校や卒業生にとって同窓会活動は「不急であっても不要ではない」と考え、テレワーク拡大による在宅勤務を実施し、活動に大きな支障が生じないようにいたしました。それでも総会・代表幹事会・役員会、百周年記念実行委員会などの各会合は全て開催延期か書面開催とせざるを得ませんでした。

### 4 代表幹事会の不成立

5月に予定した第63回代表幹事会議案には2020年度総会に提出すべき役員人事・規約改正・予算決算などの重要案件が含まれていました。しかし、総会の開催がいつになるのか分からないという非常事態下でありますので、本代表幹事会の開催をもって総会の代替と致したい旨の提案を行いました。

しかし、何分にも代表幹事会の書面開催は初めてのことで、採決方法等に不手際があるとの指摘が出て、代表幹事会をもって総会に代替するという提案は差戻しとなりました。結局役員人

事・規約改正・予算決算などの議案は全て先延ばしとなりました。

## 5 田中会長の辞任

新型コロナウイルスによる混乱の中、6月に田中会長から健康上の理由により2020年度総会をもって辞任するとの申し出を受けました。急遽、西出幹事長に会長代行を委嘱し、併せて財団の代表理事の代行もお願いしました。この突然の出来事で同窓会活動は更に混乱の度を深めました。

## 6 百周年誌の編集

5月に書面開催された第63回代表幹事会において、この事業に関し編集委員会を結成し、「百年通史」と「百年誌」の2冊に分けて作成することを決定しました。

詳細は第4章「百周年記念誌」をご覧ください。

## 7 新会長の選任

10月になって、差し戻しとなっていた第63回代表幹事会がやっと書面開催され、新会長に橋本健一19が選任されました。橋本新会長は財団の代表理事も兼務します。そして、この人

事は12月に書面開催された2020年度総会で承認されました。

## 2021年

### 1 百周年記念事業実行委員会の解散

2月に書面開催された第64回代表幹事会において、記念事業実行委員会は解散して今後は昨年新たに設定した役員会にその任を委ねることが決定されました。

前年までは田中前会長が実行委員会委員長でしたが、体調不良で辞任されて空席だったこともありこの決定に至りました。

ただし、百周年記念事務局はそのまま存続し、引き続き大池克幸24が担当することとなりました。

また、以下の小委員会はその事業が終了するまで存続することにしました。

- ・ 記念祝賀会
- ・ 記念音楽祭
- ・ 百年誌

### 2 銘板の作成

百周年記念募金賛同者のうち氏名掲載可とされた方に対し、銘板を作成することにしました。設置場所は新宿高

校内を希望しており、詳細は今後検討することといたしました。

### 3 記念事業に対する支出費用の会計処理

4年前に開催された第50回代表幹事会では、募金からの支出の限定化に関して監事から以下の様な提案が行われました。

- ・ 朝陽奨学金給付、館山寮改修、集いの場の3事業に限定
- ・ 人件費や事務費などは含まない

しかし、記念名簿、記念音楽祭、記念祝賀会、百年誌、銘版などについても、代表幹事会の事前承認があれば支出できるものと決定しました。

### 4 会長・幹事長交代

5月に書面開催された第65回代表幹事会において、会長を橋本健一19に代わって青柳正規15が引継ぐこと、また幹事長を西出紀久15に代わり橋本健一19が引き継ぐことが承認されました。

## 5 記念式典の開催

12月に書面開催された第67回代表幹事会において、2022年の10月23日に母校体育館で創立百周年記念式典が執り行われることが発表されました。

主催は勿論母校です。

## 2022年

### 1 ニュースレターの発行

2月に書面開催された第68回代表幹事会において、記念募金、特に館山寮再建募金の更なる拡大を願ってニュースレターを発行すること致しました。17,000部（A4片面モノクロ印刷3頁）を作成し、郵便局のWEBレターを利用して全卒業生へ送付しました。

### 2 記念祝賀会開催の中止

コロナ感染の拡大により8月に役員会を開催し、10月に開催を予定していた記念祝賀会を残念ながら中止することとしました。そして、400名を超える参加希望者に葉書を出して、祝賀会の中止を伝えました。

今後はコロナの収束状況を見て、立

食形式の記念懇親会のような会を催すことなどを検討することとしました。詳細は第3章「記念祝賀会」をご覧ください。

### 3 募金活動の終了時期

11月に書面開催された第70回代表幹事会において、募金活動の終了時期について、以下の決定がなされました。

#### ・百周年記念募金

2023年度末まで継続

#### ・館山寮再建募金

2022年度末で終了

## 2023年

### 1 総会の対面開催

7月1日に3年ぶりに対面開催された2023年度総会は、母校の視聴覚室で14時から開催されました。主な決議事項は以下の通りです。

#### ▼役員人事

- ・青柳正規15が会長を退任し、新会長に三上彩子18が就任
- ・西出紀久15と渡辺信久34が退任し、小田島肇38が新副会長に就任

任

- ・なお青柳正規15と西出紀久15は顧問に就任

#### ▼新規基金の設定

- ・目的は在校生へのためまぬ支援
- ・スタートは2024年4月から

#### ▼記念音楽祭

- ・9月になかのZERO大ホールで開催

#### ▼記念美術展

- ・2024年2月に開催

#### ▼百年誌

- ・「通史」は3月に完成し、新卒業生や現役生に配布済
- ・「百年誌」は6月に完成

#### ▼記念名簿

- ・4月から購入申込者に発送を開始

#### ▼館山寮冷房装置設置

- ・財団法人朝陽会に資金貸与

#### ▼記念庭園

- ・母校創立百周年を記念する石碑を



## 建立

また、塩崎恭久22が記念講演を行いました。そして、総会終了後に希望者と、これも久しぶりに懇親会を開催しました。

## 2 広報の強化

11月の第73回代表幹事会において、同窓会の諸活動への会員の参加を促進し、会費の増収を図るため、広報強化委員会を設置することとしました。強化の主な対象項目は以下の通りです。

- ・ホームページの改善
- ・ライン等SNSの活用
- ・会報「朝陽」の情報誌化

## 2024年

### 1 総会議案決定

3月に第74回代表幹事会が対面開催されました。この代表幹事会開催の目的は6月に開催予定の2024年度総会に提案する議案の審議です。主な議案は以下の通りです。

## ▼役員人事

- ・会長 三上彩子18再任
- ・副会長

現副会長は全員再任

高橋進20と須田健太郎48を新任

小野瑞城34退任

### ・監事

中越一統31と廣田勝彦44を再任

### ・幹事長

太田正行24新任

橋本健一19退任 顧問を委嘱

## ▼あい基金

- ・2024年度から募金を開始

・原資は1、500万円の引当金充当

・奨学金の給付を中心にした在校生へのためまぬ支援

## ▼ホームカミングデー

- ・開催 10月

### ・イベント

校内ツアー、朝陽合唱団演奏、恩師の記念授業

## ▼百周年記念事業報告書

### ・目的

記念事業の概要報告

百周年記念募金や館山寮募金への

納入者氏名記載

### ・刊行時期

「朝陽」74号に同封



## まとめ

2013年度に開始された百周年記念事業は、2023年度末でその幕を閉じました。途中で挫折した事業もありますが、大多数は華麗な花を咲かせました。

百周年記念事業を展開することによって、会員同士の親睦の向上と母校への支援が実行できたと思います。これはひとえに会員各位のご協力の賜物であります。まことにありがとうございます。また、各事業の推進にご尽力いただきました準備委員、同窓会役員、および事務局の皆様方に厚く御礼申し上げます。

これからの100年が新宿高校にとって更なる発展の時となることを強く望みますし、朝陽同窓会にとって飛躍の100年となることを祈念しております。

## 第2章

## 募金活動

100周年記念募金

館山寮再建募金

## 百周年記念募金

### 2013年

百周年記念事業実行委員会の設立

百周年記念事業がスタートしたのは7月に開催された第35回の代表幹事会でした。その結果を受け、11月の第36回代表幹事会において百周年実行委員会の設立が承認されました。メンバーは以下の通りです。

- ・委員長 宮崎直道 24
- ・委員 吉村悟 07 幹事長

西出紀久 15 事務局長

### 2014年

1 事務局長の選任

多岐に渡る記念事業の展開をより確実なものにするために、6月に大池克幸 24を百周年記念事業実行委員会の事務局長に選任しました。

2 目標額などへの提案

7月の第39回代表幹事会において、募金について検討が行われ、特にその目標額について河合明博 05から「インパクトのある1億円としたい。1億円は必ずしも不可能ではない。ぜひ実

現に向けて進めて欲しい」との言葉がありました。

その他以下の提案が行われ、実現に向かって前進することを決議しました。

- ・目的 記念事業実現のための原資に
- ・時期 2015年4月から募金開始
- ・推進母体 募金委員会を設立
- ・寄付金控除 資格取得することの可否を検討

### 2015年

1 百周年記念募金の開始

2月の第41回代表幹事会において、百周年記念募金（以下記念募金という）の開始が決定しました。

▼目標金額 1億円

▼記念募金の使途

- ・奨学基金の充実 4、000万円
- ・集いの場の確保 3、000万円
- ・館山寮の機能増進 3、000万円
- ▼期間 2015年度、2017年度
- ▼一口 10、000円
- ▼芳名の顕彰 長く残る形で

▼広報 「朝陽」に「募金趣意書」を同封

▼発起人 卒業生各界代表者に交渉

▼記念募金対象外の事業

朝陽同窓会の積立金から総額2、000万円を限度として年度ごとに予算化し支出

2 募金発起人の指名

4月の第42回代表幹事会において、記念募金の発起人が左記の通り指名されました。主な使命は募金活動の活性化です。

- 松本雄吉 R21、
- 河合明博 05、 村上光一 10、
- 菊池光興 14、 垂水尚志 15、
- 池辺晋一郎 15、 青柳正規 15、
- 北村敬子 16、 塩崎恭久 22、
- 宮崎直道 24、 西尾信子 24、
- 鈴木裕太 25、 鎌田邦広 35、
- 寺村仁美 37、 関嶋政和 44

3 百周年記念事業実行委員の追加

7月に開催された第43回代表幹事会において、林慶治郎 18、草川衛 18が新委員として承認されました。

11月に開催された第44回代表幹事会において、代表幹事会とホームページで募金実績を公表することを決めました。

- 卒回毎の人数と募金額の表
- 募金口数ごとの人数のグラフ

2016年

1 百周年記念事業実行委員長の交代  
2月の第45回代表幹事会で宮崎直  
道24が辞任し、田中俊郎同窓会長  
17に交代しました。

2  
記念募金現況報告

同じ代表幹事会において、以下の報告がなされました。

●募金現況  
2月10日現在

募金総額	1、598万円、
納付者数	831名

● 積立

ゆうちょ銀行新宿二郵便局1千万  
円定額預金  
以後5百万円増加するたびに積立  
なお取り崩しには代表幹事会の承  
認を必要とする

同じ代表幹事会において、募金につ  
いて以下の決定がなされました。

## ▼募金結果

代表幹事会やホームページに各卒業  
回の応募人数と金額を発表

### ▼募金者の顕彰

「朝陽」66号で募金者の氏名と卒業回を発表

## ▼募金の使途

・募金を満額達成した時点での使途は、2015年開始時の通り。

- ・しかし、代表幹事会の承認があれば、事業経費確定の時点で見直すことができる

### ▼募金の使途指定

少なくとも2017年3月末までは  
用途を指定しない

#### 4 趣意書の発行

4月の第46回代表幹事会において2017年度の記念募金目標額を3,000万円と定め、朝陽65号に趣意書を同封することを決めました。

## 5 記念募金現況報告

10月の第48回代表幹事会におい

て募金現況の報告があり、2、639万円で、納付者数は1、341名との事でした。

2017年

1 記念募金の継続

2月の第49回代表幹事会において募金の継続について以下の決議がなされた。

2017年  
1 記念募金の継続

1  
記念募金の継続

2月の第49回代表幹事会において  
募金の継続について以下の決議がなさ

[illegible][illegible]

れました

[1] 現況の確認

▼初期の目標1億円に対し現在7、000万円不足

▼従って主要3事業の実現に大きく不足

- ・奨学金 他都立高校同窓会に比べても支給レベルが低い。昨今の社会格差拡大で更に必要性増大
- ・館山寮 老朽化が進み、毎年改修を要する
- ・集いの場 同窓生が自由につかえるクラブハウスを入手したい

[2] 創立百周年記念募金第Ⅱ期を開始

▼目標1億円

2022年度までの達成目標  
第Ⅱ期目標額 7、000万円

▼期間

2018年度末までの2年間

▼単位

1口1万円単位でなく、任意額の寄付を受付

▼氏名顕彰 ご芳名を末永く顕彰

[3] 実施内容

▼趣意書「朝陽」に同封 5月

▼個別訪問 通年実施

大口寄付を期待できる方

同期会、OB・OG会、支部総会などで

▼総会

百周年記念事業の報告、募金のお願い

▼広報誌発行 年2回

春は「朝陽」に同封、秋は百周年特集を送付

▼記念ロゴ 現役生徒を含め公募

▼代表幹事へ 募金の呼びかけ

プロジェクトへの参画

大口寄付が期待できる方のご紹介

2 記念募金からの支出

4月の第50回代表幹事会の決算報告で、募金からの支出の限定化に関し、監事から以下の様な提案が行われました。

▼朝陽奨学金給付、館山寮改修、集いの場の3事業に限定

▼人件費や事務費などは含まない

▼募金からの支出は予め予算化し、代表幹事会の承認を得る

▼財産目録に百周年記念募金勘定繰越金として残高を明記

募金2015年度1、734万円

募金2018年度1、185万円

奨学金給付 △110万円

館山寮改修 △750万円

繰越金 2、059万円

募金活動 26

3 記念募金現況報告

7月の第51回代表幹事会において、7月11日現在募金総額が3、725万円、839件であったとの報告がなされました。なお6月には礼状を葉書で送付し、芳名掲載確認も往復葉書で実施しました。また、芳名の記載は会報や2022年に設置予定の銘板とし、ホームページには掲載しないと取り決めました。

4 百周年記念事業実行委員会

7月に小山春美25が委員として追加任命されました。

5 記念募金現況報告

10月の第52回代表幹事会において、9月28日現在募金総額が4、116万円、907件であったとの報告がなされました。

## 2018年

### 1 記念募金現況報告

2月の第53回代表幹事会において、第Ⅱ期募金活動について、以下の報告がなされました。

▼「募金寄付者一覧表」を作成し、「朝陽」67号に同封

▼大口寄付者への働きかけに代表幹事の協力を仰ぐ

▼広報活動を通して募金増加を図る

▼保護者にも募金への協力を要請

▼第Ⅲ期募金計画を策定

### 2 記念募金への施策

10月の第56回代表幹事会において、募金について以下の施策を決定しました。

▼10月17日現在の募金総額は5、374万円で2、411件

▼大口寄付者への各回代表幹事からのお願いの手紙を10月下旬発送

▼更なる施策として例えば累計10万円以上募金をして下さった会員に記念祝賀会へのご招待や記念名簿の贈呈など、募金増額に貢献できる案を来々年2月の代表幹事会に提案し、来

## 年の「朝陽」68号に掲載

## 2019年

### 1 記念募金現況報告

2月の第57回代表幹事会において、募金について以下の報告がありました。

▼募金総額 2月18日現在5、497万円で2、462件

▼募金第Ⅲ期

2019年4月～2021年3月

▼目標

募金5、000万円を2年間で達成

▼広報

趣意書を発行

寄付者芳名、学校・会長・副会長のメッセージ掲載

▼募金増進策

・大口寄付者紹介 現在3名の紹介有り

・代表幹事 引続き協力を仰ぎ、働きかけを加速

・保護者会 協力を要請の予定

・記念品贈呈 募金金額に応じて百年誌を送付

### 2 2019年度の記念募金計画

4月の第58回代表幹事会において、

募金について以下のような2019年度の計画が決定されました。

▼募金累計8千万円の達成

▼大口募金者への働きかけ継続

▼第Ⅲ期募金趣意書発行

▼保護者会に協力要請



### 3 館山寮再建募金の開始

9月8日の台風15号により倒壊した館山寮男子棟の再建のための資金が、寮を所有する朝陽会の手持資金では圧倒的に不足するため、朝陽会から同窓会に寄付の要請がありました。

これを受け同窓会では、百周年記念募金のさらなる積み増しを図るとともに、新たに、館山寮再建募金を始めることとしました。以降、百周年記念募金と館山寮再建募金の二本立てで募金



活動を進めました。館山寮再建募金の呼び掛け開始は2019年11月末を目標とすることにしました。詳しくは第2章館山寮再建募金をご覧ください。

## 2020年

### 1 記念募金現況報告

2月に開催された第62回代表幹事会において、以下の報告と決議がなされました。

- ・記念募金は現在累計6、577万円を達成

- ・2020年度末目標を1億円とする

- ・大口寄付者への働きかけを継続、「朝陽」発行時に募金趣意書も同封

- ・保護者会にも館山寮再建募金の継続を要請

### 2 新型コロナウイルスの感染拡大

コロナの拡大に伴い母校は春休みに続き5月末まで休校となり、朝陽同窓会も同じく5月末まで事務局を閉鎖することになりました。

### 3 田中会長の辞任

コロナでの混乱の上に8月に田中会

長が体調不良で辞任されることになりました。朝陽同窓会事務局はテレワークで業務を処理しましたが、対面での会議等が来ず混乱は続きました。

## 2021年

### 記念募金現況報告

5月に開催された書面開催の第65回代表幹事会において、2020年度までの募金累計は7、211万円となったことが報告されました。

## 2022年

### 1 ニュースレターの発行

2月に書面開催された第68回代表幹事会において、記念募金、特に館山寮再建募金の更なる拡大を願ってニュースレターを発行することと致しました。A4片面モノクロ印刷で3頁、17,000部を作成し、郵便局のWEBレターを利用して全同窓会会員へ送付しました。

### 2 記念募金現況報告

5月に開催された書面開催の第69回代表幹事会において、2021年度までの募金累計は8、164万円となったことが報告されました。

## 2023年

### 1 記念募金現況報告

2月に開催された第71回代表幹事会において、なんとしても募金目標の1億円を達成しようと決議がなされました。なお1月末での募金累計額は8、610万円でした。

### 2 募金期間の延長

5月に開催された第72回代表幹事会において、記念音楽祭の開催などが1年延期されたのに伴い、募金期間を2023年度末迄とすることを決議しました。

# 2024年 1 記念募金の終了

## 朝陽同窓会

### 募金趣意書

朝陽同窓会幹事長 橋本 健一 (19回)

#### 100周年記念事業と募金を終了

2022年に本校は創立100周年を迎え、多くの同窓生のご支援のもと館山寮の再建や朝陽奨学金制度の確立、記念誌の発行など数々の100周年記念事業を行ってきました。そして2023年9月の記念音楽祭開催、2024年2月の記念美術展開催、2024年3月の創立100周年記念碑の設置により、その主な事業のほとんどを成功裏に終了することが出来ました。100周年記念募金総額は2024年3月末で館山寮再建募金も含め約1億3,000万円に達しました。

つきましては2024年3月31日をもって100周年記念事業と募金を終了させて頂きます。記念事業や募金にご協力いただきました会員の皆様に厚く感謝申し上げます。

記念音楽祭

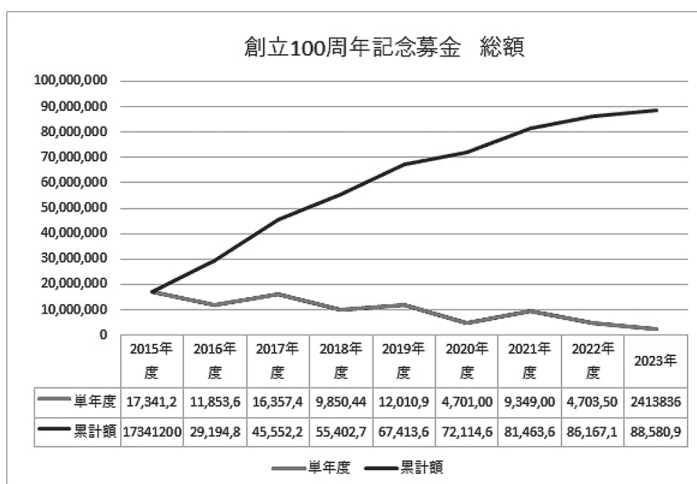
記念美術展

記念碑

6月の「朝陽」73号で百周年記念事業の終了が告げられ、記念募金の最終結果も報告されました。目標1億円に対し8、866万円でした。

2 百周年記念事業の募金収支  
2013年度に記念事業が始まってから2023年に終了するまでの延べ11年間に同窓会員、教職員、PTA、

関連会社の皆様からもご寄付をいただきました。総額は約8、866万円に達しました。厚く御礼申し上げます。



この募金および百周年記念名簿の売上金を原資として、百周年記念事業を行なうことができました。その収支は以下の通りです。金額単

位は千円です。

収入

募金額  
記念名簿売上  
8,865,906

支出

館山寮改修(注1) 16,500  
集いの場 9,541  
百周年記念誌 6,881  
記念式典(注2) 73  
記念ロゴ等 237  
記念音楽祭(注3) 889  
記念美術展 311  
記念庭園 974  
ホームカミングデー 200  
奨学金支払い分 7,100  
奨学金引当分(注4) 15,000  
親睦引当金(注5) 20,895  
事業費(注6) 10,157  
差し引き収支 ±0

注1 館山寮改修は、食堂・厨房や倉庫の改修費用であり、館山寮倒壊以前の財団法人に対する支援です。倒壊後の再建費用は含みません。再建のための費用には館山寮再建募金を充てています。

注2 記念式典費用には学校主催の記念式典の費用も含まれます。

注3 記念音楽祭の費用には、朝陽合唱団への補助も含まれます。

注4 奨学金引当金は、奨学金支給を今後も永く続けていくために、朝陽あい奨学金を原資の一部として引当てたものです。

注5 親睦向上引当金は、今後の同窓生の親睦活動を支援するための原資として、引当てたものです。

注6 事業費は、毎年朝陽に同封して配布している募金趣意書、ニュースレター、および、この表に挙げた項目以外の諸費用です。

集いの際は約2年間貸借したレイフラットへの賃借料です。

### 3 今後への引当金

前述の支出のうち、引当金として計上したものは、2024年度総会において朝陽同窓会の目的である会員の親睦の向上と母校の支援のために充てることを決議し、今後の活動費用として留保したものです。

朝陽あい基金と、親睦向上に、合わせて35、895千円を充てています。親睦向上引当金の用途の詳細はまだ

決まっていませんが、例えば音楽祭や美術展を3年おきに開催することなどに使うことができます。これからも同窓会員の親睦を向上させるイベントを企画し実施したいと思います。

一方、朝陽あい基金は奨学金給付を中心とした母校の生徒への支援が目的です。こちらは毎年同窓会員に募金をお願いし、資金が枯渇しないようにしていきます。

生徒への金銭的援助だけでなく、部活動等も援助できるようにしていきたいものです。

### まとめ

2013年度に検討を始め、2015年から募金が始まった創立百周年記念募金は、2023年度末で終了となりました。

この間、同窓会員のみなならず、父兄、教職員、日頃お世話になっている会社、などなど非常に多くの方々から浄財をお寄せいただき、募金額はおおよそ8、900万円という大きな額に達しました。

これにより、百周年記念事業を財政的に支えることができたばかりでなく、今後の同窓会活動のための引当金も確保することができました。

募金いただいた皆様方に、厚く御礼申し上げます。

## 館山寮再建募金

2019年

### 1 館山寮男子棟倒壊

9月8日の台風15号により館山寮男子棟が倒壊しました。10月15日に財団法人朝陽会の理事会が開催され「2020年の臨海教室実施に向けて男子棟を修復する」ことが決議され、更に「財団法人朝陽会は手持資金がないので、朝陽同窓会とPTAに寄付を要請する」とのことも決議されました。

この要請を受け朝陽同窓会は全力で館山寮男子棟の修復を支援することとし、修復のための財団への寄付は百周年記念募金から支出することも決議しました。

ただし、大幅に財団に寄付すると今後の百周年記念事業に影響を及ぼす可能性があるので、記念募金のさらなる積み増しを図ることにしました。そして台風による館山寮の被害状況を報告し、早期の修復の為の募金を全同窓会会員に呼びかけることにしました。

募金の呼びかけは2019年11月末から開始しました。

### 2 趣意書の発送



宛名書き窓口

館山寮(塩見寮)の男子棟が台風15号で壊滅！  
 - 2020年夏の臨海教室実施を目指して修復を決定！  
 - 至急、修復資金へのご寄付にご協力を！

緊急支援募金をお願い

卒業生の多くにとって「青春の一頁」となった館山寮(旧塩見寮)が台風で壊滅的被害を受けました。しかし、六中以来の臨海教室の伝統を継承し、これから後輩となる生徒諸君のために早期に修復再建することになりました。創立100周年記念募金に際にご寄付いただいた方々を含め、ぜひとも多くの方々から至急にご寄付をいただきたく、特に現役世代の方々の積極的なご支援をぜひお願いいたします。

朝陽同窓会 会長 田中俊郎(17回)

発行/お問い合わせ 朝陽同窓会事務局 〒160-0014 東京都新宿区内藤町11-4  
 電話：03-5368-8366 FAX：050-2730-0128

同窓会では募金を要請するための趣意書を17,000通印刷し、年末に同窓会会員宛に送付しました。

2020年

### 1 館山寮再建募金現況

1月に開催された第61回代表幹事会において、館山寮再建に関する募金の名称を館山寮再建募金(以下再建募金という)と名付けました。

また、1月21日現在、再建募金総額が1,000万円を超えたことが報告されました。

### [1] 募金内訳

● 趣意書発行以前	76万円
● 趣意書発行以降	1,403万円
● PTA(生徒)から	113万円
合計	1,592万円

### [2] 今回から、従来の郵便振込に加え

銀行振り込みやクレジット決済もできるようにしました。

### [3] 再建募金は一旦同窓会の記念募金に繰り入れ、4半期毎に財団法人に引き当てられ、必要に応じて支出する。



## 2 再建募金現況

2月に開催された第62回代表幹事会において、再建募金が累計1、666万円に達した報告がなされました。募金された方は中17回生から新71回生までの広範囲となり、旧師のご子息からもいただきました。PTAからの寄付は総額133万円となりました。

## 3 保険金の受け取り

同じ2月に開催された第62回代表幹事会において、倒壊した館山寮に掛けてあった損害保険から8、659万円の保険金が入りたことが報告されました。金額も予想よりはるかに大きく、大変ありがたいことでした。

## 2021年

### 1 館山寮第Ⅱ期工事計画

12月に書面開催された第67回代表幹事会において、館山寮の第Ⅱ期工事計画が承認されました。計画の概要は左記の通りです。

▼男子棟及び女子棟の再建と浄化槽更新を実施する

▼工事は2022年1月に着工し、6月末に完成させる

▼施工は加藤建設に発注、設計工事監

理はニジアーキテクツに委嘱する

▼工事費総額は11、307万円と推定

▼工事代金は財団の積立金からまず拠出する。不足分は今後更に募る館山寮再建募金から充当する

▼手持資金

保険金 8、660万円

10月末の館山寮再建募金合計 3、248万円

倒壊男子棟解体費

差し引き △1、600万円

総工事費 10、308万円

不足分 11、307万円

△999万円

▼来年1月にニュースレターを発行し、館山寮再建募金を広報

## 2022年

### 1 ニュースレターの発行

2月に書面開催された第68回代表幹事会において記念募金、特に館山寮再建募金の更なる拡大を願ってニュースレターを発行すること致しました。A4片面モノクロ印刷で3頁、17、000部を作成し、郵便局のWEBレターを利用して全同窓会会員へ送付しました。

## 2 募金の状況

6月に開催された書面開催の第69回代表幹事会において、2021年度の募金額は703万円であったことが報告されました。

## 3 募金目標の決定

6月に開催された第69回代表幹事会において2022年度の事業計画が承認され、館山寮再建募金は2022年度末迄に5、000万円を達成することが決議されました。

## 4 第Ⅱ期工事の完成予定

同じ第69回代表幹事会において第Ⅱ期再建工事は6月末に完成し、7月上旬に加藤建設から財団法人朝陽会に引き渡され、また総工費は11、203万円となる見込みとの報告がなされました。

## 5 第Ⅱ期工事の完成

11月の第70回代表幹事会において第Ⅱ期再建工事は予定通り6月末に完了し、7月上旬に加藤建設から財団法人朝陽会に引き渡され、総工費も前代表幹事会で報告した11、203万円で収まったことが報告されました。

## 6 再建募金の終了時期

同じ代表幹事会において再建募金の累計が9月末で4、004万円に達したことから再建工事が完了したので募金を2023年3月末で終了することを決定致しました。

## 7 募金の目標額達成度

2023年2月に開催された第71回代表幹事会において、1月末での募金累計額は4、051万円に達したことが報告されました。

### 2023年

5月の第72回代表幹事会において再建募金が目標5、000万円に対し、累計4、056万円となったことが報告されました。その再建募金を使って館山寮を再建し、2022年から新装なった館山寮での臨海教室も再開されました。

これも朝陽同窓会会員の母校への思いやりの成果だと思います。本当にありがとうございます。





# 第3章

## 親睦の向上

記念音楽祭

ホームカミングデー

朝陽秋川荘

集いの場

記念誌

記念名簿

記念祝賀会

記念美術展

O B O Gのための

キャリアアガイダンス



## 記念音楽祭

### 2013年

#### 朝陽合唱団の発足

母校の創立百周年を祝賀する記念事業を7月の第35回代表幹事会において審議した際に、事業の一環として「卒業生と現役で構成する朝陽合唱団を創設しよう」という提案がなされました。

これが朝陽合唱団発足のきっかけとなりました。

### 2014年

#### 団長と指揮者の決定

6月に発行された「朝陽」63号に合唱団創設の案内と参加者募集の記事を掲載しました。そして、9月に開催した説明会には15名の同窓会員が集まり、鈴木陽子05を団長として推薦することが決まりました。

そして、12月には指揮を含めて合唱指導を音楽科教諭小峰先生に依頼し快諾を得ました。

### 2015年

#### 1 練習開始

朝陽合唱団は1月に母校音楽室にて

練習をスタートしました。

参加者は29名(男性17名、女性12名)で、練習曲は「校歌」と「花は咲く」です。今後は月2回土曜日に練習を行うことも決まりました

#### 2 代表幹事会への報告

7月に開催された第43回代表幹事会において、1月に朝陽合唱団が正式に発足したとの報告を行いました。

・設立 初回練習 1月31日

・団員 50名

・組織 団長 鈴木陽子05

合唱指導 小峰先生

(新宿高校音楽科教諭)

チーフマネージャー

稲見一政24

スタッフ 11名

・練習 毎月第2、第4土曜日 音楽室を利用

・初期費用補助 朝陽同窓会から5万円を今年度に限り補助

#### 3 歌声初披露

5月には同窓会総会にて校歌他2曲を披露、以降、ホームカミングデーでも演奏することが習わしになります。

### 2017年

#### 1 合唱連盟加盟

朝陽合唱団は1月に新宿区合唱連盟に加盟し、その後「新宿合唱祭」「音楽・コーラスのつどい」に参加することになります。

#### 2 記念音楽祭事業の発足

2月に行われた第49回代表幹事会において、百周年記念事業の一環として記念音楽会(のちの記念音楽祭)を開催することとなりました。そして、横田堯15をリーダーとし管弦楽部OB・OG会や朝陽合唱団などにも協力を要請することにしました。これから音楽ホールの確保を目指します。

#### 3 記念音楽祭準備委員会スタート

6月に行われた第1回の準備委員会では、以下の委員が決定しました。

・六声会

・管弦楽部OB・OG会

・朝陽合唱団

・軽音楽部OB・OG会

・事務局

宇野正二02

杉浦純25

小林悦子35

鈴木陽子05

小野晴美35

濱口健34

吉村悟07

#### 4 演奏会参加

同じく6月に新宿文化センターで行われた第37回新宿区合唱祭には、朝陽合唱団と六声会が出演しました。

#### 2018年

##### 1 記念音楽祭の開催方針決定

2月に行われた第53回代表幹事会では、以下の様な方針が決定しました。

- ・趣旨 ジャンルを超え全朝陽音楽人が参加し母校創立百周年を祝賀
- ・会場 「管弦楽＋合唱」の音楽会は新宿文化センターで、「軽音楽」はライブハウスで
- ・時期 秋は記念祝賀会があるので、2022年春の開催に
- ・参加 個人よりグループ／団体を中心に、

管弦楽 管弦楽部OB・OG会  
合唱 六声会、朝陽合唱団、  
音楽部OB・OG会など  
軽音楽 小グループ毎に

##### 2 軽音楽の準備委員会発足

10月に行われた第56回代表幹事会では、以下の様な委員決定の発表が

ありました。なお、参加者は軽音楽部に限定せず全ての卒業生とし、来年のホームカミングデーでの演奏も計画することにしました。

野宮博 20、 榎原光裕 20、  
関根真応 20、 立花敏弘 07、  
北田陽一郎 39、 田角由香 42、  
事務局 大池克幸 24

#### 2019年

朝陽合唱団第1回公演

2019年の3月に新宿区牛込筆筈区民ホールにて、朝陽合唱団として初の自主発表会を開催しました。

#### 2020年

朝陽合唱団の活動の制限

小峰先生の転任に伴い、練習場も学校の音楽室が使用終了となりました。一方、合唱団員の数も増え、着々と練習を重ねてきましたが、コロナ蔓延により練習自体を中断せざるをえなくなりました。

#### 2021年

##### 1 記念音楽祭の開催決定

2月の第64回代表幹事会において、百周年を祝って記念音楽祭を下記概要

にて開催することが決まりました。

- ・開催団体 朝陽合唱団、六声会、管弦楽部OB・OG会、軽音楽部OB・OG会、など
- ・開催形式 コロナ禍で各団体による合同演奏は難しく、個別演奏で開催

##### 2 記念音楽祭の開催延期

10月の第66回代表幹事会において、コロナの収束が見通せないので、記念音楽祭の開催を2023年まで延期することが決まりました。

#### 2022年

##### 1 朝陽合唱団の活動再開

5月に自主練習を開始、7月に全体練習を再開し、音楽スタジオを転々としつつ練習を積みました。

##### 2 記念音楽祭の会場の確保

8月に2023年9月24日(日)の「なかのZERO大ホール」の予約が取れました。

##### 3 管弦楽部OB・OG会の参加が決定

10月に管弦楽部OB・OGの記念音楽

祭への参加が決定しました。

#### 4 記念音楽祭の主催者

11月の第70回代表幹事会において記念音楽祭は朝陽合唱団が主催し、朝陽同窓会が後援することに決まりました。また、在校生にも参加を呼びかけることとしました。

### 2023年

#### 1 記念音楽祭の主催者の変更

2月の第71回代表幹事会において、記念音楽祭は朝陽同窓会が主催することに変更となりました。

#### 2 現役生の参加

3月に記念音楽祭への音楽部在校生の参加が決定しました。

#### 3 記念音楽祭の開催最終決定

5月の第72回代表幹事会において、以下のことが決定されました。音楽祭は合唱中心で開催されます。

- ・日時 9月24日(日)
- ・会場 なかのZERO大ホール
- ・主催 朝陽同窓会
- ・出演 朝陽合唱団、六声会合唱団、音楽部OB・OG、

管弦楽部OB・OG、  
音楽部在校生

#### ・指揮 小峰和則

(元新宿高校音楽教諭)、  
樋本英一 25

#### ・入場 無料、

在校生、保護者にも来場を要請

#### 4 記念音楽祭への申し込み

6月の「朝陽」72号を会員に発送する際に「募金趣意書」を同封しましたが、その中に記念音楽祭の案内を書き込み、併せて音楽祭への参加申込要領を次のように記載して参加受け付けを開始しました。

「7月末までに下記申込内容を記入の上、メールまたはファックスにて朝陽同窓会事務局までお申し込み下さい。電話による申し込みはご遠慮下さい。お申込者には事務局から受付の葉書を送付します。当日はその葉書をご持参の上、ご来場ください。」

- ・氏名
- ・ふりがな
- ・卒業回
- ・同伴者家族等名
- ・連絡先電話

東京府立第六中学校・東京都立新宿高等学校

創立 100 周年

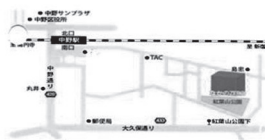
### 記念音楽祭

2023 年 9 月 24 日 (日)

開場 13:00 開演 13:30

なかの ZERO 大ホール 中野区中野 2-9-7

JR 中野駅南口から東へ徒歩 7 分



POST CARD



### 招待

様

このハガキで 名の方が入場できます。  
当日は、必ずこのハガキをお持ち下さい。

東京都立新宿高等学校 朝陽同窓会

160-0014 新宿区内藤町 11-4 新宿高校内  
jchyou@estate.ocn.ne.jp 03-5368-8366

参加申し込みは有難いことに685名に達し、記念音楽祭が盛大に開催できそうだと嬉しい予感が湧きました。各出演団体は練習に励み、事務局は受付等の準備に追われました。

#### 5 記念音楽祭の開催

開催当日は天候にも恵まれ、出演団体と事務局は朝から、なかのZERO



大ホールへ行き、練習や受付準備に追われました。開場は13時からでしたが、早くから集まった来場者でホールの1階はいっぱいになりました。いよいよ音楽祭が13時半から始まり、冒頭三上朝陽同窓会会長18が祝辞を述べました。参加者は700名強となり、会場は大いに盛り上がりを見

せました。プログラムは、新宿高校の校歌演奏から始まり、参加者も校歌と一緒に歌いました。当日のプログラム表紙の写真が口絵にあります。

演奏は休憩をはさんで約2時間半行われました。そして、最後に会場全員で「健児の歌」を歌ってお開きとなりました。

### 終わりに

ここに至る過程で、管弦楽部、軽音楽部も合同で行う案も検討されましたが、最終的に合唱を中心に据え、朝陽合唱団に加え、伝統ある六声会と現役生徒が活動する音楽部が合同で行うこととなりました。

当日は天候にも恵まれ、約700名の同窓生が詰めかけてくれました。演奏も素晴らしく、会場の雰囲気も良く、無事成功裏に終わることができました。「聴いているうちに涙が出てきた」、「感動した、来てよかった」などの声をたくさんいただきました。

朝陽合唱団始め、今回出演して頂いた方々が、今後も長く音楽活動を続けていけることを願っております。

## ホームカミングデー

### 経緯

ホームカミングデーは、百周年記念行事の一つとして早くから提案されていたものの、校舎利用日の制約もあって2015年までは具体化に至りませんでした。しかし、2016年4月に就任された加藤校長から、部活のみで授業がない日なら利用可能との話があり、この年から実現したものです。

プログラムの内容は講演・校内ツアー・懇親・親睦会と盛りだくさんです。毎年テーマを決めて、それに沿った内容のホームカミングデーを開催してきました。

### 2016年

この年は11月19日(土)に開催

**朝陽同窓会主催 ホームカミングデー開催**

卒業生の皆さんへ  
母校・新宿高校へお越し下さい！  
新校舎もこの山手線沿いの校舎です！

高校を卒業して40年、50年、60年と経つにつれて、母校の思い出がますます鮮明になります。この機会に、旧校舎の思い出を語り、新校舎の魅力を伝えるイベントです。旧校舎をめぐって「新校舎」を見学し、同窓会関係者のみなさんと交流を深めたいという思いで、皆さんの「新宿高校」をお待ちしています！

そこで、今年から「ホームカミングデー」を行います。  
母校を懐かしみ、旧校舎の交流を促すイベントです。  
旧校舎をめぐって「新校舎」を見学し、同窓会関係者のみなさんと交流を深めたいという思いで、皆さんの「新宿高校」をお待ちしています！

2016年11月19日(土)  
13時～16時(受付開始12時30分)  
場所：新宿高校 食堂(1階)  
参加費：無料

朝陽同窓会  
〒160-0014  
東京都港区南青山1-1-4  
新宿PARK 03-3408-8260  
Eメール: jichu@youthclub.or.jp

され、初年度なのでテーマは特に決めませんでした。参加人数は145名です。





体育館の見学

2017年

この年は11月18日(土)に開催され、テーマは「私の恩師に会いたい」です。参加人数は前年より増えて163名です。



↑23名の恩師の方々



2018年

この年は11月24日(土)に開催され、テーマは「運動部・文化部全員集合」です。参加人数は前年より増えて180名です。

校内見学では校舎内や校庭をグループ単位で自由に見学します。また、クラブ単位にコーナーを設けて、各運動部・文化部の歴史などを展示しました。また、創立68年を数える男声合唱団「六声会」が、ホームカミングデーでの初披露を行いました。平均年齢70



朝陽合唱団の演奏

代後半ですが、元気で張りのある歌声に、皆さん魅了されました。また、現役生のダンス部の演技があり、躍動感溢れるダンスで観衆を楽しませ

しました。さらに、現役生の軽音楽部も演奏してくれました。軽快なリズムに乗って、聞いている方も大いに身体を動かしました。

バスケット部OB会前会長の三浦正純06さんによる講演もありました。1953年に東京都大会で準優勝に輝いたことなど、他の部の思い出も含めてお話しいただきました。

終わりに、百周年記念事業の一環で三年前に設立された混声合唱団「朝陽合唱団」の演奏がありました。新宿高校現役の音楽の先生にご指導いただき、日々腕を上げている合唱団です。

場所を変えて「クルーズクルーズ新宿」で懇親会を行い、大勢の方が参加され懇親を深めました。

2019年

この年は11月23日(土)に開催



パンフレット





され、テーマは「音楽会」、参加人数は201名でした。



軽音楽の演奏



管弦楽部の演奏

2020、22年

新型コロナウイルスにより中止致しました。

2023年

百周年記念事業もあり、準備にかかる時間不足のため中止致しました。

今後

2020年からの4年間は休止に追い込まれましたが、2024年には復活させることができました。その模様は口絵にあります。

ホームカミングデーには普段会えない恩師との再会や現役生との交流など、卒業生を母校に引き付ける魅力があります。

今後とも、同窓会活動の大きな柱のひとつとして引き続き盛り上げて行きたいと思います。

## 朝陽秋川荘

2019年

1 山荘寄贈のお申し出

2月に共に同窓生のNご夫妻から朝陽同窓会に対して、「青春の思い出が詰まった山荘なので、母校の役に立てたい。については無償で寄贈する」とのお申し出がありました。

山荘の概要は以下の通りです。

建物 木造平屋造り

2LDK68㎡

土地 3、178平方メートル

価格 2017年7月当時の購入価格 2、000万円

備品 200万円

管理費 40万円／年

場所 西多摩郡檜原村

登山やハイキングの基地として好適

交通 武蔵五日市駅からバス40分

2 山荘の見学

正式なお申し出に先立ち、1月に吉村悟07、西出紀久15、柴田真樹18はNご夫妻に案内されて現地に赴き山荘

を見学しました。その結果「大変良い物件であり水上寮の代替になり得る」との感想を得ました。



### 3 準備委員会の結成

2月の第56回代表幹事会において、検討のための準備委員会の結成が承認されました。

委員長 秋山小南 15  
委員 柴田真樹 18

宮崎雅弘 35  
門司（高橋）悦子 38  
事務局 大池克幸 24

メンバーは3月に早速現地を訪問し

て調査を開始しました。檜原村役場、消防署、保健所などを訪問し助言を受けました。

### 4 財団の承認

3月に財団法人朝陽会の理事会・評議委員会に山荘の寄贈を受けるかどうかの承認を仰ぎました。朝陽同窓会は法人格がなく土地建物等の取得に不適合だったからです。

その結果、財団は「寄贈を受け山荘を取得する。ただし、取得後の必要経費については朝陽同窓会から寄付を受ける」との条件で承認いたしました。

### 5 受贈の保留

財団の前向きな承認を得て、朝陽同窓会は第58回代表幹事会を4月に開催し、山荘の受贈について審議を行いました。この代表幹事会で承認されれば5月に予定している2019年度総会に議案として上申することになります。

しかし、監事が強く反対し、代表幹事会は紛糾しました。反対の理由は「収支計画に無理がある」ということです。「1、2年だけではなく、今後30年間の収支を厳密に見積もって収

支計画を作成するべきであり、それがない限り寄贈を受けるべきではない」との意見です。

代表幹事会では種々議論しましたが、結局、意見は纏まらず「寄贈を受けるかどうかについては、今少し結論を延期し、さらに検討する」ということで閉会になりました。

### 6 受贈を辞退

代表幹事会で結論保留となったことを受け、吉村悟07と西出紀久15は直ちにNご夫妻を事務局にお招きして、結論が保留となったことを伝えました。そして、今暫く時間を頂けないかどうかお尋ねしました。

しかし、ご夫妻からは「諸般の事情もあり、早く決着することを望んでいる。従って、この際白紙に戻したい」とのお話でした。

我々も寄贈される方のお気持ちを尊重し「白紙にさせて頂きます」と申し上げました。同時に返事に時間がかかり、しかもお断りすることとなったこととお詫びしました。併せてご夫妻の母校への愛情と朝陽同窓会への暖かいお気持ちに対し、深く感謝申し上げます。

## 集いの場

### 2014年

これまでの経緯

2005年の三代目校舎の完成に伴い、朝陽同窓会が卒業生からの募金で建てた朝陽会館が取り壊しになりました。朝陽同窓会の事務室は新校舎の2階に確保できました。

しかし、事務室は学校の設備の一部なので夜間、休日の利用に制限があります。また、アルコールの摂取も当然のことながら禁止となりましたので、大人の集いを催すにはやや窮屈となりました。

このような状況を打破し、卒業生が自由に利用できる集いの場が欲しいとの思いが、2013年7月の第35回代表幹事会の結論として結実し、創立百周年記念事業で「戸山高校のようなクラブハウスを作ろう」との提案となりました。

この提案をうけて開催された2014年7月の第39回代表幹事会において梅澤博22が「クラブハウスの創設」検討チームのリーダーとして選任されました。

### 2015年

会議施設の利用開始

2015年に入り、集いの場の事業の手初めとして同窓会員への会議施設の紹介を開始しました。話が広がるにつれて段々利用者も増加してきました。

#### ▼サラ文会議室

新宿駅西口より3分、ミヤコビル5階

10名程度の会合可能、要予約、使用料300円/人

#### ▼クルーズクルーズ新宿

2月の第41回代表幹事会において、新たにレストラン「クルーズクルーズ新宿店」との契約が成立した旨の発表がありました。

同窓会プラン、ランチプラン、会議プランなど、朝陽同窓会向けの優待プランがあり、金額は税別で4、300円～6千円です。

特典としては利用者一人当たり100円が朝陽同窓会の記念募金に還元されることです。

注) 2020年12月に閉店の為、同窓会プランも終了

### 2016年

1 集いの場検討チーム発足

7月の第47回代表幹事会において、昔の朝陽会館のような自前の設備が持てるか、或いは外部利用で類似のことができるか、検討チームが結成されました。チームのメンバーは以下の方です。

梅澤博23、太田正行23、山本展也27、宮坂雅子27

2 オペラシティ東天紅の利用開始

11月の第48回代表幹事会において、初台のオペラシティ54階にある東天紅が、新規提携先となったことが発表されました。

注) 2023年11月に閉店の為、提携も終了。

### 2017年

施設利用者への補助

2月の第49回代表幹事会において同窓会のホームページに、利用できる会議用施設を掲載し、その利用者に対し3千円を上限に実費を補助金として支給することを発表しました。

## 2018年

### 1 小規模事務所の確保

2月の第56回代表幹事会において、検討チームから以下の提案がなされ承認されました。

- ・目標 小規模事務所を百周年記念事業準備室として早急に賃借する
- ・用途 百周年記念事業関連の会合や記念誌資料の保管、同期会幹事会、趣味の会など主に夜間や土日休日の利用
- ・規模 20人以内の利用／10坪／坪単価12～15万円
- ・費用 初期投資 150万円程度、年間維持費 200万円程度
- ・場所 新宿高校近辺
- ・契約 出物があれば素早く手を打ちたい

また同窓会館の確保も諦めず、長い目で初期の目標を達成することとしました。

- ・朝陽同窓会の伝手を利用し、国や都などの機関に働きかけ

- ・資産を有効利用して欲しいと申し出る同窓生に期待

- ・「朝陽」などを介し、広く情報を収集

### 2 レイフラットの利用開始

7月に開催された第55回代表幹事会において、既に予算計上されている百周年記念事業準備室を以下の通り具体化し、9月から卒業生に提供することになりました。

- ・賃借物件 レイフラット新宿 311号室
- ・賃借期間 とりあえず2年間
- ・費用 初期費用 110万円、賃借料 134万円／年

なお、利用者には、利用料が必要なくなつたので、記念募金に何がしかの寄付の協力を要請することとし、募金箱を設置しました。

また、10月の第56回代表幹事会終了後、レイフラットの見学会を開催し多数の代表幹事の方々が参加しました。

## 参考物件 賃借事務所(新宿高校より徒歩3分)

・規模 7坪(23㎡) 2階  
 ・賃料 78千円  
 ・敷金 6か月  
 ・築年 1974年

□初期投資 120万円  
 □維持費(年) 130万円

## 2019年

### 1 レイフラットの利用状況

2018年9月は2名でしたが、利用率は徐々に上がり始め、2019年の2月には20名となり、半年間の累計では67名となりました。また、利用者にお願ひしている募金箱への寄付も、累計23、542円でした。



## 2 監事からのコメント

7月の第59回代表幹事会において、「百周年記念準備室としてのレイフラットの利用状況は先に考えていたものとかけ離れている。有効に活用されるように再検討すべきだ」とのコメントがありました。

しかし、種々の方策を実行しても、それほど利用は増えませんでした。増えない理由は、収容人数が中途半端で代表幹事会などでは利用できない、館山寮再建に集中しなければいけないので、他の百周年記念事業の推進が遅れているなどの理由によります。

## 2020年

### 1 レイフラットの利用の中止

2月の第62回代表幹事会において2020年度の事業計画について検討が行われ、集いの場に関しても以下の方針が承認されました。

- ・ 朝陽会館の再建は諦めず、卒業生からの寄贈を期待
- ・ レイフラットを事業準備室として継続利用するかどうかについては、5月末までに判定

## 2 コロナ禍とレイフラット契約解除

3月に入り新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言が発令され、新宿高校の学校閉鎖に合わせ朝陽同窓会も事務局の閉鎖ということになりました。期間は3月下旬から5月末までです。

5月に開催予定の第63回代表幹事会の議案書ではレイフラットの利用について

- ・ 利用が趣味の会や同期会打合せ会合に留まり、それ以上の広がりがない。
- ・ 予約受付や部屋の掃除などに事務局の時間がかかる。

との理由から賃借契約を解除することが提案されました。

この第63回代表幹事会ではコロナ感染拡大のため延期となりましたが、レイフラットの利用については契約期間が年単位であることを考慮し、7月で賃借契約を解除しました。

そして、延期となっていたこの第63回代表幹事会は結局10月に書面開催され、レイフラットの利用中止についても承認を受けました。

## まとめ

### 1 評価

第二校舎時代に存在した朝陽会館への同窓会員の思い入れが深く、「何とか復元したい」という、つまり、昼間のみならず夜間も、或いは土日祝日も使えて、しかもアルコールも飲める大人にとって利用しやすい場所が欲しいという思いが、このレイフラット利用でしたが、朝陽会館と比べて、いくつか劣る点がありました。

- ・ 収容人数が少なく20名以上の会議、代表幹事会等が開催できない。
- ・ 資料が朝陽同窓会の事務室にあるので、百周年事業準備室には不向き。
- ・ 事務局員がレイフラットへ赴いて、清掃作業をしなければならない。

殊に利用人数に制限があることは深刻で、役員会はなんとかできるにしても代表幹事会が開催できないことは、最初から分かっていたことではあります。すが利用価値を下落させました。

また、当初は百周年記念事業の推進本部として使う予定で、一番利用を期待したのは百年誌編集でした。しかし、



実際に編集を始めると、学校の先生方

との打ち合わせや過去の資料の分析などが必要となりました。学校の先生方との話し合い等は学内なら比較的容易にできますが、レイフラットでは、ちよつと打合せをという訳には行きません。また、昔の「朝陽」はじめ朝陽同窓会の過去の資料は事務室に保管してあります。持ち出すこともなかなか難しく、結局、編集作業はレイフラットではなく朝陽同窓会の事務室でということになりました。

利用後の部屋の掃除にも問題が発生しました。基本的には利用者がきちんと清掃して帰るということを約束としていました。ほとんどの利用者はしっかりルールを守って頂けました。しかし、残念ながらごく稀ではありますが、散らかしたまま帰った利用者や、トイレまで汚したままの例もありました。事務局では利用が有った翌朝は必ずレイフラットに寄って部屋の状態を確認し、以後の利用に備えていましたが、これも段々負担になってきました。

## 2 結論

結局2年間で利用件数は200件強、費用は550万円でした。昔の朝陽会館と異なり、代表幹事会やクラス会に使うには手狭で、賃借料が2年間で550万円というのは割高と評価されても仕方がないところでしょうか。

囲碁の会やブリッジの会、或いは同期会やクラス会開催のための幹事の打ち合わせ会など、少人数の会合には便利で評判も良かったと思います。また、そのような会合が、結局記念募金の成果に繋がったことは間違いありません。なお、その後新型コロナウイルスの感染が拡大したことを考えると2020年7月で賃借契約を解除したことはよかったと思います。

確かに不動産を買う、借りるということは、このご時世で中々大変です。しかも、新宿という一等地ではなおさらです。

これからも諦めず、何とか昔の朝陽会館の復元を目指して行きたいと思えます。

同時に、現在の学校内にある事務室を絶対に手放さない様に！

## 記念誌

### 2019年

編集委員会の発足

2月に開催された第57回代表幹事会において、百年誌編集委員会をスタートさせることが発表されました。

・編集委員長 西出紀久 15

・委員 秋山小南 15

奥 武則 17

林慶治郎 18

太田正行 23

・事務局 大池克幸 24

### 2020年

1 編集方針の決定

編集委員会は1月に通史と百年誌に分けて作成することを決定しました。

通史と百年誌の作成費用の概算は800万円と予想しました。通史は学校との共同作業となるため、学校側にも費用の分担を要請しますが、この時点では学校の分担額は未定でした。

百年誌は朝陽同窓会が単独で作成し、執筆者を恩師や同窓生から選考し寄稿を依頼することにしました。なおこの時点では百年誌を同窓会員に対して販

売するのかどうか未定でした。

## 2021年

### 1 編集作業の進展

2月の第64回代表幹事会において、編集作業の詳細が報告されました。

### [1] 通史

- ・学校と朝陽同窓会の共同で作成
- ・既存の90年史以降の10年分を加えたもの
- ・2021年度中に原稿を執筆者に依頼し回収
- ・都からの百周年記念行事に関する予算の内、通史への配分額が決定
- ・学校の希望する通史の無料配布冊数が決定

### [2] 百年誌

- ・恩師や同窓生に依頼した寄稿は2月の時点で、既に原稿を90%回収

### 2 通史や百年誌の刊行期日決定

10月に開催された第66回代表幹事会において、刊行日などが編集委員会から報告されました。

### [1] 発行予定

- ・通史と百年誌はいずれも2023年3月の刊行とする

### [2] 通史

- ・特に通史は75回生の卒業時に配布できるように刊行
- ・2022年に学校内に通史の編集委員会を立ち上げる
- ・編集委員会の責任者は国語科池田先生とする
- ・印刷業者の決定については学校側と協議を行う

### [3] 百年誌

- ・印刷業者は過去の実績がある東光整版印刷とする。

### [4] 予算

- ・予算800万円はすでに前回の代表幹事会で承認済みだが、更に予算を超過する場合には代表幹事会に上申する

## 2022年

### 1 編集委員の追加

4月に三矢恵子26が編集委員として加わりました。原稿の校正や編集委

員会の議事録の作成など精力的に活動し、委員会の効率を高めてくれました。

### 2 編集作業の進展

11月に開催された第70回代表幹事会において、印刷冊数などについて編集委員会から報告がありました。

### [1] 通史

- ・印刷部数は2,000部とし、内1,270部を学校へ寄贈

### [2] 百年誌

- ・2023年3月に刊行を予定
- ・印刷部数は2,000部
- ・内420部は現役教職員・寄稿者・多額募金者に寄贈
- ・多額募金者の定義は百周年記念募金及び館山寮再建募金合計10万円以上とする

### [3] 収支見込

売上高	558万円
印刷代等	722万円
差引	△165万円

## 2023年

### 1 発行方針の最終決定

2月に開催された第71回代表幹事会において、2023年度の事業計画が決定され、その中で百年誌の発行についても最終計画が承認されました。

#### [1] 通史

- ・題名は「百年の歩み」とする
- ・内容は府立六中創立以来100年の通史を記述
- ・印刷部数は同窓生への販売分を含めて3,000部に変更
- ・1,270部は新卒業生や現役生に配布

#### [2] 百年誌

- ・朝陽同窓会が編集
- ・題名は「木々の翠を見やりつゝ」とする
- ・内容は恩師や卒業生の寄稿、及び座談会で構成
- ・現在恩師や卒業生の寄稿ほか最終原稿の校正中
- ・印刷部数は2,000部
- ・内320部は寄稿者や多額募金者に配布

#### [3] 販売

- ・通史と百年誌をセットで同窓会会

員に4千円で販売

#### [4] 収支見込

- ・全数売却の場合、売上高は553万円となる
- ・印刷代は823万円の見込み
- ・差引270万円の赤字となる
- ・なお百周年記念事業費として記念誌予算800万円を既に計上済

#### 2 通史の完成

通史は予定通り3月初めに完成しました。通史「百年の歩み」の目次は下記の通りです。

#### ・挨拶

校長、PTA会長、同窓会長

#### ・年表

府立第六中、都立新宿高校の4名が参加

#### ・座談会

コロナ禍における行事の意義と新宿高校生気質をテーマに

#### ・記事

府立第六中学校、及び都立新宿高等学校の歩み  
館山臨海教室  
府立六中草創時の塩見寮と水上寮

新宿名物内藤とうがらしと  
新宿高校  
教育課程と入学者選抜制度  
の変遷

通史は母校の100年間の変遷を記述したもので、年代ごとに府立第六中学校と都立新宿高等学校の出来事を書いていきます。今回一度に記述したものではなく、過去に作成した通史に加え、直近の10年を積み足して作成しました。

#### 3 通史の刊行

3月に通史の印刷が終わり、新卒業生と在校生に配布されました。

#### 4 通史の編集

通史の編集にあたっては母校の池田篤先生33と朝陽同窓会の太田正行23を中心に創立百周年記念誌編集委員会を設立しました。委員の方々はご多忙、かつコロナ禍の中を通史の編集にあたっていただきました。委員各位のご尽力に厚く感謝申し上げます。

#### 5 百年誌の完成

百年誌は予定より少し遅れて6月に

完成しました。百年誌「木々の翠を見やりつゝ」の目次は以下の通りです。

・挨拶 朝陽同窓会会長

・祝辞 校長、PTA会長

・寄稿

―回想 新宿高校と私

―教え子と歩んだ100年

―それぞれの100年 あの友この友

―青春の躍動、部活100年

―広がる同窓生のネットワーク

・座談会

―旧校舎時代

―二代目校舎時代

―三代目校舎時代

―新宿女子が語る

・記事

―六中同窓会のあゆみ

―朝陽同窓会戦後の復興から今日

―百周年記念事業

―朝陽同窓会こぼれ話

6 刊行

百年誌の印刷は計画より遅れて6月末に終了し、寄稿者や寄付金多額納付者、現役教職員に配布されました。また同時に朝陽同窓会員に向けての販売も開始されました。

このような内容の濃い百年誌を編集して頂いた左記の方々に心からお礼を申し上げます。

・西出紀久 15

・林慶治郎 18

・太田正行 23

・奥武則 17

・橋本健一 19

・三矢恵子 26

#### まとめ

2017年頃同窓会で検討していた百周年記念誌の編集担当を打診され、何とかなるだろうと気軽に引き受けてしまいました。今考えると「朝陽」編集長として編集を齎った経験があったこと、事務局長として人脈も多少あったことで、気軽に思っていたのだと思います。

ところが実作業が始まり、編集長経験が殆ど役立たないことに気が付いた時は手遅れでした。その後は慣れない作業に戸惑いと冷や汗の連続で、その結果校了間近までベテラン揃いの他の委員の方々に迷惑のかけ通しでした。

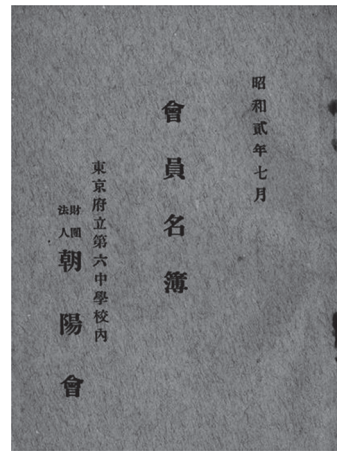
「同窓会百年の歴史」については主に吉村悟07、太田正行23の2人が分担執筆しましたが、その歴史の最後の10年を私は事務局長として過ごしました。今回の百年誌作成に当たって吉

村悟前幹事長07、秋山小南前事務局長15、小出富江07を始めとする歴代事務局員の方々の献身により築かれてきた同窓会の歴史と伝統を、多くの資料と共に再整理できたのは嬉しいことでした。

反省材料は多々ありますが、新宿高校の礎を築かれた恩師、先輩方の足跡、そして新たな伝統を築きつつある後輩諸氏の気概に、多くの寄稿文を通して親しく触れることができたことは、何物にも代え難い思い出となりました。

(この項西出紀久15記)

## 記念名簿



最初の名簿 1927年

### 発端

#### 1 最初の同窓会名簿

最初に発行された名簿は1927年（昭和2年）のもので、現在の朝陽同窓会の前身である東京府立第六中学校内財団法人朝陽會が作成しました。この名簿には当時すでに卒業していた六中1回生から6回生迄が含まれます。名簿の大きさは葉書位のサイズで、学年組順、イロハ順に並び、生徒氏名・現住所・電話番号・出身小学校・父兄氏名が記載されています。

#### 2 その後の名簿発行

名称は六中時代の財団法人朝陽會から朝陽同窓会へと変わりましたが、規

約にもあるように会員名簿の作成は同窓会にとって、最も重要な事業として取り扱われてきました。そして、だいたい4年ごとに発行されてきました。しかし、世の中は次第にデジタル化し、代表幹事会では紙に印刷した名簿が時代遅れではないかとの意見が出るようになってきました。

#### 2014年

2015年版の名簿発行

10月の第40回代表幹事会において、名簿を2015年10月に発行することが決まりました。

今時紙の名簿などいろいろなのではないかとこの発言もありましたが、大学生の就職活動に有効だとか、親子孫三代の名前が載るのは嬉しいものだといった意見も出て結局発行することに決まりました。

発行部数は600冊とし、2015年の「朝陽」送付時に個人情報確認することになりました。

#### 2015年

1 発行部数の変更

11月の第42回代表幹事会において、名簿の発行を11月とし、部数を

1、000冊に変更しました。

名簿が売れ残った場合は廃棄せず、代表幹事に無償配布するなど考えて欲しいという意見もあり、今後の代表幹事会での審議に任せることとなりました。

2 2015年版名簿の発行

印刷が完了した名簿は4千円で希望者に販売され、11月に発送が終わりました。

#### 2019年

発行の検討

10月に開催された第60回代表幹事会において、百周年記念版として2022年度に名簿を発行することを検討中との報告が事務局よりなされました。

#### 2020年

1 発行の決定

2月に開催された第62回代表幹事会において、2022年度の事業計画が承認を受けました。その中で記念名簿を2022年秋に発行することとし、名簿の詳細内容を決定し、資料の収集を開始するという運びになりました。



## 2 発行日の変更

10月に書面開催された第63回代表幹事会において、記念名簿の発行を2021年度と繰り上げ、今年度から住所などの名簿への掲載／非掲載の確認を開始することとしました。

## 2021年

### 1 名簿作成の外部委託

2月に書面開催された第64回代表幹事会において、2021年度事業計画が承認を受け、記念名簿については以下の通り承認されました。

[1] 発行は百周年を記念するので2022年度中の発行を目指す。

[2] 作成は(株)サラトという同窓会支援専門業者への委託を検討

[3] 住所や自宅電話、勤務先の掲載／非掲載の確認については、2021年春と2022年春の2回実施

### 2 (株)サラトとの契約

10月に書面開催された第66回代表幹事会において、名簿の(株)サラト(以下単にサラトと表記)への外注作

成が承認されました。サラトに決まった一番の理由は名簿発行費がかからず、したがって朝陽同窓会の負担がないということです。

[1] 発行予定日 2023年2月

### [2] 依託先業者

▼同窓会支援専門業者であるサラトに委託

▼同社は2022年に180校の同窓会から名簿発行受注

▼プライバシーマークも取得済

▼既に同社に会費等のクレジット決済を委託済

### [3] 契約の概要

▼経費負担

・制作に係わる経費のすべてをサラトが負担

・サラトは経費を朝陽同窓会員への名簿販売、賛助金、広告収入で充当

・住所等の調査票の発送・返信料金もサラトが負担

▼販売

・予約前納制、または代金引換方式  
・名簿の頒布価格は4,400円

(税・送料込み)

▼広告

・朝陽同窓会会員、及び他企業から募集

・カラー1頁22万円など

▼賛助金

・同窓会会員限定で募集し、1口1万円、名簿1冊贈呈

▼機密保持

・一切第三者に個人情報を開示してはならないとする

・個人情報保護のため、別途業務委託覚書交換

▼特約事項

・サラトが費用を名簿売上や広告収入で賄えなくても補償しない。

・50冊を朝陽同窓会に贈呈。

・サラトが発送する名簿初期調査票を「朝陽」71号と同時発送することになり、「朝陽」発送関連経費(約2百万円)は不要となる。

・広告収入が100万円を超過した場合、超過分の半額を朝陽同窓会に還元

・賛助金1口(1万円)につき、1,500円を朝陽同窓会に還元

・名簿発行後サラトは全てのデータや書類を朝陽同窓会に返却

## ▼日程

- ・契約締結 2021年12月
- ・第1回調査票送付「朝陽」71号と同時発送 2022年5月
- ・名簿販売促進文書送付 2022年6月
- ・第2回調査票送付 2022年7月
- ・電話や文書での販促を会員へ向け実施 2023年1月～2月
- ・名簿発送開始 2023年4月
- ▼その他
  - ・大きさB5からA4に変更
  - ・目次、会則、役員一覧、氏名や職業検索など、従来通り

## 2022年

### 1 サラトとの契約締結

2月の第69回代表幹事会において、2021年12月にサラトとの委託契約書と個人情報情報の守秘義務に関する覚書が締結されたことが事務局から報告されました。

また、個人情報情報の変更等については間違いを減らすため会員から直接サラトに連絡するのではなく、全度朝陽同窓会事務局が受け取り、改めてサラトに送付することに決定しました。

### 2 ニュースレターの発行

2月に記念募金の募集、記念祝賀会の案内に併せて記念名簿の作成についてサラトに委託することをニュースレターに記載いたしました。

「創立100周年記念版・朝陽同窓会名簿」を発行いたします  
～恩師、先輩、後輩、そしてご友人を繋ぐ一助としてご活用ください～

■ 概要 ・発行 2023年3月下旬、但し発送は4月初旬になります  
・サイズA4版（約480頁） ・販売価格 4400円（送料・税別）  
・購入方法、賛助金協力、広告掲載については同封資料をご覧ください

■ 掲載項目  
・会長挨拶 ・校長挨拶 ・沿革 ・同意会会則 ・役員名簿 ・旧教職員名簿  
・卒業期別別名簿  
〔中第1回生（昭和2年3月卒業）～中第21回生（昭和22年3月卒業）〕  
〔中第22回生 第1回生（昭和24年3月卒業）～第74回生（令和4年3月卒業）〕  
・氏名索引 ・勤務先/在校先索引 ・賛助広告者一覧

■ 掲載個人情報 ・氏名（旧姓、旧名） ・現住所（電話） ・勤務先名（補足）  
・卒業生の旧教職員は卒業期別別名簿と旧教職員名簿の両方に掲載されます  
・旧姓、旧名は卒業時のものが掲載されます

■ お振込に当たって振込用紙をお間違えないようにお願いします  
・名簿購入と賛助金の振込み：「確認はがき」にセットされている振込用紙  
・同意会の会費、寄付金の振込み：「趣意書」にセットされている振込用紙

■ 制作・販売 株式会社サラト へ委託  
朝陽同窓会は約40年にわたって、全国の同意会名簿を作りつづけ部内でも多数の実績を有する会社です ホームページ <https://salat.co.jp/>

## ニュースレター

### 3 記念名簿の案内

6月に発行した「朝陽」71号に記念名簿の案内記事を掲載しました。

### 4 記念名簿の作成状況

11月に開催された第70回代表幹事会において、記念名簿の作成状況が報告されました。

### [1] 発行

2023年3月にサラトから発売の予定 価格は4,400円

### [2] 現況

・会員数 31、319名  
住所判明者 16、628名  
物故者 6、767名  
・名簿購入 1、094部  
賛助金申込も含む  
・広告申込 15件

### [3] 日程

朝陽同窓会内データ締め切り 2022年11月末 20

### 5 名簿の作成作業の終了

2022年11月に個人情報情報の変更訂正を締め切ったので、事務局の個人情報訂正作業も一段落しました。

## 2023年

### 1 名簿の申込状況

2023年3月末における名簿の申し込み状況は下記の通りでした。

### ▼会員数

住所判明者 31、310名  
16、526名

物故者

▼名簿購入

6、867名  
1、746部

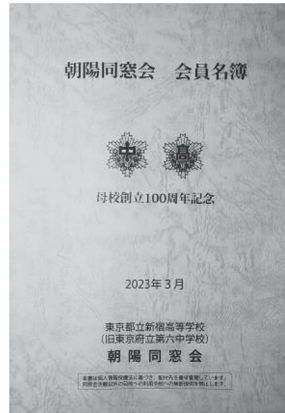
賛助金申込も含む

▼広告申込

26件

2 名簿の発送開始

4月から(株)サラトが名簿の発送を開始し、名簿を申し込んだ会員には順次発送されました。



### まとめ

名簿を作ってみて改めて府立六中以来の100年に渡る歴史の偉大さに感激しました。やはり朝陽同窓会にとって名簿は活動の中核をなすものです。媒体は必ずしも紙の印刷物とは限りませんが、これからも作成し続けることを期待します。

## 記念祝賀会

2018年

1 開催方針決定

10月に開催された第56回代表幹事会において、記念祝賀会の方針が決定されました。

2018年に小石川高校が百周年記念祝賀会を着席800名で開催すると  
の情報を得たので、我々も同等かそれ  
位以上の祝賀会をと勇み立ちました。

▼開催日時

2022年 春、また  
は秋

▼参加人数

1000名

▼会費

1万円

▼イベント

池辺晋一郎 15  
坂本龍一 22  
塩崎恭久 22

の対談など

▼準備委員会

阿比留みどり 17

金杉一朗 26

戸城幸夫 28

高橋寛 32

小野正浩 36

吉村悟 07

鈴木佳津子 23

大池克幸 24

▼事務局

2019年

1 開催日や会場

1月に開催された第1回準備委員会で以下の方針が決まり、2月の第57回代表幹事会において承認を受けました。

▼開催日

2022年10月か11月  
の日曜日の午後

▼会場

京王プラザホテルを打診中

▼人数

着席800名が限度

▼ゲスト

これから候補を選んで出演  
交渉を開始

2 開催日の決定

10月の第60回代表幹事会において、開催日と会場の詳細について事務局から報告があり、2022年10月23日(日)の昼、京王プラザホテルでの開催が承認されました。

2020年

1 事業の停滞

2019年9月に発生した台風による館山寮男子棟の崩壊や2020年春以降の新型コロナウイルスの拡大により、記念祝賀会についての大きな進展はありませんでした。

しかし、開催プログラムの作成やゲストへの出演交渉などが、準備委員会と事務局との共同作業で実施されました。

## 2021年

### 1 開催規模の変更

2月に書面開催された第64回代表幹事会において、原案の京王プラザホテルでの着席800人規模の記念祝賀会は経費負担が大きいとのことでの他の案も検討されました。

#### ▼原案 京王プラザホテル 着席

800人 収支 700万円の赤字

#### ▼案1 京王プラザホテル 立食

400人 収支 350万円の赤字

#### ▼案2 一般ホテル 立食

400人 収支 150万円の赤字

#### ▼案3 宴会場 立食

200人 収支 70万円の赤字

代表幹事会に先立って行われた役員会では、案1または案2の賛同者が多かったとの報告もありましたが、最終結論は6月の総会迄に出すこととしました。

### 2 開催規模の決定

5月に書面開催された第65回代表幹事会では、総会に上申する2021年度事業計画の審議も行われました。記念祝賀会については以下の通り。

#### ▼2022年10月23日(日)に京王プラザホテルで開催

▼参加者数は400名とし、立食が着席かの判断はコロナの感染状況を加味して判定

▼ゲストは2021年度内に決定

### 3 祝賀会の詳細立案

10月に書面開催された第66回代表幹事会では記念祝賀会の詳細が事務局から提案され左記が承認されました。

#### ▼日時 2022年10月23日(日)

午後の三時間程度

#### ▼会場 京王プラザホテル

コンコードボールルーム

#### ▼参加者 400名

#### ▼形式 立食、または着席

コロナ感染状況を加味して決定

#### ▼MC 三上(伊藤)彩子18、

小出朗57

### ▼プログラム

・来賓挨拶

・対談1 各界功績者 4名程度

・対談2 世界で活躍の卒業生、現役先生、若い卒業生

・演奏 合唱、管弦、軽音楽

・展示 同窓生の制作品など

▼会費 1万～1万2千円程度 事前払い

なお、個人出演者や対談参加者など概ね出演の了解を得ており、団体の出演も出そろっているとの報告がありました。

#### ▼広報 ホームページに記事掲載、

#### □□□開設

▼予算 360万円程度の支出を予想、ただし参加者が400人の場合

合

#### ▼今後の日程

開催or延期、着席or立食、

参加者人数の決定 1月

予算確定 2月

京王プラザホテルと開催規模や

形式など契約 3月

以降キャンセル料発生



2022年

# 1 開催要領の決定

2月に開催された第68回代表幹事会において、記念祝賀会の開催要領を報告、了承されました。

## ▼開催日 本年10月23日(日)

13時30分～16時30分

## ▼会場 京王プラザホテル

着席400名

## ▼会費 1万円/人、学生8千円

新宿高等学校 創立100周年

記念祝賀会 企画案

開催日 2022年10月23日(日)

会場 京王プラザホテル  
コンコルドルーム(5F)



主催 朝陽同窓会

## ▼日程

ニュースレターで第一次参加者募集

京王プラザホテルと契約

「朝陽71号」で第二次参加者募集

# 会費事前払い時期

6月9日

▼課題 コロナ禍で見通しの立たない中、安心してご参加いただくため開催の判断が重要と認識。

▼契約 契約後の解約にはキャンセル料が発生するが、コロナ禍が原因となる解約の場合は、夏場までに決定されればキャンセル料は発生しない。

また、開催した場合でも、前記の理由による参加申し込み人数減に対しては、減少分のキャンセル料についても同様。

▼開催の判断 祝賀会準備委員会で意見を集約し、コロナの状況を踏まえて、事務局が4月(開催半年前)に契約するか否かの判断を行う。また、契約を締結した後も適宜感染状況を見ながら、実施可否の判断を行う。

▼祝賀会準備の都合上、最終の判断は8月までに実施。

## ▼予算 400万円とする。

3 ニュースレターの発行  
朝陽同窓会は2月に全会員に対してニュースレターを発行し、特に記念祝賀会に関しては開催通知、および参加者募集要領の広報を行いました。

# 3 プログラムの決定

開催テーマ『自主・自律の精神を育んだ100年を祝い、これからの100年にエールを送ろう!』

6月に入り記念祝賀会のプログラムも完成し、開催準備は全て整いました。しかし気がかりなのはコロナの感染状況です。

## 記念祝賀会 次第

時刻 時間(分)

13:30 5 オープニング

朝陽合唱団or管弦or合同

同

13:35 2 開会

MC 三上彩子 18

13:37 4 開会の辞

青柳正規会長 15

13:41 4 来賓あいさつ

藪田憲正学校長

13:45 5 乾杯

渡邊由美PTA会長

13:50 40 お食事&歓談



14 .. 30	音楽演奏	16 .. 05	15	業間体操
20	合唱／管弦・朝陽合唱団・六声会合唱団	鈴木裕太25		
	新宿フィルOB合奏団	DVD出演者		
		健児の歌・校歌		
14 .. 50	対談#1	朝陽合唱団、管弦、全員		
30	懐かしの新宿高校、そして人生のエピソード			
	池辺晋一郎15、	16 .. 20	3	閉会の辞（謝辞）
	青柳正規15、	吉村悟07（元幹事長）		
	塩崎恭久22、			
	（進行）三上彩子18	16 .. 25	3	閉会
		MC 三上彩子18		
15 .. 20	お食事&歓談	調整残	4	（調整可能時間）
15 .. 30	音楽演奏	合計	180分	
15	軽音・軽音OB			
	武内芳明32他+	終了後は会場出口にて同期毎の集合		
	卒業生バンドmoai	写真を撮って解散（分散解散）		
	（大学生）	写真撮影	平野哲郎39	
		林慶治郎18		
15 .. 45	対談#2	ビデオ撮影	未定	
20	高校生活の紹介と未来に向けた夢	4	記念祝賀会の中止	
	西村雄一43、	8月に入り依然として新型コロナの		
	田久保裕之52、	感染は収束せず、朝陽同窓会は役員会		
	ベイノア66、	を開催し記念祝賀会を中止することに		
	（進行）小出朗57	しました。参加を申し込まれた方々には		
		以下のような文面の葉書を送		

「この度は朝陽同窓会主催『六中・新宿高校創立百周年記念祝賀会』に参加のお申込みをいただき誠に有難うございます。

中止の理由は多々ありますが、「記念祝賀会への参加者の多数が高齢者であり、会食を伴って3時間もの会合を行うことには、やはり危険を伴う恐れがある」と認識したことによります。楽しみにされていた400名を超える多くの皆さまにおかれましては、誠に申し訳ございませんが、未曾有の事でもあり、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。なお、今後の記念祝賀会の開催については改めて検討していく所存です。

末筆ながら、コロナや熱中症など厳しい環境下にありますのが、皆様方におかれましてはどうぞご愛ください。」

令和4年8月17日

朝陽同窓会 幹事長 橋本健一(19回)

### まとめ

ここにまとめとして最後まで記念祝賀会の開催に向け、献身的に企画を推し進めてくれた事務局の大池克幸24から、祝賀会出席予定者、また、出演予定者や準備に係わられた方々への御礼の挨拶を披露申し上げます。

「無念！ 2022年度計画の創立百周年記念祝賀会が中止に  
～経過報告と参加を予定された皆さま、出演・準備関係の皆さまへ御礼～」

2018年、百周年記念事業実行委員会場で当時の田中会長のご発声『先行する五中・小石川高校の百周年記念祝賀会に肩を並べ800人規模の盛大な祝賀会を是非行いたい！』に端を発した記念祝賀会は、その後の代表幹事会で承認され方針決定されました。早速、京王プラザホテルに申し入れ、2022年10月23日(日)800人の予約を確保しました。開催の3年前の事でした。そして、翌年2020

年初頭に突如『新型コロナウイルスの感染拡大』。これが2年後の祝賀会に影響するなど当時は考えも及びませんでした。

また、2019年秋に台風に見舞われた館山寮の再建に向けて関係者での熱のこもった議論が進められていたのもこの時期でした。

振り返れば、新宿高校、そして同窓会にとってその先を憂える時期であった様に思います。

祝賀会の本格的な検討を始めたのが2021年半ば。開催の主題をどうするか、3時間に及ぶプログラムをどうするか、出演者へのお願い、そして、宴会を盛上げるにふさわしいMCをどなたにお願いするか、更に、こうした諸課題と一緒に検討していただけるOB・OGをどなたにお願いするか、などについて事務局内で案を持ち寄り始めた時期でした。とにかく、できるだけ早めに事を進め、広報(会報誌「朝陽」、ホームページなど)に繋げ、多くの会員に広くお伝えすることを第一にスケジュールしました。

2021年後半、8人による準備委員会のメンバーの皆さまの熱意あるご協力の下、また、MCをお受けいた

いた三上(伊藤)18さまから適切なアドバイスをいただき、色々なアイデアが出され、プログラムの確定、出演くださる先輩諸氏、朝陽合唱団をはじめとする団体諸氏が次々に決定され準備は順調に進んでいきました。ただ、コロナ禍であることを除けば…。

2022年初頭、見通しのつかめないコロナ禍にあつて当年秋の祝賀会を開催するか否かについて役員会で意見交換を実施。『中止なんてあり得ない』と強い意見もある中、『過度な感染状況でない限り実施』との判断を受け、準備も加速し、6月から参加者の募集を始めた次第です。

その後、参加者も順当に伸び、夏ごろには予定の400人(コロナ禍を考慮し当初より規模半減)を超える状況まで至っていました。会員の皆さまからの祝賀会に寄せる期待をひしひしと感じる日々でした。

そして8月：『現下のコロナ感染状況より10月の祝賀会を開催するか否か』の直前判断を当初の予定通り役員会に諮ることになりました。

結果は、『中止が妥当』、何とも残念な結果。理解は出来ても直ぐに受け入れられない気持ちであったのは確かです。

せめて、簡素・簡略化実施など、代替案提示があつて欲しかったと…。既に会費を集める以外、ほぼ段取りが出来ていた訳ですから…。コロナ憎しと言えども気持ちの持つて行きようが無い中、中止を受け入れざるを得ないことに至りました。

ここまですが祝賀会中止に至る経過です。この間、出演予定の皆さま、MCの方々、準備委員会メンバー、そして楽しみにされていた多くの会員の皆さまに支えられて準備が進められたことを改めて感謝申し上げます」

大池克幸 24

大池さん、大変長い間ご苦勞様でした。

## 記念美術展

2022年

発端

11月の第70回代表幹事会において、以下の報告がありました。

- ・卒業生の美術作品を記念祝賀会のロビーで展示の予定であった。
- ・記念祝賀会が中止となったため祝賀会ロビー展示に代わる事業を企画した。

- ・時期は2023年開催を模索
- ・詳細が決まれば代表幹事会による2023年度予算審議時に提案

2023年

1 事業開始

2月の第71回代表幹事会において、以下の報告がありました。

- ・開催日時決定第次回役員会、及び代表幹事会で審議し総会に諮る。
- ・2024年2月の開催を目標とする。

2 美術展準備委員会の発足

代表幹事会での承認を受けて、事務局と0の会（注）は、美術展の準備委員会を立ち上げることとしました。委

員会メンバーは、

- ・0の会

澤登丈生 14、藤井忠生 14、

中久木均 25

- ・事務局

吉村悟 07、西出紀久 15、

鈴木佳津子 23

です。

両者の役割分担は概ね以下の通りとしました。

- ・事務局は美術展の主催者となり会場借用の名義人とし、作品募集の窓口となる。
- ・0の会は企画を担当し開催の準備を行い、作品の展示を行う。
- ・母校美術部へも出展を依頼する。

これを受けて、事務局は新宿区に対し朝陽同窓会を展示会場の登録団体として申請しました。

3 概要決定

5月の第72回代表幹事会において、記念美術展の概要が左記のように決まりました。

- ・出展する作品の項目は絵画・彫刻・工芸とする。

#### 4 展示作品の募集

6月に発行した「朝陽」72号で、記念美術展に展示する作品の募集を開始しました。

美術展の概要は以下の通りです。

##### ▼開催日時

- ・2024年2月の1週間

- ・詳細は別途ホームページに掲載

##### ▼場所

- ・新宿中央公園内新宿区区民ギャラリー

##### ▼展示

- ・絵画、彫刻、工芸

##### ▼入場

- ・無料

##### ▼主催

- ・朝陽同窓会

##### ▼賛助

- ・新宿高校美術部OB・OG、及び同好者の集まりの0の会

また出展申込要領は下記の通りとしました。

##### ▼資格

- ・同窓会員なら誰でも応募可能

- ・先着50名迄

##### ▼大きさ

- ・平面作品は50号以下

- ・立体作品は小・中型で搬入出や展示が容易なもの

##### ▼申込

- ・2月までにメール、またはファックスで

- ・氏名・ふりがな

- ・卒業回

- ・〒住所・連絡先電話

- ・作品のジャンルを事務局まで

##### ▼参加費

- ・無料、但し作品搬入出費用は自己負担

##### ▼搬入出

- ・出展者が直接来場して実施

##### ▼申込確認

- ・事務局から確認の葉書を送付

#### 5 準備委員会の開催

7月に準備委員会が開催され、以下の項目を確認しました。

##### ▼団体登録申請

- ・新宿区エコギャラリーが登録受理

##### ▼利用申し込み

- ・2024年2月で申請、抽選は7月10日

- ・念のため1月も申し込み

##### ▼招待作家

- ・候補者は0の会で選定し、事務局

とも相談

#### 6 応募期間の延長

9月に準備委員会が開催され、以下の項目を確認しました。

##### ▼応募状況

- ・現在7名、募集期間を10月末まで延長

- ・9月24日（日）開催予定の記念音楽祭で美術展のチラシを配布

##### ▼招待作家

- ・リストを作り出展要請中

#### 7 最終応募者数

11月に準備委員会が開催され、以下の項目を確認しました。

##### ▼最終応募者確定

- ・9名

##### ▼招待作家決定

- ・故人 吉江新二先生、

- 藤田忠夫 03

- ・現役 星野（牧田）美智子 04、

- 清水水漸 15、

- 古川秀昭 15、

- 寺崎百合子 22、

- 高橋新三郎 26

##### ▼日程

- ・搬入


東京都立新宿高等学校創立100周年 記念美術展

主催：東京都立新宿高等学校朝陽同窓会  
賛助：Oの会（Oの会は新宿高校美術部OBOG及び同好者の集まりです）

2024年2月12日（月・祝）～2/17（土）  
10：00～18：00（最終日15：00まで）

エコギャラリー新宿  
新宿区西新宿2-11-4 新宿中央公園内 03-3348-6277  
<https://www.shinjuku-ecocenter.jp/>

アクセス



加駐車場はありません

入場無料

出品者名： ( 回生 )

在廊日	12	13	14	15	16	17
(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	

- ・案内状
  - ・美術展広報の為、葉書によるDMの作成を決定
  - ・出展者、Oの会会員、同窓会役員と代表幹事に一人30枚配布
  - ・被配布者は友人などに案内状を送付
- 2月11日 13時～18時
- ・会期  
2月12日～16日 10時～18時
- ・搬出  
2月17日 10時～15時
- 2月17日 15時～18時


東京都立新宿高等学校創立100周年 記念美術展

主催：東京都立新宿高等学校朝陽同窓会

2024年2月12日（月・祝）～2/17（土）  
10：00～18：00（最終日15：00まで）

エコギャラリー新宿  
新宿区西新宿2-11-4 新宿中央公園内 03-3348-6277

アクセス



加駐車場はありません

入場無料

▼ポスター  
校内8枚、  
現地掲示板2枚貼り付け

東京都立新宿高等学校 創立100周年  
記念美術展



2024. 2/12（月・祝）～17（土）10：00～18：00  
（最終日15：00まで）

会場：エコギャラリー新宿 新宿区西新宿2-11-4 新宿中央公園内  
主催：東京都立新宿高等学校朝陽同窓会  
協賛：Oの会（新宿高校美術部 OBOG 及び同好者の集まりです）

- ▼看板
- ・母校内、及び、当日の会場内に設置
- ・角浩R1のスケッチ画を基盤に



- ・日時  
2024年2月12日（月）～17日（土）
- ・場所  
エコギャラリー新宿

8 開催日時  
11月の第73回代表幹事会において、記念美術展の開催日時や場所が最終的に決定したとの報告がありました。



2024年

記念美術展開催

2024年2月12日(月)から17日(土)までの間、新宿中央公園内のエコギャラリー新宿で記念美術展が開催されました。

展示された絵画・彫刻・工芸は63作品で、開催期間中の来客数は延べ400名にも達しました。



0の会会員作品

#### まとめ

記念美術展は朝陽同窓会としては初めての催しでしたが、0の会と関係同窓会員の努力のお陰で400名を超える来客があり立派な成果を収めました。

記念音楽祭もそうですが、この美術展をみても文化的な催しに対する同窓会員の関心の高さは、他の都立高校の同窓会にない新宿高校独特のものだと思います。

これからもこのような文化的な催しが続くことを強く願っております。



故 吉江新二先生作品

(注)

0の会は、新宿高校美術教師故吉江新二先生を慕う新宿高校美術部OBを中心に結成された美術愛好家の団体で、毎年「0の会展」を開くなどの活動をしています。

## OB・OGのための

### キャリアガイダンス

#### 1 経緯

2018年10月の第56回代表幹事会において、山本展也27監事から「百周年記念事業を遂行するにあたり、特に若い世代の会員の意識高揚を図る必要があるのでは？」との提案がありました。

そこで、組織強化委員会（仮称）を立ち上げ、小野瑞城34を委員長に任命しました。

2019年6月に事務局内で当時幹事長の吉村悟と委員の構成について話し合った結果、30回代以降の委員2、3名を選んで委任することを決めました。この案は役員会でも承認され、以下のメンバーで組織強化委員会が正式に発足しました。

- ・小野瑞城34 委員長
- ・安倍ふゆみ35 委員
- ・鈴木仁志38 委員
- ・市川太郎47 委員

委員会では、まず、40回代以降の話を聞くことにしました。そして、10回毎に意見交換会を3世代に渡って開

催しました。その結果は次の通りです。

- ・社会人世代  
同業の繋がりを持ちたい
- ・学生世代  
社会人の先輩の話が聞きたい

委員会はさっそく要望を満たすべく活動を開始しました。しかし、同業の会の設立は実現を種々企画しましたが、業種によっては談合などの疑いを持たれないよう禁止されている業界もあり、立ち上げを断念せざるをえませんでした。

一方、先輩の話を聞く会については、OB・OGのためのキャリアガイダンスを企画しようということとなりました。しかし、台風による館山寮の倒壊やコロナ禍で委員会活動は大きく制限され、足踏み状態となりました。

#### 2 OB・OGのためのキャリアガイダンスの発足

2020年12月に楠木綿太60が同窓会の副会長として就任したので、組織強化委員会のメンバーとして加わるよう要望し受諾されました。これで委員会は新しく以下の3名体制で進む

こととなりました。

- ・小野瑞城34 委員長
- ・安倍ふゆみ35 委員
- ・楠木綿太60 委員

OB・OGのためのキャリアガイダンスは2021年から開催しましたが、コロナ禍の為、全てオンライン開催となりました。

- ・第1回（教職関係）  
2021年3月 受講12名
- ・第2回（薬学関係）  
2021年8月 受講6名
- ・第3回（全般）  
2023年3月 受講4名

#### まとめ

結局OB・OGの為のキャリアガイダンスは組織強化委員会の方々の努力にもかかわらず2023年までの3年間で3回のみの開催となりました。

今後これを継続するかどうかは検討する必要がありますが、昔は東電朝陽会などのように会社単位で親睦会がありました。特に若い世代との親睦の向上を図る意味でも、続けて行きたい気持ちがあります。

# 第4章 母校への支援

朝陽奨学金

館山寮

合唱コンクール課題曲

業間体操DVD

記念ロゴマーク

記念庭園

## 朝陽奨学金

2014年

### 1 経緯

2014年までは朝陽同窓会が給付する奨学金は存在せず、「あい奨学金」があるだけでした。これは品行方正・学業優秀な3年生に卒業時に進学祝い金として2名に計20万円を支給するものでした。従って経済的環境に恵まれていない在校生への奨学金は当時存在しませんでした。

一方、他の都立高校を見渡すと、ほとんどの同窓会が何らかの奨学金制度を確立しており、その目的は経済的支援を行うものでした。また、その平均値は約300万円/年で、最高額は600万円/年というところもありました。朝陽同窓会が百周年記念事業を開始するにあたり、経済的支援を目的とした朝陽奨学金制度を創立したいと考えたのも当然のことと言えます。

### 2 あい奨学金

「あい奨学金」は、若くして亡くなられた同窓生のご両親が「娘の結婚式のために」と貯えられた貯金を朝陽同

窓会にご寄付いただいたことに始まります。ご寄付いただいたのは1992年で金額は1、050万円でした。

その後2006年の館山寮男子トイレの改修と浴室の改善に際してご遺族の同意を得て、財団法人朝陽会に対し800万円の寄付を行いました。ご寄付頂いた資金は設立当初から朝陽同窓会とは別個の会計管理を行い、朝陽同窓会は保管者としてその資金を預かっている形でした。

### 3 事業の開始

10月開催の第40回代表幹事会において、奨学金に関し以下の決議がなされました。

▼募金事業の内、朝陽奨学金制度の創設を他の事業に先行して実現する。  
▼預かっている「あい奨学金」を基盤にして、さらに拡充を図る。

▼現在手持のあい奨学金には寄付された方から追加の資金提供がありました。毎年卒業生2名に10万円ずつ支給した結果、残高が330万円となっています。

▼募金のために一般財団を新しく設立

することを検討開始。

▼将来は公益財団化を模索。

▼2015年4月から百周年記念募金を開始し、新朝陽奨学金制度の開始に備える。

2015年

### 1 奨学金制度検討委員会の設置

11月に開催された第44回代表幹事会において、新奨学金制度を検討する委員として、秋山小南15、太田正行23、西尾信子24が選出されました。なお事務局は吉村悟07が担当しました。

### 2 制度の概要設計

前記の委員の方々はいずれも母校で教鞭をとった経験が有り、学校の環境にも精通していたので、学校側とも積極的に会合を繰り返し、以下の2つの奨学金制度を作り上げました。

### [1] 学年奨学金

- ・経済的に恵まれない生徒への給付を目的
- ・各学年3名とし、1人あたりの給付金額は年額10万円
- ・給付の時期は毎年6月

[2] 就学援助金

- ・災害などの緊急事態で経済的に通学困難となった生徒への給付
- ・給付金額はケースに応じて対応

2016年

1 給付の開始

6月に朝陽奨学金の給付が始まりました。給付を受けた人数は学年奨学金が9名、就学援助金が2名の合計11名です。

2 給付規定の設定

朝陽奨学金の詳細な給付規定については更に学校と話し合いを行い、2016年12月に諸般の規定を作成しました。多少改訂はしましたが、この規定は今日まで左記にて存続しております。

[1] 朝陽奨学金は貸与ではなく、給付とする。従って返済は不要。

[2] 受給者の選考は学校と朝陽同窓会で設置した選考委員会が行なう。

新宿高校

校長、副校長、各学年主任

朝陽同窓会

幹事長、事務局長

[3] 学年奨学金の募集要領

- ・給付予定の2か月前に全保護者に対して募集する旨の手紙を送付。
- ・奨学金を必要とする生徒は「朝陽奨学金申込書」を選考委員会宛に提出。
- ・保護者の世帯の年収が300万円未満とする。

[4] 就学援助金の募集要項

災害など緊急事態が生じ、経済的に通学困難な状態になった理由を説明する資料を選考委員会宛に提出

[5]

朝陽同窓会への入会金の免除  
・学年奨学金と就学援助金の受給者には朝陽同窓会への入会金の支払いを免除

・在校中に同窓会へ入会を希望していない場合も受給対象にしていますが、極力入会をお願いする

3 受給者からの感想文

本人の同意を受け、給付を受けた生徒の感想文を以下の通り掲載します。

奨学金のお礼をたくさんメールをしています。在学中は朝陽同窓会の皆さんのご厚意でたくさんさんの補助をいただくことができて大変助かりました。ありがとうございます。

おかげさまで高校生活を全力で楽しむことができました。部活動は充実したものとなり私の糧となっています。また予備校に行く上で皆さんの補助は大きな助けとなりました。

今年度は第一志望の大学合格を目指しもう一度挑戦します。来年良い報告ができるように頑張ります。後輩達にもこのような奨学金をいただくことができる機会が増えればいいなと思います。また厚かましいお願いですが私のように浪人生として頑張る生徒にもそのチャンスがあつてほしいなと思います。お礼をするのが遅くなってしまいました。本当にありがとうございます。

2017年

1 あい奨学金の朝陽奨学金制度への組み込み

朝陽同窓会が新しく朝陽奨学金制度



を設立したことに伴い、ご遺族の同意を得て2017年から「あい奨学金」を朝陽奨学金制度内に組み込み、給付金額も2名/20万円/年から3名/30万円/年に増額しました。

統合時の「あい奨学金」の残高は300万円ほどでした。ご寄付いただいた方の篤志を後世に伝えるため「あい奨学金」の名前はそのまま残し、用途も品行方正・学業優秀な3年生へ卒業時に支給することも変更しませんでした。これで朝陽奨学金制度は以下の3本立てとなります。

名称	対象人数	支給時期
学年奨学金	3名/学年	6月
就学援助金	3名/全校	発生の都度
あい奨学金	3名/3年生	3月卒業時

金額はいずれも10万円/人ですが、就学援助金は状況に応じて変更。

## 2 今後の奨学金給付計画

2017年4月の第50回代表幹事会において以下のような方針を決定しました。

▼朝陽奨学金制度による給付を恒久的に継続

▼最低年150万円の給付を今後とも堅持

▼百周年記念事業終了時に百周年記念募金の40%を朝陽奨学金の原資に確保し、新たに目的を奨学金に特化した募金を開始

## 2022年

奨学金給付のための資金の積立て

2月の第68回代表幹事会において、2022年度の奨学金給付額150万円を予算計上することを決めました。そして、2023年から10年間毎年150万円の給付が継続できるよう1500万円の引当金を2022年度に計上することも決めました。

また、この決定は6月に書面開催された2022年度総会においても承認を受けました。

## 2023年

1 新規基金の検討開始

5月の第72回代表幹事会において新規基金を設立しようと左記の提案がなされました。

▼発足 2024年4月から

▼目的 在校生に対するためまね支援

▼名称 目的に相応しい名前を考案

▼事業 奨学金給付、館山寮での臨海教室支援、部活動支援、留学支援、キャリアガイダンス実施、進路部通信合冊作成援助、図書購入補助など

▼基金 原資は奨学金給付用に積み上げた1,500万円を引当

▼募金 趣旨に賛同する会員からの寄付を継続的に募る

▼趣意書 役員会で検討し、詳細計画を提案

この提案は7月に開催された2023年度総会においても承認されました。

2 朝陽奨学金の給付規定の一部変更

10月に給付規定の内、「保護者の世帯の年収が300万円未満とする」という規定が削除されました。これは経済情勢の変化に伴い、経済的に恵まれない生徒を年収のみで規定することが困難になったためです。

これからは生徒と学校がより綿密に話し合いをして、困窮の度合いを判定

することになります。

## 2024年

新基金の名称等の決定

3月に行われた第74回代表幹事会において新基金の名称等が決まりました。

### ▼名称

「あい奨学金」に因んで「あい基金」とする

### ▼事業追加

母校校舎のトイレの近代化や老朽化した冷暖房装置の取り換え

### ▼趣意書

「朝陽」73号に新基金のための募金開始を知らせる趣意書を同封

## まとめ

### 1 現在までの給付実績

2023年度末までの給付人数と内訳は、本ページ最下段の表の通りです。  
合計給付金額総計は890万円です。

### 2 これからの朝陽奨学金

朝陽奨学金の給付はこれからも継続します。2024年度から新しい「あい基金」が誕生する予定で、その中に従来の朝陽奨学金給付制度も含まされ

ます。そして、年間の給付レベルは150万円を今後とも堅持します。

これからは、現在の10万円／人の給付額単価を引き上げることも検討しなければなりません。また、支給人数を増やすなど、在校生の経済環境に合わせて対応する必要があります。

基金の募集も継続的に行うので、順調にゆけば朝陽奨学金の給付は絶えることはないでしょう。

同窓生の方々の温かいご支援をこれからもお願い申し上げます。

2023年度末までの給付人数と内訳は、下表の通りです。(10万円／人)

区分／年度	2016	‘17	‘18	‘19	‘20	‘21	‘22	‘23	合計
学年奨学金	9	7	7	8	8	3	1	10	53
就学援助金	2	4		2	1	1		3	13
あい奨学金		3	5	3	3	3	3	3	23
計	11	14	12	13	12	7	4	16	89

## 館 山 寮

### 経緯

塩見寮（現館山寮）は、朝陽同窓会の先輩方のご尽力により1923年（大正12年）に千葉県安房郡に敷地を購入、同年7月に落成式を行いました。しかし、同年9月の関東大震災で倒壊。翌1924年（大正13年）には朝陽同窓会から資金を募り、寮を再建しました。

第二次世界大戦以降も1967年（昭和42年）には大改築を実施し、これを機に名を「塩見寮」から「館山寮」と改め、その後も何度かの改修を経て2016年（平成28年）に至っています。

### 2016年

#### 1 厨房と食堂の改修

食中毒防止と熱中症予防との観点から4月の第46回代表幹事会において臨海教室開催までに厨房を全面的に改修し、食堂を冷房化することと決めました。

総工費は2、500万円の予想ですが、財団法人朝陽会の資金も不足してきたため、その内の750万円を百周

年記念募金から支出することとしました。以前の財団法人は資金を持ていましたが、相次ぐ改修で手持ちが殆ど底をつきました。

そもそも館山寮の開寮期間は7月・8月だけで、これで1年間の費用を全て賄えるわけがありません。その時に必要な小さな修理費は何とかなるにしても、厨房と食堂の改修といった大きなものは朝陽同窓会の寄付に頼らざるを得ないのです。

#### 2 改修工事の完成

厨房と食堂の改修は予定通り7月に完成し、その年の臨海教室も無事行われました。主な改善点は食堂及び厨房



改修により換気も改善されて  
明るく衛生的になった厨房

へのエアコンの設置と電解水生成装置など最新厨房機器設置、および厨房排気対策の完成です。

### 2017年

#### 1 門扉・船倉の改修など

更に、4月の第50回代表幹事会において7月までに門扉の設置や竹藪伐採、及び船倉の改修を行うことが決定しました。改修する理由は以下の通りです。

##### ▼門扉

現在、入口に門扉が無く、不法侵入防止など安全面から必要。

##### ▼竹藪

伸び放題になって近隣住民から苦情がでるようになった。

##### ▼船倉

老朽化



↑竹藪伐採後整地  
船倉←

## 2 改修工事の完成

竹藪の伐採と船倉の改修は6月に完成しました。工事費は竹藪伐採に170万円、船倉の改修に250万円かかり、いずれも百周年記念募金からの寄付金を充てました。門扉の設置は暫く延期しました。

### 2019年

## 1 男子棟の損壊

9月に発生した台風15号により男子棟は屋根が吹き飛ぶなどの壊滅的な損傷を受けました。この報を受けて財団の役員や朝陽水泳会会長などが現地入りして被害状況を調査しました。そして、校長など学校や保険会社にも連絡を行い、ホームページで同窓会員にも被害状況を報告しました。

## 2 財団理事会の開催

男子棟損壊の報を受け10月に開催された財団の第3回理事会では「来年の臨海教室実施に向けて男子棟を修復する」ことが決議され、併せて「財団法人朝陽会は手持資金がないので、朝陽同窓会とPTAに寄付を要請する」ことも決議されました。

## ▼以下理事会報告事項。 現況報告



9月8日夜から翌未明にかけて襲来した台風15号により、館山寮男子棟は屋根がすべて飛ぶなど甚大な被害を受けた。

9月10

日に現地入りした寺澤業務執行理事によると男子棟以外の被害は軽微で、近隣の家屋などへの影響もなく、朝陽水泳会などのボランティアの協力により、後片付けも進行している。

## ▼提案

- ・館山寮における新宿高校の臨海教室開催は、およそ100年の伝統を有する意義のある大きな教育行事である。
- ・歴代の母校校長もこぞってその意義を認めており、また、卒業式における卒業生の答辞にも毎回「館山寮での経験のお蔭で真の新宿高

校生となれた」と述べられているほどである。

- ・従って今回の台風の被害などで臨海教室を中止することは忍びない。母校・保護者・朝陽同窓会が共に手を携え、来年の臨海教室を無事開催できるよう館山寮男子棟を修復することを提案する。

- ・残念ながら財団法人朝陽会は資金の余裕がないので、朝陽同窓会とPTAに寄付を要請することしたい。

また、財団理事会内に修復実行委員会を編成し、被害状況の確認、修復計画の立案、保険会社との交渉、工務店の選定などについて、事務局を支援することを提案する。

## ▼今後の日程

来年度の臨海教室実施を考え、修復は2020年6月初旬完了を目指す。

## 3 代表幹事会の開催

前述の財団理事会の要請を受け朝陽同窓会は直ちに第60回代表幹事会を開催し、対応策を決定しました。



#### ▼基本方針

朝陽同窓会は全力で館山寮男子棟の修復を支援する

#### ▼修復を支援する理由

- ・館山寮は卒業生にとって貴重な思い出の地である。
- ・臨海教室は100年近く続く伝統行事である。
- ・一年生は臨海教室に参加して真の新宿高校生となる。

- ・この5年間、卒業式の卒業生の答辞で臨海教室のことが常に触れられていた。
- ・歴代校長なども館山寮を支援。

#### ▼修復費用

- ・現在の所、正確な修復費用は見積もれない。
- ・建坪が約千坪あり、坪単価50万円として5千万円ほど掛かると推定。

#### ▼寄付

- ・百周年記念募金対象事業は、朝陽奨学金、館山寮、集いの場である。したがって、修復のための財団への寄付は百周年記念募金から支出する。
- ・ただし、現況で百周年記念募金を

大幅に財団に寄付すると、今後の百周年記念事業に影響を及ぼす可能性があるので、台風による館山寮の被害の早期の修復を同窓会員に呼び掛け、館山寮再建募金を募る。

- ・募金の呼び掛け開始は本年11月末を目標とする。

#### ▼日程

- ・2020年6月に修復を完了し、7月の臨海教室開催をめざす。

#### ▼修復実行委員会

- ・改修工事を計画監督するため、財団内に修復実行委員会を編成。
- ・事務局は朝陽同窓会事務局が担当。
- ・委員会の目的は被害確認、修復のための仕様の作成、修復費用見積もり、工務店決定などとする。

#### 4 館山寮再建委員会の設立

当初は男子棟の土台などは使えるのではないかということで修復実行委員会と名称を付けていましたが、全面建て替えの可能性が出てきたので改名し館山寮再建委員会とし、メンバーも決定しました。

#### ▼委員長 寺澤忠興 22

財団業務執行理事

#### ▼委員

岩崎洋平 38

代表幹事、財団評議員、

一級建築士

鈴木仁志 38

代表幹事、財団評議員

近藤正昭 38

火災保険会社勤務

原田将史 48 一級建築士

#### ▼アドバイザー

奥村直生

財団理事、PTA会長

田久保裕之 52

母校体育科教員

#### ▼オブザーバー

龍岡直道 24

朝陽同窓会副会長

再建委員会は早速活動を開始し、6回にわたり館山市に赴き、館山市役所等各関係先を訪問し現地事情の聞き取りを行いました。

#### 5 男子棟再建時期の延期と第1期工事計画の策定

12月に入り財団理事会は再建委員会の提言を受け、以下の様な決定をしました。

#### ▼工期が確保できないため2020年



夏前までの男子棟の再建を断念し、2021年夏前までの完成を目指す。ただし、男子棟が無くてもホテル宿泊などで臨海教室開催の可能性があるので、第一期工事として2020年夏前までに男子用風呂と便所の改修、昨年漏水して修理不能となった受水槽の取り替えを実施

▼倒壊した男子棟の解体撤去も行う  
▼改修のための設計監理は再建委員の原田将史48に委嘱し、設計料として100万円を支払う

▼第1期工事費見積金額は900万円

## 6 趣意書の発送

朝陽同窓会では館山寮再建のための募金呼びかけのため、12月に約17,000通の募金趣意書を同窓会員に対して発送しました。

## 2020年

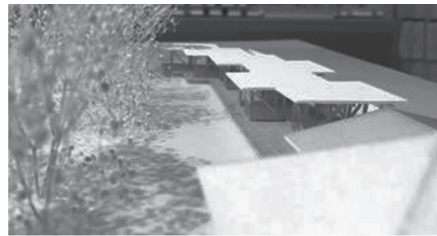
### 1 再建委員会委員長の交代

1月に再建委員長が寺澤忠興22から、鈴木仁志38に交代しました。

### 2 新男子棟の模型

1月に再建委員の原田将史48が自費で新しい男子棟の模型を作成し、役

員会に持参しました。これが雁行型と言われる棟の配置図で、非常に斬新で各役員の注目を浴びました。



↑ 模型 と 平面図 ↓



### 3 保険金の受け取り

1月に損害保険会社から保険金8、659万円を受領しました。このような高額の金額を受け取れるとは思っていませんでした。望外の喜びでした。長い間保険料を支払い続けていただいた先輩方、及び火災保険会社に勤務する近藤正昭38委員のご協力に感謝します。

### 4 館山寮再建募金の開始

昨年12月に趣意書を発送し、1月末には早くも募金総額は1千万円を突破しました。募金の中には現役生、保護者や他校関係者からのものも含まれています。

### 5 第1期工事着手

3月の財団理事会で、第1期工事の設計が完了し、館山地区の2つの工務店に見積もりを依頼したとの報告がありました。総工費は約1、500万円で4月には着工予定とのことです。

### 6 臨海教室実施見合わせ

同じく3月の理事会で母校が2020年度の臨海教室の開催を見合わせる決定をしたとの報告がありました。男子棟の再建が間に合わず、地域の他の宿泊施設の利用や、トレーラーハウスを使う案も検討したが、今まで通り完全に臨海教室を実施できないとの結論に達したとのことでした。さらに、この頃からコロナの感染が拡大してきたことも影響しています。

### 7 建設業者の選定開始

3月になり再建委員会は建設を依頼

する建設会社のリストアップを開始しました。対象となった会社はニジアーキテクツ、積水ハウス、住友林業、石井工務店、システム建設の5社です。見積価格は男子棟の再建のみで最高で7、850万円、最低で5、750万円でした。

ただし、このリストアップは綿密な設計仕様を提示して見積もりを依頼したわけではなく、ヒアリングはしましたが比較的アバウトな依頼でした。結果として各社が提示してきた金額も大きな差異があるものでした。詳細な設計仕様で見積もったのであれば、廉価な建設会社を選択すればすむわけですが、詳細仕様設計の段階で金額が大幅に変わっても受け入れざるをえなくなるかもしれないと思われました。また、金額によってはせっかく入った保険金を全部使うだけでは賄えず、さらに朝陽同窓会からの援助が必要になります。しかも結果として男子棟の再建のみということになります。しかし、2020年の臨海教室開催が中止と決まったので、より廉価で機能も向上した再建計画を追究する時間がありました。

## 8 再建工事の混迷

新型コロナウイルス感染症は館山寮の再建工事にも大きく影響を与えました。「男子棟の再建工事のみで7千万円を超す支出をするのは論外で、もっと廉価な工事を追求すべきである」という意見や、「せっかくだから質の良い建物にすべきである。足りなければさらに募金を集めればよいのではないか」と言う意見もありました。また、「せっかくだから夏以外の時期にも利用できる館山寮を旨指すべきである」という様々な意見が混在しました。

話をまとめようにもコロナ下で対面としての議論ができず、工事計画は一向に前進しませんでした。さらに議論をする人たちのバックグラウンドが異なり、同じ単語を使っているものの解釈が異なり、話がまとまるどころかますます紛糾の度合いを増してゆきました。

## 9 第1期工事の完了

一方で男子棟の解体・撤去工事は5月の連休後に終了し、男子用風呂・トイレの改修は七月末に終了しました。また、昨年漏水して修理不能となった受水槽の取り替えも同時に行いました。この工事の設計・監理はニジアーキテ

クツ一級建築士事務所に委嘱し、施工は相見積もりの結果石井工務店に発注しました。工事費は男子棟解体・撤去に5百万円、男子用風呂・トイレの改修・受水槽の取替に1、100万円かかりました。

## 10 第2期工事建設業者候補の追加

8月になり山本展也27と島崎主税28から、加藤建設、三浦建設、白幡興業の3社を新たに建設業者候補として追加してはどうかとの提案を受けました。2人は第2期工事を可能な限り廉価に行うべく、自身の伝手を頼って独自に業者を探しました。

この3社からの見積もりはいずれも3、900万円から4、500万円の範囲で、なるべく工事を廉価に収めたかと思っている財団にとっては救いの神となります。

## 11 第二期工事計画の策定

10月に財団理事会が書面開催され、以下の第2期工事計画が承認されました。

### ▼工期

コロナ対策を十分に施した上で、

2021年8月工事完成を目途。

▼女子棟

男女同等の施設が望ましいとの学校側の希望もあり、老朽化とシロアリ被害も発覚した女子棟改築を考慮。

▼予算限度額

女子棟を改築した場合でも、下記の手持ち資金の範囲内に限定。

保険金

8、660万円

再建募金

2、140万円

第一期工事

▲1、600万円

差し引き

9、200万円

▼建設会社

現在までに見積書を提出して協力を申し出ている加藤建設、三浦建設、白幡興業、住友林業、システム建設、石井工務店、ニジアーキテクツ、積水ハウスの内、見積書や会社の財務状況、過去の建設実績を再建委員会と事務局で検討した結果、再見積もり依頼先を加藤建設、白幡興業、住友林業の3社に決定する。

▼日程

11月までに建設業者を1社に決定し、2021年1月から工事を開始し6月には完成させる。

▼再建委員会再編

建設完了までの施工管理は、再編

された以下の再建委員が担当する。

委員長 鈴木仁志 38

代表幹事、財団評議員

委員 湯山康樹 25 一級建築士

岩崎洋平 38

代表幹事、財団評議員、

一級建築士

富宇加潤 48 一級建築士

12 第2期工事計画の承認

前述の財団理事会で承認された第2期工事計画は続けて開催された代表幹事会でも「2年続けて臨海教室が開催されないとその先は中止となる恐れがあり、来年6月の工事完了を目標とする」ということで承認を受けました。

13 見積の辞退

10月の財団理事会の決定を受け、加藤建設、白幡興業、住友林業に対し見積依頼をしました。主な内容は以下の通りでした。

▼工期

2021年6月完成

▼仕様

男子棟再建、女子棟改築、保健室増築、二段ベッド、浄化槽改修

▼予算

9、200万円

▼回答 11月末

結果は3社とも「当初は男子棟の再建のみだったが仕様が多くなった」などの理由で見積書の提出を辞退しました。

14 見積の再依頼

そこで、男子棟のみの再建ではどうかと見積の再依頼を白幡興業、加藤建設の2社に出しましたが、白幡興業は人手が足りないなどの理由で見積の提出を辞退されました。加藤建設からは見積概算を受領しましたが、完成は最速で2021年末であるとのことでした。なお、男子棟・保健室新築、浄化槽改修での見積概算は5、100万円でした。

この結果を受け、学校側には2021年6月までの完成は不可能であることを伝えました。

2021年

1 館山寮再建実行委員会の設置

2019年10月に財団内に設置された館山寮再建委員会は新たに朝陽同窓会副会長2名を加え再編成することとし、名称も館山寮再建実行委員会に

変更しました。

委員会のメンバーは下記の通りです。

▼委員長 高橋寛 32 副会長

▼委員 柴田真樹 18 副会長

湯山康樹 25 一級建築士

鈴木仁志 38

代表幹事、財団評議員

岩崎洋平 38

一級建築士、代表幹事、

財団評議員

駒形昭子 43 朝陽水泳会

富宇加潤 48 一級建築士

変更の主な目的は「館山寮再建実行委員会規程」を策定し、委員会の役割を明文化することです。規程には以下の条項等が記載されました。

・委員会は一般財団法人朝陽会代表理事の求めに応じて、館山寮再建計画に関する設計と条件、工事内容の確定などを検討・立案し、報告する。

・委員会は代表理事の求めがない場合においても、館山寮再建計画に関して重要と判断した事項に関し、代表理事に対処策の立案を提案、

或いは報告を可能とする

・委員の選定方法を明示する

2 建築設計事務所の選任

再建工事の障害となる既存不適格部分（法令の改正等により現浄化槽が法令違反になっていることへの対応）の解決を図るため、社会的信用があり実績のある4社に設計委託料の見積もりを依頼し、最低価格を提示したニジアーキテクトツ一級建築士事務所を選任しました。

3 2021年度総会開催

2021年度の総会は6月に書面開催され、前述の会長・幹事長交代や館山寮再建実行委員会の設置、建築設計事務所の選任はいずれも承認を受けました。

4 学校側の要望聞き取り

再建実行委員と財団業務執行理事はニジアーキテクトツを伴い、学校の臨海教室プロジェクトチームを訪問し、学校側の要望を聞き取りました。

学校側は2022年度臨海教室実施に向け、男子棟と女子棟の同時完成を強く希望しており、建物の形状は倒壊

前の姿の再現を要望していました。

また、新たに保健室の設置も希望しています。

5 基本設計案の提示

10月に書面開催された第66回代表幹事会では工事の現況について、財団から以下の報告がありました。

▼ニジアーキテクトツと契約を締結し、工事監理費660万円を支払う。

▼男子棟には6室を建設

▼女子棟には5室を建設

▼現存新築女子棟は女子教員用および保健室用とする。

▼棟の配置

雁行型の配置案や回廊デッキ作成案も依然としてあったが、結果的に直線的配置と決定

▼ECI方式に準じた設計方式を採用  
ECI方式は設計段階から施工業者が参画し、施工受託を前提とし技術協力するもので、建設コストの削減や工期短縮のメリットがある。

▼5社に対し設計段階での技術協力見積書の提出を依頼

回答のあった加藤建設、白幡興業、石井工務店の3社の内、見積額・建



築実績・ウッドショックへの対応の観点から南房総市の加藤建設を選択  
技術協力費用は約30万円

## 6 第2期工事計画の承認

財団は11月に理事会を書面開催し、以下の第2期工事計画を承認しました。

▼工事内容・男子棟及び女子棟の新築と浄化槽の更新を実施。

▼工期・2022年1月に着工し、6月末に完成を予定。

▼施工は加藤建設に発注、設計工事監理はニジアーキテクツに委嘱。

▼工事費総額は11、107万円を上限にする。

▼工事代金は保険金や館山寮再建募金既応募額など財団の積立金からまず拠出し、不足分は今後更に館山寮再建募金活動を行い、新たに得た募金を充当する。

### ▼男子棟

・全てを新たに建築。

・分棟型宿泊室6室を直列的に配列。  
・6室には教員室、OB室各1室を含み、全室床張りを想定。

### ▼女子棟

・既存女子棟はシロアリにより腐食

し利用不可なので、解体し新たに建築

・分棟型宿泊室5室を直列的に配列  
・5室にはOG室1室を含み、全室床張りを想定

### ▼浄化槽

当初は、既存の浄化槽を引き続き利用可能と想定していたが、調査の結果法令不適合が判明したため、今回更新を決定

### ▼管理人室改修

台風により雨漏り等が発生しているので、内装の一部を改修

### ▼学校からの要望

上記の建築仕様は学校からの要望も充分に考慮。

### ▼工事日程

・施工業者との仮契約

2021年12月

・施工業者との本契約と着工

2022年1月

・工事完了

2022年6月

### ▼施工業者選定

・既に技術協力者として委嘱済みの加藤建設を指名

・選択理由は以下の通り

(1) 同等規模の木造建築を多数建設するなど建設実績豊富

(2) 建材の確保などの対応力を評価

(3) 第2期工事にも意欲を提示

(4) 基本部分の工事費概算見積額が妥当な範囲

・工事監理・結果検収

基本設計を依頼したニジアーキテクツに委嘱

### ▼工事費および関連費用

・2020年10月における見積もりに対し、関連費用を加えた結果、以下の通り

前回 9、200万円

(前年10月の理事会数値)

今回 11、107万円

差異 1、907万円

・増加の要因は浄化槽更新1、833万円とカーテン、空調機等什器備品の購入などの初期費用300万円の追加による

・それ以外は全て前回予算内

### ▼資金手当

・工事費11、107万円は、まず財団手持資金から支出する。

2021年10月末の手持資金

保険金 8、660万円

再建募金 3、248万円

第1期代金 △1、600万円



# 男子棟解体費等

- 差し引き 10、308万円
- 不足分799万円は2022年1月にニュースレターを発行し、再建募金を募り充当
- 工事代金の支払予定日である2022年6月の段階で再建募金が目標額に到達しなかった場合は、百周年記念募金の内、将来の館山寮維持管理のための資金から支出

## 7 第2期工事計画の了承

12月に書面開催された第67回代表幹事会において、前述11月の財団理事会での決定事項を全て了承しました。

## 2022年

### 1 第2期工事の着工

2月に開催された第68回代表幹事会において、第2期工事の進捗状況の報告がありました。

#### ▼日程

加藤建設との契約	1月20日
女子棟解体開始	1月20日
男子棟完成予定	6月中旬
女子棟完成予定	6月下旬
浄化槽完成予定	6月下旬

# 完了検査終了

## 引渡し

6月末日  
7月上旬

#### ▼工事費

配線工事に見積り漏れがあり、12月の代表幹事会での見積額より98万円増加した

### 2 第2期工事完了

館山寮第2期工事は7月6日に無事竣工し、建物の引き渡しを受けました。第2期工事の最終金額は下記の通りで、見積額の範囲内ですみました。



完成した女子棟 ↑ 男子棟 ↓



工事関係費用	4、572万円
男子棟建築	3、774万円
女子棟建築	1、355万円
浄化槽修復	242万円
その他工事	960万円
設計・監理費用	

# 初期費用

## 合計

11、203万円

### 3 臨海教室の実施

7月24日から8月5日まで1泊2日で1クラスずつ臨海教室を実施し、事故もコロナ感染も無く無事終了しました。本当に良かったです。



## まとめ

当初は2020年6月には完成していると思われた館山寮再建工事ですが、結局2年遅れの2022年6月となりました。この遅れの大きな原因はやはり新型コロナウイルス感染症の拡大でしょう。

学校や事務局が閉鎖されたり、総会や代表幹事会が全て書面開催になるなど、今まで経験したこともない大きな環境の変化で戸惑いました。異なるビジネスエリアで仕事をされている方々がメールやテレビ会議のみで1億円を超える再建工事の計画、立案、審議、調査、検討等々を実行するのは大変なことでした。

何とかそれを乗り越えてきたのは、同窓会会員の館山寮に対する熱い思いにあったと推測します。同じ新宿高校を卒業したからこそ、一時的な行き違いも最後にはお互いに理解しあえて先に進むことができました。

改めて同窓会会員の皆様のご理解とご支持に感謝申し上げ、同時に毎週テレビ会議で再建計画を作り上げていただいた館山寮再建実行委員会の方々、また、計画実行にご協力いただいた朝陽同窓会役員・財団役員の方々、ご支援いただいた学校、PTAの方々、朝

陽水泳会の方々に厚く御礼申し上げます。

また、この3年間、朝陽同窓会を下支えしてきた事務局の方々にも畏敬の念をもって感謝申し上げます。本当にご苦勞様でした。

## 合唱コンクール課題曲

2016年

### 1 経緯

百周年記念事業の一環として、合唱コンクールの課題曲を新しく池辺晋一郎15さんによって頂こうという話が、2016年の秋に持ち上がりました。これはこの年の11月16日に池辺さんが母校で講演するということが決まったことによります。

提案されたのは当時新宿高校で音楽を担当されていた小峰先生で「絶好の機会なので、先輩の池辺さんに作曲を是非」との話がありました。そこで打診したところ快諾を得ました。従ってこれは学校と朝陽同窓会の協力で実現に至った事業です。

2016年度で第54回を迎えた母校合唱コンクールは12月21日(水)、新宿文化センターを会場に、二年生がクラス対抗で課題曲と自由曲計2曲を歌い一ヶ月強の特訓の成果を競いました。学校行事として現在はずっかり定着した母校合唱コンクールは、17回生の発案によって1964年に始まり毎年途切れずに続いています。そして今回、我が国を代表する音

楽家、池辺晋一郎作曲の課題曲という新しい歴史が加わりました。

## 2 作詞

なお、作詞に関しては、学校で全校生徒に詞を公募したところ10編の応募があり、その中から3年D組朝倉環さんの詞「ひとしお物語」が選ばれました。



作詞の3年D組朝倉環さんと池辺さんの記念撮影



同窓会から贈られた記念の額



2016年12月21日（水）新宿文化センターで行われたクラス対抗合唱コンクールの模様

池辺さんの全面的なご協力に心から感謝申し上げます。

した。  
母校合唱コンクール当日には作曲したご本人も多忙を縫って新宿文化センターを訪れ、5クラスの合唱に耳を傾けられ、「一ヶ月半と言う短い期間によくここまで仕上げて感心した。母校のためと思って精魂込めて作曲した甲斐があった」と喜ばれていました。

## 業間体操DVD

2013年

1953年（昭和28年）頃に創作され、今も生徒たちに引き継がれているあの業間体操（現在は新宿体操と呼ぶ）が、多くの方々のご協力により、2013年にDVDに収められ完成しました。このDVD化は百周年記念事業の一つとして進められ、前年夏より準備を始め、1年がかりで制作されたものです。

作成に当たっては体育科の清水先生、音楽科の小峰先生、現役生徒5名のご協力を頂きました。プロジェクトメンバーは、元新宿高校体育科教員であった鈴木裕太25をリーダーに、DVD制作やジャケット画作成、撮影支援などには24回生4名がそれぞれ担当しました。また、当時の田中朝陽同窓会会長からもご支援をいただきました。完成した業間体操DVDは2013年7月15日（土）、田中会長より新宿高校加藤校長に贈呈され「学校教育の一環で末永く利用させていただく」との感謝のお言葉をいただきました。同席の出演生徒達からも御礼の言葉をいただきました。



DVDパッケージのカバー



業間体操DVDのレーベル面

## 記念ロゴマーク

2017年

### 1 経緯

記念ロゴは在校生や同窓会会員各位に、広く百周年記念事業を周知徹底するために2017年に百周年記念事業「ロゴマーク」(シンボルマークとロゴ(文字))として制定されました。

### 2 記念ロゴの選考

朝陽同窓会は卒業生、在校生、現任教職員に広く応募を呼びかけました。その結果、応募作品は卒業生4組、在校生4組、親子合作1組の合計9組もの多数となりました。

応募作品については10月の第52回代表幹事会において選考が行われ、11月のホームカミングデーで採用作品の表彰を行いました。

応募された方々の作品は下に示す通りの華麗なもので、最終的に草川衛18さんの作品がロゴマークとして選定されました。

選定されたロゴマークは同窓会HPからダウンロードできます。





## 記念庭園

2022年

### 1 発端

2022年11月の第70回代表幹事会において、以下の報告がありました。

#### [1] 母校よりの希望

▼百周年記念となり、生徒の憩いの場となる小規模庭園を設置したい

▼場所は母校校庭内

#### [2] 朝陽同窓会事務局の回答

▼母校支援事業の一環として、百周年記念事業費からの支出を検討

2023年

### 1 事業開始

2023年2月の第71回代表幹事会において、以下の報告がありました。

#### ▼庭園の設計

母校から庭園を設計する造園業者の推薦を朝陽同窓会に依頼

#### ▼予算措置

次回役員会、及び代表幹事会に報告

### 2 主旨

2023年5月の第72回代表幹事会において、以下の報告がありました。

#### ▼目的

- ・母校創立百周年を記念し構内の一角に記念碑を中心とした園地を整備する。

- ・生徒の憩いの場となり、かつ母校創立百年の歴史に思いをはせる場とする。

#### ▼整備場所

- ・校地とグラウンドを結ぶ通路沿いの既存の林地の一角



#### ▼概要

- ・間口5×10m、奥行3×5mの範囲を、既存の立木を活かした状態で整備
- ・「府立六中・都立新宿高校百周年」の記念碑を建立
- ・記念碑には、興国の鐘のレリーフを刻印
- ・興国の鐘の由来を記した解説板を建立





- ・記念碑の周辺は敷石やベンチ、椅子を設け、憩いの場となるよう整備

- ・周囲には、アセビ、ジンチョウゲ、ヤマブキ、ヤマツツジ、ガクアジサイ、ヤツデなど林内の環境でも育つ低木を植栽し、花を楽しめるようにする。

#### ▼工費

- ・約90万円の見込み

#### 3 完成見通し

2023年11月の第73回代表幹事会で、以下の報告がありました。

- ・百周年記念碑は12月に完成の予定

- ・費用概算は90万円＋消費税
- ・興国の鐘の説明板設置や周辺整備は2024年度に予算化

#### 2024年

#### 1 記念碑の完成

2024年3月の第74回代表幹事会において、以下の報告がありました。

- ・百周年記念碑は2月1日（木）に設置を完了

- ・除幕式を3月15日（金）の卒業式当日に実施の予定



#### 2 除幕式

除幕式は3月15日（金）の第76回生の卒業式が執り行われた後、朝陽同窓会事務局員や母校関係教諭、新卒

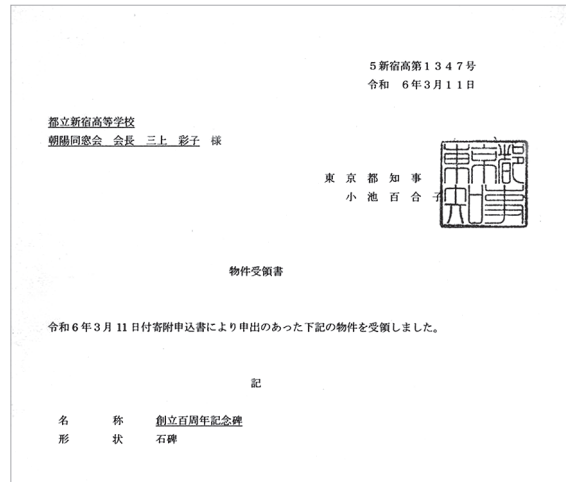
- ・記念碑書は書道八段の母校体育科教諭の田久保裕之52による
- ・興国の鐘の説明板も設置
- ・記念庭園周辺の整備は2024年度以降に実施



業生、在校生など多数が参列して実施されました。

敷田校長、三上同窓会会長、橋本幹事長が挨拶され、晴天のもと、無事除幕式を終了しました。

なお、記念碑は都立新宿高校の敷地内に設置されていますので、これを同窓会から東京都に寄付するという形で、



東京都の財産となっています。  
この受領証は、東京都が同窓会から  
記念碑の寄贈を受けたことを証するも  
のです。

## 記念碑設置の思い出

顧問 橋本健一 19

2022年10月、学校主催の創立  
百周年記念式典の開催を間近に控えた  
頃、当時の敷田校長より、校内の一角  
に、創立百周年を記念するミニ庭園を  
設置したいとの意向を伺いました。同  
窓会としても、同窓会主催の記念祝賀  
会がコロナ禍の影響で中止となり、意  
気消沈していた時だけに、後世に形と  
して残る事業として進めようとの機運  
が高まり、実施に向けての検討が始ま  
りました。

設置場所としては、当初、グラウン  
ドの一角も考えられましたが、校舎か  
らグラウンドへ行き来する生徒の目に  
触れやすいことから、校舎とグラウン  
ドを結ぶ通路沿いの林地内に設置とし  
ました。この場所は、メタセコイアの  
大木のほか、サクラやコナラなどの樹  
木がありますので、これら既存の立木  
はそのまま生かすこととし、その一部  
を整地して、記念碑を設置、その周囲  
に四季折々、花の見られるような低木  
を配し、さらには、ベンチなども置く  
との計画が浮上しました。

先ずは、中心となる記念碑を設置し  
なければなりません。当初は自然石の  
利用も考えられましたが、予算的にこ  
れは断念。黒御影石（前頁写真参照）  
を用いることになりました。2023  
年8月のことです。

次いで、記念碑の書をどなたかにお  
願いしなければなりません。これは、  
同窓生の中の書家の方にお願ひすべし  
と模索しているうちに、まさに、灯台  
下暗し、本校現体育科の田久保裕之先  
生52が書道八段の腕前とのこと、早  
速、ご依頼したところ、快諾してい  
ただきました。2023年9月のこと  
でした。しかし、ご多忙の公務の中、何  
とか時間を捻出していただき、何度  
も何度も下書きをくり返し、ご本人も満  
足の行く書が完成したときにはもう師  
走を迎えていました。それまでに溜  
まった反古紙は、何と、大型紙袋に収  
まり切れないほど。同窓生ならではの  
ことと感謝の念を強くしたところです。

一方、記念碑には、「興国の鐘」と  
して六中時代に下賜された「戦艦三  
笠」の時鐘のシルエットを刻むことと  
しました。ご存知の通り、今や実物は

存在しませんが、今も歌い継がれる「健児の歌」の歌詞にも登場する鐘の姿を残したいとの考えと共に、以前、百周年記念事業を検討した際に提案されていた「興国の鐘の復元」が実現できなかったことへの、せめてもの代わりとしての意味もありました。

これの原画は林慶治郎18さんをお願いしました。林さんは、わざわざ、横須賀市の「記念艦三笠」を訪れ、そこに保存・展示されている時鐘を写真撮影の上、原図を作成され、そのため、ほぼ正確な形を表現することができました。

また、多くの生徒は歌には歌うものの「興国の鐘」とは、何かを知らないとの敷田校長からのご指摘もありましたので、その解説板を記念碑に並べて設置することとしました。

以上の経緯を経て、2024年2月1日に記念碑、5月16日に解説板の設置を完了しました。この場所は生徒会でも憩いの場としての整備を進めたいとの考えがあるとのこと。今後は生徒会との連携も図りつつ、記念碑

周囲の植栽等の整備を進め、本校生徒諸君が過去の歴史に想いを寄せ、未来を語り合える場として整備を進めていきたいと考えています。



興国の鐘の由来を示した解説板  
〈解説文はホームページ参照〉





# 第5章

## 基盤の強化確立

組織の強化  
財政の確立

## 組織の強化

2013年

### 1 発端

朝陽同窓会にとって組織の強化が重要課題だと認識されたのは、百周年記念事業が発足する7月に開催された第35回の代表幹事会においてでした。

幹事会ではまず、朝陽同窓会の使命は以下の3点であることを確認しました。

▼会員同士の親睦の輪の更なる拡大

▼府立六中以来の伝統の継承

▼組織／財政基盤の確立

そして、これらの使命を達成し、百周年を迎える2022年には日本一の同窓会との評価を受けたいとの目標を掲げました。

使命目標を達成できたかどうか判定するためには、具体的な数値目標の設定が必要です。組織の強化と財政基盤の確立における数値目標とは例えば、支部朝陽会を現在の7支部から14支部に増やすといったものです。

2015年

### 1 組織の強化策

7月に開催された第43回代表幹事会において、以下の様な組織強化策が設定されました。

▼代表幹事の幹事会への出席率の向上

・出席者名の公表 直ちに

・組織強化策の策定 11月

▼副会長3名増員 次期総会に上申

▼顧問の会の発足 10月

▼運動部と文化部のOB・OG会 9月

連合会の発足

2019年

### 1 朝陽同窓会の組織強化策

7月に開催された第59回代表幹事会において、以下の朝陽同窓会の組織強化策が提出され、承認を受けました。

[1] 現在、朝陽同窓会は幾多の克服すべき課題を有している。例えば

・総会／代表幹事会への参加者数の減少 殊に30回生以降

・会費収入の減少

・各回同期の幹事と代表幹事の乖離

[2] このような課題を解決し朝陽同窓

会を更に発展させるため、より若い世代で委員会を結成し対策を作成する。

・名称 組織強化委員会

・委員長 小野瑞城 34

・委員 34回生以降の代表幹事

・事務局 数名を事務局が推薦

・目的 同窓会事務局が担当

役員会・代表幹事会への組織強化案上申

また、副会長の選出方法の変更に ついても提案がありました。

### [3] 変更の主旨

副会長は朝陽同窓会を支える大変重要な柱なので、組織強化を図る第一歩として、副会長の選出方法を変更する。

### [4] 変更点

国会議員の選挙区のように選出母体を定め、その母体毎に副会長を選出する。

・卒回10回毎から 各1名

・運動部OB・OG会から 1名

・文化部OB・OG会から 1名

・旧教職員から 1名

・支部朝陽会から 1名

[5] 選出母体から選出する理由

選出母体から副会長を選ぶことにより、意見の吸い上げや、同窓会執行部からの情報の伝達をより円滑に実施できる。

[6] 新副会長への期待

選任された副会長には、例えば総会担当や財政問題担当と言うように、自分で得意分野を選択し課題に取り組んでいただく。

[7] 世話役

10 回の副会長選出については、本日出席の代表幹事の中の最年長回の代表幹事を世話人をお願いし、新副会長選任を円滑に推進

[8] 留意検討事項

- ・男女数差が出た場合は特別枠を設け調整
- ・学識経験者枠も設定
- ・卒業年次ではなく年齢で選出母体を決めるなど、2年に1回仕組みを検討
- ・規約を改正し、現在9名の副会長数を15名程度に増員

2020年

1 規約の改正

新型コロナウイルスの感染拡大で遅れて2020年12月に書面開催された2020年度総会において、以下のような決議がなされました。また、この決議に伴い新たな役員も選出されました。

▼現旧教職員の呼称を名誉会員から特別会員に変更。

▼寿会員制度の廃止。

▼副会長の定員数を9名から15名以内に変更。

▼名誉会長を廃止して顧問に統一し、任務も規定。

▼代表幹事を役員から切り離し、新しく規定した。

▼会長の職務に役員会の招集と総会や役員会及び代表幹事会の議長を務めることを明記。

▼役員の任務を明記

2023年

1 広報の強化

コロナ禍による影響も次第に変化の兆しを見せて行く中、同窓会活動も以前の状態に復しつつありました。そこで、11月に開催された第73回代表

幹事会において同窓会活動をこれまで以上に活性化するため、以下の提案を採択しました。

▼目的

- ・同窓会諸活動への会員の参加推進
- ・会費の増収

▼強化項目

- ・ホームページ
- ・ライン等SNS
- ・「朝陽」広報強化委員会の設置

まとめ

組織の強化は、同窓会にとっても永遠の課題であります。コロナ禍に妨げられたとはいえ、この10年間である程度の成果を挙げたと思います。

これからは、さらに高いレベルを目指して組織の強化を継続的に行い、朝陽同窓会が真に日本一の同窓会だと言われることを願っております。

## 財政の確立

2013年

### 1 発端

組織の強化と等しく財政基盤の確立が朝陽同窓会にとって重要課題だと認識されたのは、百周年記念事業が発足する7月に開催された第35回の代表幹事会においてでした。

財政基盤の確立における数値目標とは以下のものです。

▼会費収入を現在の年間500万円から3倍の1、500万円に

▼新卒業生の同窓会入会者を現在の245名から300名に

2015年

### 1 予納会員制度創設

2月に開催された第41回代表幹事会において、新卒業生による朝陽同窓会への入会の際に納付される入会金15千円について、以下の概要にて予納会員制度を創設することになりました。

### [1] 経緯

61回生が卒業する2008年までは卒業時に自動的に同窓会に入会

する仕組みとなっていたので、入会金も全卒業生から納入を受けていました。

しかし、2009年以降は朝陽同窓会への入会は卒業生の自由意志ということになり、各回卒業生は320人ですが、以下のように大幅に入会比率が低落しました。

62回生	182名
63回生	167名
64回生	222名
65回生	240名
66回生	203名
67回生	235名

### [2]

適用開始

・朝陽同窓会の熱心な請願と母校、特に当時の校長であった戸田弘美先生の暖かいご理解により、2015年4月入学の新入生である70回生から予納会員制度が開始されました。

・朝陽同窓会は新入生に「同窓会入会のしおり」を頒布しました。

制度概要

・入学時に入会同意書を提出し5

千円を納付。

・朝陽同窓会の規約を変更し、予納会員として他の同窓会員と同じ取り扱いとする。

・二年時、三年時も各5千円を納付。

・卒業時に入会意思を再確認する。

### 2 予納会員制度への補足

4月に開催された第42回代表幹事会において、予納会員制度に対しさらに以下の補足がなされました。

▼今年度の現役一年生である70回生から予納会費を受け取る。

▼受けとった予納会費は預り金として会計処理。

▼預り金は卒業時に入会意思を再確認した上で入会金として取り扱う。

▼今年度から「朝陽」を全生徒に配布

▼囲碁クラブなど同窓会主催の活動の内、学校が承認したものには参加を容認。

この予納会員制度の設置で70回生の朝陽同窓会入会者は241名にまで回復しました。



## 2018年

### 1 会費の増収

[1] 2月に開催された第53回代表幹事会において、「今年は会費の増収に特に力点を置く」ということで、以下の項目を掲げました。

- ・「朝陽」67号に卒業回別納入状況一覧表掲載による意識向上
- ・7月の代表幹事会で会費の増収活動への協力を要請
- ・コンビニ収納用紙や口座振替制度の利用を検討

[2] さらに7月の第55回代表幹事会において、会費収入は年々下がり気味である。これは寿会員が毎年400名増えるのに対し、新入会員が最大320名しか増えないことにも起因する。しかし、入会金と会費は同窓会活動に不可欠であるとして、以下の施策が提案されました。

- ・来年の会報「朝陽」68号でキャンペーンを実施
- ・会費支払者の「朝陽」への氏名掲載（希望者のみ）
- ・長期会費の支払いをコンビニ振込に変更
- ・年度会費の支払いを郵便局振込

に加え、新たに口座振替を創設  
卒業後6年目の会員に口座振替  
利用を要請

[3] そして、10月の第56回代表幹事会において、年度会費振り込みの増加と固定化を狙って以下の提案がなされました。

- ・2019年度より口座自動引き落としによる会費の納付制度創設
- ・対象会費は年度会費2千円／年  
代金回収業者 三菱UFJファクタードワイドネット
- ・手続
- (1) 希望者が「預金口座振替依頼書」に記入し、事務局宛に送付
- (2) 事務局がワイドネットにオンライン入力で通知
- (3) ワイドネットが各人の預金口座から引き落とし朝陽同窓会に振込
- ・年度会費、長期会費の郵便局振込も併用
- ・卒業後6年目の会員に口座振替利用を推奨
- ・コンビニ利用による長期会費の

納付については、引き続き検討

## 2019年

### 1 会費の増収

2月の第57回代表幹事会で「特に力を入れる重点項目の一つ」として、以下の点を上げました。

- ▼口座振替制度の実施
- ▼スマホからの振込の検討

### 2 新入生の予納会員増加

4月の第58回代表幹事会において今年入学した74回生の内、262名が同窓会への入会を申し込んだとの報告がありました。予納会員制度は有効です。

### 3 寿会員制度の廃止

10月に開催された第60回代表幹事会において、寿会員制度の廃止が提案されました。この制度は1992年の総会で決議され発効したもので、長寿社会を迎え大先輩の方々には会費の心配をかけるべきではないというのがその理由でした。

しかし、最近では会員構成人口が変化し、朝陽同窓会の財政は悪化しました。

・毎年400名が寿会員の資格を取得

・一方、新入会する卒業生は最大320名／年

寿会員制度の廃止には既に資格を取得した先輩方や、近々適用を受ける回生の方々に対しては丁寧な対応を必要とする提案であります。そこで、朝陽同窓会の役員は手分けをして該当する回の代表幹事を介して、その方々にしっかりと説明を行いました。

そして、「80歳を超えても元気なので会費を払いたい」と言ったご返事を頂き、2020年の総会に寿会員制度の廃止を上申し、2020年度より廃止されました。

該当回生の方々の暖かいご配慮に厚く感謝申し上げます。

#### まとめ

学校と協議して、予納会員制度を開始するなど、新たな取り組みを始めましたが、財政基盤が確立されたというには、まだまだ努力が必要です。

しかし、幸いなことに百周年記念募金から今後の活動を支える引当金が充

当できるなどの成果を収めたことで、2013年当時の財政危機からとりあえず逃れることが出来ました。

これからも、同窓会員数の増加、あい基金や会費の増収などを絶え間なく遂行し、財政基盤の確立を目指しましょう。

# 第6章

## 同窓会事務局

業務内容

局員紹介

## 業務内容

### 事務局の概要

#### [1] 1

##### 本節の目的

朝陽同窓会事務局は同窓会活動の実務を担当する常設の組織です。様々な企画を実現するための連絡、内外調整、資金手当て、動員などになくなくてはならない存在になっています。

しかし、その活動内容はあまり同窓会員に知られていません。そこで、この記念報告書を作成するにあたり皆様に事務局の役割や仕事を紹介し、事務局について知っていただくと思います。

#### [2]

##### 事務局の役割

事務局は朝陽同窓会会員で構成し、以下のような役割を担っています。

- ▼同窓会員名簿の維持管理
- ▼総会や代表幹事会などのサポート
- ▼同期会やOB・OG会のサポート
- ▼各種イベント（ホームカミングデーや朝陽祭など）のサポート
- ▼会誌「朝陽」の発行
- ▼会費、募金、など入出金の管理

##### ▼同窓会HPの維持管理

##### ▼同窓生の問合せ、依頼対応

##### ▼学校との良好な関係の維持

##### ▼一般財団法人朝陽会の事務処理

##### ▼館山寮の維持管理

#### [3] 勤務形態

事務局は母校の校舎2階にあります。事務局の開局時間は以下の通りです。

- ・平日 午前10時から午後4時
- ・土日休日 休み

また、学校が休みとなる期間には、事務局も何日か連続して休みます。

#### [4]

##### コロナ禍での勤務状況

2020年の新型コロナウイルスの感染拡大は春休みになっても終息せず、緊急事態宣言の発令により母校は3月下旬から5月末まで休校となりました。これに伴い事務局も同様に5月末まで事務室を閉鎖せざるを得ませんでした。

しかしながら母校や卒業生にとって同窓会活動は「不急ではあっても不要ではない」との信念のもと急遽オンラインシステムを導入し、テレワークによって在宅での勤務を継続

することとしました。

6月の緊急事態宣言解除後も事務局では暫くテレワークを利用し、他方毎日一人は事務室に出勤することとしました。通勤などでのコロナ感染の危険はまだありましたが、事務室内でのマスク着用や手洗い、事務室の窓開けによる換気の励行など可能な対策を全て行い、何とか事務局機能を維持しました。

それでも総会はもちろん代表幹事会などは、長い間対面開催はできずメールに頼るコミュニケーションがいかにも不完全なものかを強く実感しました。そして2023年になり対面の総会が再開され大変嬉しく思いました。

#### [5]

##### 事務室

同窓会にとって母校の校舎内に事務室があるということは大変大きな意味があります。

同窓生からの種々の電話による要望や連絡を、すぐ事務局が受付けて処理できます。また、校長先生やその他の教職員が気軽に事務室を訪ねてこられ、母校との意思の疎通が十分に図れます。他の都立高校の同窓



会では母校内に事務室がある所は多くはないと聞いており、その様な同窓会はどうしても活動が鈍ることになります。

二代め校舎の時代は同窓会が自前で建設して母校に寄付した朝陽会館があり、飲食もでき夜間や土日休日にも自由に利用できました。現在の校舎に移転する時に「朝陽会館も引っ張って来て新校舎敷地内に移設しよう」との提案があり、色々検討を重ねました。しかし、朝陽会館の移設は結局実現せず、その代わりに今の事務室を使用してよいという許可を母校から得ました。

現在の事務室はアルコールなどは勿論不可で、夜遅くや土日休日の利用も制限されてはいます。しかし、都内でも有数の新宿で7階建て校舎の一角を利用できるということは大変有難いことです。今後とも事務室を利用できるよう、母校との友好関係を維持して行きたいと思います。

## 2 同窓会内の会合

総会や幹事会などは同窓会活動の大きな柱です。この項目では各種会合における事務局の役割を紹介します。

### [1] 総会

朝陽同窓会の規約では総会は毎年1回開催することになっていて、同窓会の最高議決機関です。その主な目的は以下の通りです。

#### ▼朝陽同窓会の規約の変更

#### ▼予算と決算

#### ▼会長・副会長の選出

#### ▼監事の選出

総会に先立って事務局は以下の様な準備を行います。

#### ▼母校へ視聴覚室の使用申請

#### ▼校長とPTA会長へ出席の依頼

#### ▼「朝陽」への総会開催案内の掲載

#### ▼記念講演者との交渉

#### ▼懇親会会場の予約

事務局は当日、受付や会場の設営も行います。

総会終了後懇親会を行います。事務局は懇親会の受付や会費の徴収も担当します。懇親会は卒業年次を超えて先輩後輩が忌憚なく語り合える大変楽しい場であります。

### [2] 代表幹事会

代表幹事会は各卒業回から選出された代表幹事全員で構成する組織です。

その主な役割は役員人事、事業計画、決算予算などの審議です。

コロナ感染拡大前は代表幹事会の開催開始時間が午後6時半となっており、始まる前に事務局がお弁当とお茶を準備していました。事前に出欠をとり、お弁当屋さんから人数分だけお弁当を取り寄せました。

また、学校の規則で夜間や休日には玄関に鍵がかかっていましたので、事務局員が6時半までは玄関で待機して開錠しておりました。それ以降の来場者については来校の都度事務局に電話を入れてもらい玄関まで迎えに行きました。

その後暫くコロナの影響で代表幹事会も書面開催が続きました。書面開催では事務局が前もって代表幹事の手元に議案書を送り、賛否をメールで返信してもらうことにしました。が、事務局の手間も増えました。

対面開催が可能になった2023年以降は、開催が土曜日の午後2時となりました。したがってお弁当の

手配などはなくなりました。

### [3] 役員会

役員会は2020年の規約改正に伴い新たに作られた組織です。それまでは役員の数も数人であり、必要に応じて会合を行っていました。

役員会のメンバーは会長、副会長、監事、幹事長で構成され、役員会の主な役割は代表幹事会に提出する議案の審議調整を行うことにあります。開催に先立ち事務局は役員に対し役員会議案書を送付し、終了後は後続の代表幹事会に備えて、代表幹事会議案書を作成します。

### 3 母校との会合

入学式や卒業式などには毎年同窓会会長が出席します。また意思の疎通を図るために同窓会と母校間では各種懇談会を開催します。この項目ではそのような会合の概要と事務局の役割を説明します。

### [1] 入学式

新入生を迎えるに当たり、毎年4月に入学式が執り行われます。同窓会からは会長、幹事長が式典に招か

れて参列します。

入学式に先立って学校から保護者へ説明会があります。同窓会からも会長、または幹事長が出席して朝陽同窓会の説明を行い、同窓会に入会の勧誘を行います。入会を希望した新入生は入会申込書を同窓会に提出し、予納会員として登録されて毎年5千円ずつ予納会費を積み立てていくこととなります。

### [2] 卒業式

毎年3月に執り行われる卒業式には会長、幹事長が招かれて参列します。

そして、会長が来賓として朝陽同窓会を代表して挨拶を行います。また、卒業式の当日事務局があい奨学金を準備し、毎年3名に対し会長から事務室で贈呈します。

新卒業生は卒業式を終了して初めて予納会員から朝陽同窓会会員となるので、同窓会にとっても大変意義ある1日と言えます。

### [3] 百周年記念式典

母校の創立百周年を祝う記念式典は2022年10月に母校体育館で

開催されました。

コロナ下の開催ではありませんが、朝陽同窓会からは来賓として代表幹事を中心に約60名が招待され列席しました。一般生徒は教室でテレビでの参加となり、生徒会執行部とアトラクションに出演した管弦楽部・音楽部・チアリーディング部の部員のみが体育館に列席しました。

当日は青柳同窓会会長が祝辞を述べ、さらに記念講演を行いました。題名は「コロナ後の日本を考える」でした。同じく2022年10月に開催する予定だった同窓会主催の百周年記念祝賀会はコロナ感染拡大により残念ながら中止となりました。しかし、母校が開催したこの百周年記念式典だけでも執り行われて、本当によかったと思います。

### [4] 学校との懇談会

同窓会と母校との連絡会は年数回校長室で開催します。学校側の参加者は校長と副校長で同窓会側は会長・幹事長・事務局長です。

コロナ禍以前は年1回程度、場所を変えて懇親会を開催しました。このような懇談会は母校と同窓会のよ

りレベルの高い意思疎通ができ、大変重要なものです。そろそろ復活することを期待します。

[5] PTAとの懇談会

学校と同様、PTAとの懇談会もコロナ禍前は年数回、校内の会議室で開催されていました。PTA側の参加者は会長・副会長で約7名、同窓会は会長・幹事長・事務局長の3名です。

コロナ禍前は学校と同じく年1回程度、場所を変えて懇親会を開催しました。こちらもそろそろ復活してはと思います。

4 事務局の業務

この項では事務局の主な業務を説明します。事務局が多岐にわたる業務を手がけていることが分かっていただけたらと思います。

[1] 「朝陽」の編集

朝陽同窓会の会報である「朝陽」の発行は、同窓会の広報活動の最も重要なものの一つです。朝陽の編集にあたっては編集委員会というようなものではなく、佐藤喜一先生01、

森田亨07、西出紀久15、林慶治郎18というように、同窓会に精通し、かつ編集に秀でた特定の方に編集長として就任していただいております。

編集長は事務局の一人として、「朝陽」の企画、原稿執筆依頼、原稿の校正、印刷業者への発注、広告集めなど、多岐に渡る業務を殆ど独力でこなしています。

「朝陽」の発行に先立ち編集長は同窓会員や母校校長などに原稿の執筆を依頼します。依頼作業は前年の9月頃から年末頃までかかります。集まった原稿は三段縦書きに組み替え、写真のレイアウトなどを行い印刷用の最終原稿を作成します。その際編集長は原稿の内容を良く吟味し、文章の意味が通じにくいところは修正をお願いする、あるいは、原稿文字数の調整など量的にも過不足がないよう編集します。編集作業は知識と技能のいる高度ものです。

編集作業が終了したら、最終原稿を東光整版印刷という印刷業者に渡して印刷となります。東光整版印刷は現在の社長さんの親の代からお願いしているところで、朝陽同窓会の

ことは何でも熟知しておられます。「朝陽」の内容は毎年大きくは変わりません。これも伝統の継承と言えると思います。

会報の毎年発行は同窓会員間の親睦向上に大きな意義を持っています。同期だけでなく先輩後輩にどんな方がいて、その方たちが今どのような活動をしているか、そして新宿高校に対してどのような思いを持っているかよくわかるからです。

「朝陽」を同窓会員の手元に送付すると、その後の3か月くらいは募金や会費などが多数振り込まれるということから考えても、「朝陽」の発行が同窓会にとっていかに大切かわかります。

「朝陽」は他の都立高校の会報と比べても、優れたものと評価できます。SNSの時代になっても「朝陽」の発行が継続されるよう願っています。

[2] 送付状の印刷

2018年ごろまでは例えば「朝陽」と送付状と一緒に封筒に詰める作業などは、全てを事務局で行っていました。しかし、現在では送付状

の印刷だけを事務局が行ない封入作業などは全て外注しています。

送付状の枚数は大体18、500枚くらいあり、事務局での印刷には10日ほどかかります。送付状には同窓会員の氏名や住所を印刷し、併せて会員の会費の納入状況も印刷し、未納の方には会費の支払いをお願いする文言も印刷します。

送付状は郵便番号順に印刷しなければ発送できないので、作成には時間がかかります。

送付状の印刷が終われば発送業者に引き渡して、事務局の仕事が一段落するので終了するとホッとします。

しかし、「朝陽」を送って2週間くらいすると転居して住所不明などで「朝陽」の戻りが事務局に大量に返送されます。その数は毎年大体300通くらいです。

また同時に、個人情報の変更やご家族からの逝去などの連絡が事務局へメール、ファックス、電話などで舞い込みます。正確な情報処理は必須ですが、時間と手間がかかります。

[3]

ホームページ

2001年4月の幹事会で「関嶋

政和44が個人的に作成していたものを朝陽同窓会の公式ホームページとして採用する」ことが承認されました。そして当時事務局長であった吉村悟07がホームページの運用管理を行うこととなりました。2014年4月に「朝陽」の編集長が西出紀久15から林慶治郎18に引き継がれると共にホームページの担当も吉村悟07から林慶治郎18へと変わりました。

ホームページの運営管理は「朝陽」同様編集委員会などなく、歴代特定の個人が担当しています。その主な業務の内容は記事とすべきコンテンツの収集・掲載（同窓会行事や代表幹事会の決定事項などの同窓会員への周知）、同期会やサークル活動の案内・実施報告などの掲載です。同窓会にとっては「朝陽」同様、ホームページも強力な広報の手段です。ので、今後ますますその重要性が増して来るでしょう。

[4]

個人情報の管理

同窓会活動にとってなくてはならないものは、同窓会員の個人情報の管理です。個人情報に間違いなどがある

と、「朝陽」を送ることが難しくなり同窓会員とのコミュニケーションがとれなくなります。

個人情報の変更は通常、会員からメール・ファックス・電話で連絡があります。事務局ではシステムを構築し、電話での問い合わせがあっても即時パソコンの画面を開いて応答できる仕組みを作っています。

個人情報の変更はメールで変更をお知らせ頂くのが一番正確ですが、例えばご年配の方から「主人が亡くなりました」との電話があった場合、「メールでお願いします」とはなかなか言えず、その場で受付せざるを得ません。そのため、画面をすぐに開いて個人情報をしっかり確認し、受け付けるようにしています。

また、情報の変更を知らせるメールやファックスは入力前に必ず印刷して、一人が入力したら他の一人が再度画面で検証する仕組みにしています。正確な情報処理は同窓会の必須事項です。

同窓会会員の個人情報は、代表幹事会で承認された事務局の内規によって厳重に管理されています。例えば「私はXX回の何々ですが、同



期の誰々さんの住所を教えて下さい」と電話があつても、「ご本人に貴方から連絡があつたと伝えておきます」と言つて電話を切ります。そして事務局から本人に電話をかけて、問い合わせがあつた旨を伝える様にしています。

また、代表幹事から「同期会があるのでXX回の名簿を送ってください」と言われることがあります。その場合は連絡をしてきた人が代表幹事であることを確認してから、その方にその卒回の名簿を送ります。ただし、その時でも「同期会開催の目的以外で使わないようにして下さい」と念を押して渡しています。

## 5 財団朝陽会の事務代行

財団は1923年3月の創立以来、その事務処理をずっと母校の事務室に委ねてきました。しかし、2013年4月になって、その事務処理を同窓会に有償委託することとなり現在に至っています。

### [1] 同窓会と財団の違い

財団は館山の土地・建物と水上の土地を保有管理できるように、法人

格を有する団体として公的に登録されています。

一方、同窓会は性格が同窓生の集まりであり、法人格を有していません。したがって、同窓会は土地や建物を法的に所有する資格がありません。

財団は2013年からは一般財団法人として届けているため、評議員会や理事会といった組織で運営することが定められています。また、評議員会や理事会は、母校やPTAと朝陽同窓会の三者で成り立っています。

財団朝陽会の代表理事は慣例として朝陽同窓会長が兼任し、業務執行理事は母校校長と同窓会事務局長が選出されます。

### [2]

#### 事務処理の委託

2013年1月に学校側から同窓会に対し事務委託の要請があり、協議の結果、同窓会が今後財団の事務を受託することとなりました。これは学校の事務室が多忙になったとの理由によるものです。

受託した主な事務の内容は下記の通りです。

#### ▼庶務

- ・事業計画の作成や事業報告書の東京都への提出
- ・理事会や評議員会開催の調整
- ・館山寮利用の申込受付

#### ▼経理

- ・会計帳簿の記帳と決算書作成
- ・地元館山寮管理人への日当の支払い

#### ▼契約

- ・館山寮賄いとの契約や館山寮関係保守点検契約
- ・施設の修繕工事依頼、清掃・草刈り依頼

上記の事務の内、館山寮利用の申込は短い間に受付が集中し、かなりの煩雑さを同窓会事務局にもたしました。

### [3]

#### 総務部の設立

2009年4月に財団と同窓会は覚書を取り交わし、財団内に総務部を新設することとしました。この総務部は組織上財団の理事会の下部組織として位置づけられます。総務部の要員は全て同窓会から派遣されます。事務処理の内容は従前と変わります。



はありませんが財団の財政の悪化により、総務部の人件費は全て同窓会が負担することとなりました。

#### [4] 統括管理者

臨海教室終了後の同窓会員を中心にした一般宿泊者の増加により、館山寮の利用受付業務などが大幅に増えました。そこで宿泊客へのサービスをレベルアップするための方策として、新たに統括責任者を任命することとなりました。

そして、2008年5月に朝陽水泳会の一員である鈴木仁志<sup>38</sup>に依頼して、初代統括管理者になってもうりました。期間としては一般宿泊を受け付けている夏季の間のみとなります。それ以外の期間は地元の館山寮管理人の方が管理します。

1967年に一度全面改修された館山寮も次第に老朽化し、寮の維持管理にも手間がかかり始めました。ことに夏の一般宿泊以外の期間でも庭の手入れや、建物の維持管理などに時間を取られるようになったので、夏冬を問わず管理者を置く必要が生じました。

そこで同窓会は2013年に現地

を最も熟知している朝陽水泳会にお願いして、下島正幹<sup>23</sup>を中心に組織全体で統括管理者となっていたいただきました。また、単に館山寮の夏の間の管理だけでなく、長期的な寮の運営施策の作成や地域との融和を行うなど多角的視野での活動をお願いしました。

#### [5] 一般財団法人への移行

2013年の法律の改正により、今までのすべての社団法人や財団法人は「公益目的を有しているかどうか」によって区分されることとなりました。そして1923年3月の創立以来続いてきた財団法人朝陽会は、その呼称を一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会とすることとなります。

同時に監督官庁も東京都から内閣府に移りました。これは財団の所有する土地建物などが東京都だけでなく千葉県、群馬県にも散在していることによります。

一般財団となったことで決算・役員人事などの処理も法規に基づいた手続きを踏まなければならず、財団の総務部である同窓会事務局にも負

担がかかることとなりました。

これらの事務処理は財団の業務執行理事であり同窓会事務局長の寺澤忠興<sup>22</sup>が現在一手に引き受けています。高度な知識と経験を必要とする業務なので、後継者の育成や外注化など対策を早急に考えることが重要な課題と言えます。

#### [6] 財団の課題

財団は資産として館山の土地建物や水上の土地を所有しているとはいえ、それらの資産は大きな収益をもたらすものではありません。館山は主に夏の間だけの利用で、一方寮の手入れには1年中費用がかかります。また、館山寮の運営管理は朝陽水泳会が親身になって力を入れて下さってはいませんが、どうしても場所的・時間的制約を受けます。水上の土地の利用方法始め館山寮の運営改善などにも長期的視野での経営計画の作成が急務だと思われます。

#### [1] 6 母校の支援

キャリアガイダンス  
2004年に現役1年生全員を対象として初めてキャリアガイダンス

が行われました。

主催は学校で同窓会は講師を探すなどの手助けを行います。キャリアガイダンスの目的は1年生にこれからの人生に役立つ話を聴いてもらうためです。

講師の選定に当たってはどのような分野の人を選ぶか学校の要望を聞き、その後に事務局が候補となる卒業生を推薦し、母校の承認を得て決定します。講師との種々連絡は事務局が担当します。

2014年までは1回45分の講演を文系・理系の講師2、4人が入れ替わって講演する方式でした。2015年からは講師の数が10名強となり、各講師は同じ内容の講演を2回行い、生徒は休み時間に教室を移動して、異なる二つの講座をうけることができるようになりました。

時代によって生徒の聞きたい講座の内容は変化します。事務局は毎年生徒の要望に添う講師を探さなくてはなりません。2024年までは事務局の西出紀久15が講師との交渉係を担当してきました。新宿高校のキャリアガイダンスが都立高校一と評価されているのは同窓会の人材を

知り尽した西出さんのお蔭です。

2024年後半からは西尾信子24がその仕事を引き継ぎました。西尾さんも知識経験とも優れた方です。すから、これからも新宿高校は高い評価を保ち続けると思います。

## [2]

進路部通信等刊行物への支援

母校が毎月発行している進路部通信には卒業生が1名必ず寄稿しています。その寄稿者を見つけ出すのも事務局の役目です。人選はキャリアガイダンス同様西出紀久15が担当しています。2024年後半からは西尾信子24が引き継ぎます。

進路部通信への同窓会員寄稿は100号を越えました。同窓会ではこれまで、進路部通信掲載の「先輩からの言葉」を2019年と2022年の2回、冊子にまとめ、全校生徒にプレゼントしました。現在、2024年9月に通算100号に達したのを記念して、3冊目の冊子の作成を計画しています。

またPTA会報にも、同窓生が寄稿をしています。この寄稿者についても、PTAの要望を受け、同窓会から推薦しております。

## [3]

朝陽祭

同窓会では毎年9月に行われる母校の朝陽祭に参加します。同窓会のいろいろな歴史を展示して、在校生やこれから入学する中学生に紹介しています。展示は毎年展示する常設のものとその時々で変わる特別展に分かれます。

### ▼常設の展示品

- ・六中から現在の新宿高校までの歴史を描いた絵巻物
- ・東郷平八郎揮毫
- ・荒木大将の軍刀・昭和の名刀裕丸

### ▼特別展

- ・校章やバッジ、旧校舎写真など
- ・軟式野球部、バスケット部、バレー部、放送研究部など、文化部や運動部の歴史展示

朝陽祭の前日から事務局員が総出で展示の準備を始めます。当日は役員も参加して在校生や見学に来た中学生とその保護者などに展示品の説明を行い、新宿高校の伝統や歴史を理解してもらっています。

[1] 7 会員の親睦向上  
支部朝陽会

朝陽同窓会では地方にお住まいの同窓会員の親睦を図る為に、地域ごとに一つの支部を作っています。北から並べると北海道（札幌）、宮城（仙台）、群馬（高崎）、多摩（多摩センター）、関西（大阪）、九州（福岡）です。さらにアメリカにも朝陽USA（ロサンゼルス）があり、ロサンゼルス以外でもラスベガスなどへ移動して支部朝陽会を開催しています。支部朝陽会はその熱心に活動を行い、新たにその地区に移住された方などへ入会の勧誘を行っています。

本部からは支部総会開催毎にその費用の一部を負担し支部活動を支援しています。

また、開催に当っては同窓会長・幹事長などを派遣し、母校の近況や同窓会の活動ぶりを伝えていきます。

[2] 朝陽クラブ

2代目校舎の時代は朝陽会館があり、代表幹事会などでは飲食自由でした。3代目校舎に移ってから、校舎内は全て禁酒禁煙となり同窓会

活動にも影響が出ました。そこで発案されたのが朝陽クラブです。朝陽クラブとは毎回同窓生が講演をする会で、講演者の出身回や、その前後の回の同窓生が集まり、ゆつくり話を聞く会です。講演の後には懇親会もあります。懇親会は新宿ライオン会館などで開催され、先輩後輩が分け隔てなく懇談する楽しい会となります。

2009年2月に開催された第1回朝陽クラブは新宿ライオン会館で開催され、木村勇三先生R10、佐藤喜一先生01はじめ33名が参加されました。講師は松浦慎R18で「坂の上の雲と六中」と題するとても興味深い内容の話でした。

2019年7月に第30回朝陽クラブが開催され、講師として石川裕30が「スパコン富岳について」と題して講演を行いました。参加者は29名でした。それ以降コロナ禍の為一度も開催されず、今日に至っております。

朝陽クラブは原則年3回開催されます。そして、毎回の講演が次の若い回に引き継がれることになっています。朝陽クラブは朝陽同窓会会員

の高い文化の度合いを示していると思いますので、再開継続できることを願っております。

[3] 佐藤喜一先生とのお別れの会

2017年2月に佐藤喜一先生の「お別れの会」がクルーズクルーズ新宿で開催されました。

奥様、お嬢様、ご遺族の方始め、朝陽同窓会会員の方々を入れて、計152名の方が参列されました。



ご遺族と祭壇の佐藤先生に弔辞を  
捧げる田中俊郎会長 17

佐藤先生は朝陽を  
行されるな  
ど、事務局  
の活動にも  
大いに貢献  
されました。  
慎んでご冥  
福をお祈り  
申し上げます。

[4] 東京校歌祭

東京校歌祭は1993年に東京都立高校のうち、いわゆるナンバーズクールを中心に発足した音楽祭です。会場は日比谷公会堂や杉並公会堂を

中心に利用し、まる1日をかけて各校が旧制中学の校歌や現在の校歌、応援歌などを披露する会です。朝陽同窓会井上成一R17が校歌祭の実行委員長を務めたこともあります。

ひところは事前に参加者を葉書で募集し、開催する1週間前に母校に集まり、音楽室で練習したこともあり、最近では校歌祭への出演前に会場にある部屋を借りて練習してから本番に臨んでいます。

2024年10月には杉並公会堂で開催された第32回東京校歌祭に30名が出演し、「六中校歌」、「新宿高校校歌」、「健児の歌」を合唱しました。

#### [5] 城北会との交流

戸山高校の同窓会である城北会とは毎年ゴルフの交流戦を開催しています。ちなみに交流戦と名付けるのは、現役生が対抗戦と称して戸山とスポーツの試合を行っているからです。我々はもう卒業生であるので、戸山と卒業生として親睦を図りたいという気持ちからでした。

ゴルフの交流戦は2009年から始め、2024年で15回の開催と

なります。団体戦、個人戦がありますが、団体戦は各校上位10名のスコアの合計で競います。新宿高校が団体戦を制したのは2012年の第4回大会と2024年の第15回大会のみです。

幹事校は毎年交代します。幹事を担当する時は、開催ゴルフクラブの手配や組み合わせの決定、スコアの集計などを担当します。組み合わせは新宿2名、戸山2名で回ることが原則です。過去にはご主人が新宿、奥様が戸山というご夫婦が参加されたこともあり、ゴルフをしながら新宿戸山で話をしていくとすぐ親しくなれる、大変気持ちの良いゴルフを経験できます。

#### [6] ブリッジ交流戦

2009年に発足したゴルフ交流戦に続き、ブリッジでも交流戦をやってはとの話が持ちあがったのは2010年のことです。その準備として朝陽ブリッジ倶楽部をスタートさせました。倶楽部は小出富江07、鈴木明夫12が中心となって人を集めました。発足した時の倶楽部の会員

数は16名でした。2011年3月にいよいよ第1回ブリッジ交流戦が四谷ブリッジセンターで開催され、新宿14名、戸山12名が参加しました。結果は残念ながら93対87で逆転負けしましたが、終了後懇親会を開催し新宿戸山間の親睦を深めました。

その後ブリッジ交流戦は毎年開催されましたが、2019年11月に新宿5ペア、戸山3ペアが参加した交流戦をもって最後となりました。それ以降はコロナ禍により、朝陽ブリッジ倶楽部も解散し、交流戦は行われておりません。しかし、新宿と戸山の卒業生が醸し出す雰囲気、素晴らしい交流戦なので、またいつか開催出来ることを期待しています。

#### [7] その他の交流戦

囲碁の新宿戸山交流戦を何年か続けましたが、途中で立ち消えとなっていました。記録が殆ど残っていませんので記載できず残念です。今後ゴルフやブリッジに続き、新しい交流戦が立ち上がることを期待しています。



## 事務局紹介

### 1 チーム新宿

朝陽同窓会事務局の特徴は、事務局員個々が自由に意見を出し合い意見交換をして、チームとして纏まった成果を上げることにあります。息の合った連携プレーで、多岐に渡る同窓会事務局をこなしています。

また、少ない事務局員数で多くの時間帯をカバーできる勤務ローテーションを組んで、同窓会員に手厚いサポートができるようにしています。

事務局員の平均年齢は一般社会と比べると相当高いのですが、その分積み重ねてきた社会経験を、同窓会事務の遂行に活かすことができ、チーム新宿の一員として人生の後半を仲間と楽しく仕事をして行けることは、大変幸せなことです。

### 2 歴代事務局員

百周年記念事業がスタートした2013年から現在に到るまでの間に事務局に在籍した方々を、卒業年次順にご紹介申し上げます。なお幹事長は事務局員には含めておりません。

#### ▼小出富江 07

・2001年に事務局に就任し、2023年3月に体調不調の為、事務局を退任されるまで、22年の永きにわたって勤務。

・個人情報管理、会計処理などを中心に、同窓会事務の全てを幅広く遂行。

・先輩後輩への配慮も厚く、仕事も丁寧で誰からも信頼されるお人柄でした。いまだに「小出さんはどうされていますか？」との問い合わせも多く、事務局から退任されたことが本当に残念に思われます。

#### ▼西出紀久 15

・2009年に森田亨 07 の後を継いで「朝陽」の編集長、2013年に秋山小南 15 の後を継ぎ2016年まで事務局長。

・また、2020年1月、体調を崩した吉村悟 07 に替わり幹事長、その後6月に田中俊郎 17 が病により会長を辞任すると、会長代行に就任など、同窓会の主要役職を歴任。2021年6月に幹事長を退き、顧問として事務局に勤務。  
・業務は事務局長、幹事長などの役

職の他に百周年誌編集、キャリアガイダンスなど多彩な仕事を担当。

・同期からの信任も厚く、垂水尚志、青柳正規など15回からの会長選出に尽力。また、15回からの多額の記念募金納付などにも大いに寄与。

・同期生だけでなく上下の同窓会員にも人脈が広く、同窓会活動の成功に大いに貢献。長く一緒に仕事をできて良かったと思う仲間の一人です。

#### ▼林慶治郎 18

・2013年から2025年に至るまで事務局に勤務しましたが、2025年1月に急逝されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

・業務は殆ど在宅で行い、主に「朝陽」の編集とHPの更新を担当しました。そして2025年度からは事務局のシステムの運営管理も担当することになっていました。  
・仕事振りは何事にも手を抜かず、しっかりと完成させる綿密な一面を持ち、一方では冗談を交えて他の人と思疎通ができる信頼に足



りる人でした。本当に惜しい友達を無くしたものと感じております。

#### ▼寺澤忠興 22

- ・2017年に事務局に就任し、2019年から現在まで事務局長。財団朝陽会の業務執行理事も兼務。
- ・業務は朝陽同窓会や財団の会計処理、総会や代表幹事会、役員会、さらには財団の理事会や評議委員会の開催などの取り纏め。

・また、母校との連携、業者との外注契約、館山寮の維持管理など多岐にわたる。財団の内閣府への報告書の作成など相当な専門知識を必要とする業務も担当。しっかり業務をこなしていただき本当に感謝しております。

#### ▼鈴木佳津子 23

- ・2018年4月に事務局に就任し、約6年間に在籍されましたが、2024年12月に病のため急逝されました。謹んでご冥福をお祈りします。
- ・業務としては個人情報管理や会計処理を担当。
- ・2023年の記念音楽祭開催に当

たつては朝陽合唱団の方々と共に企画を担当され、見事な成功に導きました。2024年の記念美術展についても0の会の方々と一緒に企画を行い、これもしっかりと仕上げました。

・誰とも暖かい雰囲気ですることのできる気持ちをお持ちの方でした。本当にありがとうございます。

#### ▼大池克幸 24

- ・2014年4月に百周年記念事業実行委員会専任の事務局長として事務局に就任。記念祝賀会がコロナ禍のため中止となったあと、2022年8月に事務局を退任。
- ・業務としては専ら記念事業の推進役として活動。残念ながら中止となった記念祝賀会の企画立案／推進には出演者・関連組織の取り纏めに大いに交渉能力を発揮。
- ・コロナ禍に際して事務局にテレワークのシステムを導入するなどシステム管理者としても才能を発揮。出来る事ならまた事務局に復帰してもらいたい優れた人材でした。

#### ▼西尾信子 24

- ・2022年に副会長に就任、副会長職のまま2024年3月から事務局での勤務を開始。
- ・業務としては個人情報の管理を中心に、2025年2月から西出紀久15からキャリアアドバイザー、PTA会報を引き継ぐ。
- ・母校教師を経験しており教え子も多く、これからの業務に大いに役立つでしょう。次世代の事務局を背負って立つ一人と期待しています。

#### ▼小山春美 25

- ・2012年4月に事務局に就任し、10年間事務局で勤務。2023年12月にご主人の奈良転居に伴い事務局を退任。
- ・業務としては個人情報管理、会計処理、予納会員名簿の管理などなど何でも幅広く遂行。
- ・仕事振りはてきぱきとして全くそつがなく、他の人との接する態度も明るく温かくて、事務局はまた一人得難い人材を失いました。



大池

▼前田文子 31

- ・2019年4月に事務局員に就任、その後2020年3月に一度事務局を退任。しかしその後、2024年4月に事務局員に再任し現在に至る。
- ・主な業務は個人情報の管理と会計処理。
- ・仕事ぶりはてきぱきとしてまちがいがなく、これからの事務局を背負って行く才能の持ち主です。



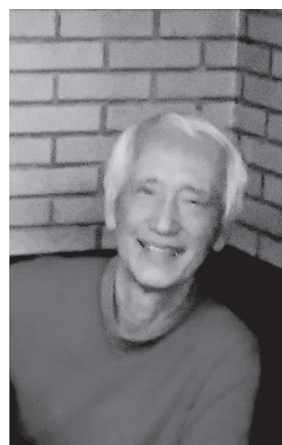
左手前から時計回りに寺澤（事務局長）、橋本（顧問）、西尾、吉村（顧問）、前田



小出（左） 小山（右）



鈴木

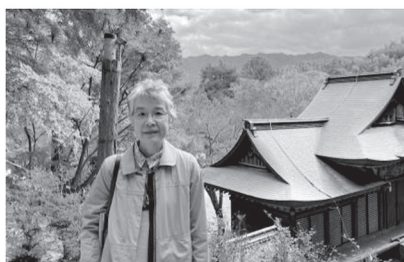


林



左から 西尾 前田 寺澤（事務局長）

奈良の地から 小山



左 西出 右奥 吉村



吉村（顧問、筆者）

執務室全景 左手入口扉の向こう側（左奥）は会議室





## 筆者自己紹介

7 回生 朝陽同窓会顧問 吉村 悟

母校創立百周年記念事業報告書執筆の機会をいただき誠に光栄に感じております。

### 1 朝陽同窓会との出会い

1956年3月の卒業式の日担任の中野博之先生に呼ばれ、「君は内藤町に住んでいるのだから7回生の代表幹事をやりなさい」と言われ、以降88歳の今日に至るまで代表幹事を続けてまいりました。

サラリーマン時代はなかなか代表幹事に出席しませんでした。が、それでも断続的に出席して、林健太郎R04、久米豊R13などの会長の方々のお顔は拝したことがあります。

2001年5月、たまたま朝陽会館にある同窓会事務室を訪ねたことがありました。部屋には当時の松本雄吉幹事長R21が一人ポツンといらして、「吉村君、いいところに来た。ちょっと相談がある」とのことでした。部屋には他に誰もいないので、「他の事務局の方々はどこされたのですか」とお聞きすると「今は誰もいない」とのこ

とでした。

その年の春に平嶋弘二事務局長08が体調を崩して辞任し、埼玉しづ香19、志賀春海19、長谷川信子21、亀山紀子21の4人の事務局員の方々も、その直前に全員退任されていました。結果事務局は無となり、松本さんは大変困られて「会計が苦手です予算も決算もできないので事務局長になってくれないか？」と頼まれました。当時私は手空きだったので、「ではやってみます」と返事したことが、事務局と繋がるきっかけでした。

### 2 事務局での仕事

事務局で最初にしたことは、人材探しでした。佐藤喜一先生01の代わりに「朝陽」の編集長として森田亨07に委嘱、続いて同じく同期の小出富江07と宇賀神百合子07に事務局員を引き受けてもらいました。

次に手掛けたことは会計システムの開発です。それまでの手書きの会計帳簿を、パソコンを使ったシステムに切り替えました。個人情報管理については住所や電話番号のみがシステム化されていたものを、会費の納入記録もパソコン処理できるように改良しまし

た。そして、電話による会員からの問い合わせにも即時対応できるようにしました。

代表幹事会の議案書なども手書きのものからパソコン処理に切りかえ、デジタルな記録が残るようにしました。

2001年からの23年間の事務局暮しですが、2005年の朝陽会館からの引っ越しやコロナ禍における在宅勤務などは特に鮮明に記憶に残っております。

何とか今日まで仕事できたのは、同窓会の先輩後輩の方々の支援やチームメートの事務局員の方々の温かい励ましによるものです。新宿高校を卒業して本当に良かったと実感しています。これからの朝陽同窓会の益々の発展をお祈り申し上げます。



## おわりに

この報告書は作成に約3年間の月日を要しました。途中で報告書の一部を百年誌や会報「朝陽」にも掲載しました。

この報告書に掲載する内容は百周年記念事業が始まった2013年から2023年までの11年間の出来事に限られていますが、ごく一部に2024年の出来事も書いてあります。

報告書の執筆にあたっては、客観的事実を誤りなく伝えるために主に代表幹事会の議事録に依拠しました。また、より詳細な経緯を伝えるために、実態をよく知る方に内容の確認をしていただきました。

役員・代表幹事・事務局員の皆様、母校教職員、保護者の皆様、そして、全同窓会会員の皆様、同窓会活動へのご支援・ご協力、本当にありがとうございました。

なお、原稿の執筆は吉村悟07が行い、校正は小山春美25、編集は林慶治郎18、橋本健一19が担当しました。小山春美さんには、すでに事務局を退任なさっているにも関わらず、面倒な校正作業をお引き受けいただきました。ありがとうございます。



都立新宿高等学校創立百周年記念事業報告書

2025年5月1日発行 非売品

著者 吉村 悟（7）

表紙校舎デザイン 角 浩（中1）

編集 林 慶治郎（18）、橋本 健一（19）

校正 小山 春美（25）

発行者 朝陽同窓会長 三上 彩子（18）

発行元 朝陽同窓会

160-0014 東京都内藤町11-4

都立新宿高等学校内

東京都立新宿高等学校  
朝 陽 同 窓 会